

# 口腔顎顔面外科学

4 年次 通年	授業科目責任者：近藤 壽郎（顎顔面外科学）
学習の目標 (GIO)	口腔顎顔面領域にみられる先天異常と発育異常（奇形・変形）、損傷、炎症性疾患、口腔粘膜疾患、ウイルス感染症、嚢胞性疾患、腫瘍、唾液腺疾患、顎関節疾患、神経疾患と心因性疾患、血液疾患と出血性素因、全身疾患と症候群は、口腔外科臨床でしばしば遭遇する疾患である。それらの基本的な病態を理解し、臨床所見を把握することは重要、不可欠であり、口腔外科臨床に直結する内容である。そのためにそれぞれの成因、病態、診断学、治療学を学び理解する。
授業担当者	口腔外科学：秋元芳明，西村均，田中茂男，小宮正道，石井達郎 顎顔面外科学：近藤壽郎，小倉直美，池谷美和，伊藤 耕，高橋康輔，大木秀郎，篠原正徳，高橋 哲，酒巻裕之，横尾聡，鷗澤一弘，塚原宏泰，武川寛樹，神野良一 放射線学：金田隆，池島厚，小椋一朗 口腔病理学：宇都宮忠彦，久山佳代 歯科臨床検査医学：福本雅彦 解剖学：松野昌展 解剖学：岡田裕之 薬理学：山根潤一 口腔免疫学：落合智子 顎口腔機能治療学：小見山道 顎顔面矯正学：大峰浩隆 名誉教授：藤井彰 客員教授：和気裕之
教科書	サクシント口腔外科学（学建書院），標準口腔外科学（医学書院），口腔外科学実習書（日本大学松戸歯学部口腔外科学講座編）
参考図書	口腔外科学（医歯薬出版），口腔病理アトラス（文光堂）
実習器材	
評価方法 (EV)	講義・実習を 1/5 以上を欠席した場合、評価点は 0 ～ 60 点とする。なお平常試験の再試験は行わない。 評価：平常試験（5 回）と実習によって総合評価点とする。平常試験の結果に応じて、補講などの措置を講じることがある。 実習：実技評価、実習態度（出席状況：実習の欠席は 0 点とする）で評価する。
学生への メッセージ オフィスアワー	口腔外科領域の疾患は広範囲ですべてが歯科臨床で必要不可欠であり、CBT と国家試験に多くの問題が出題されるので予習・復習をしっかり行なうこと。臨床実習に向けて基礎的知識を十分に学んでほしい。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略（SBOs）(LS)・準備学習（予習）内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4 月 10 日（水） 9:00 ～ 10:30	ガイダンス 口腔外科総論	【準備学習項目】どのような疾患があるかを学習する。 【講義】口腔顎顔面領域の疾患を理解する。口腔顎顔面領域の疾患には、どのような疾患があるか述べるができる。口腔顎顔面領域疾患の治療法を概説できる。現在まで学習した科目が口腔顎顔面領域の疾患の診療、診断、治療にどのように関与しているか述べるができる。302 教室，マルチメディア	近藤壽郎 秋元芳明 西村均
4 月 10 日（水） 10:40 ～ 12:10	口腔外科総論	【準備学習項目】 口腔の主要症候を説明できる。医療面接の項目を説明できる。 口腔に行われる検査項目を述べられる。【講義】口腔外科診断学を理解する。得られた情報を整理、推理し診断できる。口腔顎顔面領域の疾患の診察法、問診法、診断法を述べることができる。302 教室，マルチメディア。<F-1-1>/必	近藤壽郎
4 月 17 日（水） 9:00 ～ 10:30	奇形・変形 歯の異常 軟組織の異常	【準備学習項目】歯の異常、軟組織の異常を理解する。 【講義】顎口腔領域の先天性および後天性異常を述べるができる。歯の異常の種類を述べることができる。歯の異常による障害と続発症、治療法を述べるができる。口唇の異常（裂奇形以外）の分類、障害、治療法を述べることができる。舌、歯肉あるいは口腔粘膜、小帯の異常を述べることができる。マルチメディア F-2-3)- ( )-1,2,3	田中茂男
4 月 17 日（水） 10:40 ～ 12:10	顔面・口腔の裂奇形	【準備学習項目】顔面・口腔の裂奇形の分類について説明できる。【講義】顔面・口腔の裂奇形を呈する疾患について診断し管理できるようになるために、口腔領域の裂奇形に対する診断について説明できるようになる。裂奇形について説明できる。唇裂の分類について説明できる。唇裂による障害について説明できる。口蓋裂の分類について説明できる。口蓋裂による障害について説明できる。顔面に生じる裂奇形の分類を列記できる。マルチメディアを使用した講義 F-2-3) ( )-1,2	酒巻裕之

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月24日(水) 9:00 ~ 10:30	顔面・口腔の裂奇形	【準備学習項目】顔面・口腔の裂奇形の分類について説明できる。【講義】顔面・口腔の裂奇形を呈する疾患について診断し管理できるようになるために、口腔領域の裂奇形に対する診断について説明できるようになる。裂奇形について説明できる。唇裂の分類について説明できる。唇裂による障害について説明できる。口蓋裂の分類について説明できる。口蓋裂による障害について説明できる。顔面に生じる裂奇形の分類を列記できる。マルチメディアを使用した講義 F-2-3) -( )-1,2	酒巻裕之
4月24日(水) 10:40 ~ 12:10	顔面・口腔の裂奇形	【準備学習項目】顔面・口腔の裂奇形の分類について説明できる。顎奇形について説明できる。唇顎口蓋裂の分類について説明できる。唇顎口蓋裂による障害について説明できる。【講義】顔面・口腔の裂奇形を呈する疾患について診断し管理できるようになるために、口腔領域の裂奇形に対する診断について説明できるようになる。裂奇形について説明できる。唇裂の分類について説明できる。唇裂による障害について説明できる。口蓋裂の分類について説明できる。口蓋裂による障害について説明できる。顔面に生じる裂奇形の分類を列記できる。口唇・口蓋裂の治療方針について概説することができる。唇裂の手術法を説明できる。口蓋裂に関する手術法を列記できる。口蓋裂に関する手術法の目的について説明できる。口唇・口蓋裂児および家族に対する指導内容について説明できる。マルチメディアを使用した講義 F-2-3) -( )-1,2 F-2-4)-(7)- -( )-5	大峰浩隆
5月8日(水) 9:00 ~ 10:30	顎骨の異常	【準備学習項目】顎骨の変形を呈する疾患について説明できる。【講義】顎骨の変形を呈する疾患について診断し管理ができるようになるために、口腔領域の顎骨異常に対する診断法とその治療方針について説明できる。顎骨の変形を呈する疾患の分類を説明できる。顎変形症の鑑別診断について説明できる。顎変形症の治療方針について説明できる。顎骨の異常における障害,原因,治療法について概説することができる。マルチメディアを使用した講義 F-2-3) F-2-4)-(7)- -( )-2 -( )-5	伊藤耕
5月8日(水) 10:40 ~ 12:10	顎骨の異常	【準備学習項目】顎骨の変形を呈する疾患の治療法について説明できる。【講義】顎骨の変形を呈する疾患について診断し管理ができるようになるために、口腔領域の顎骨異常に対する診断法とその治療方針について説明できる。顎骨の変形を呈する疾患の分類を説明できる。顎変形症の鑑別診断について説明できる。顎変形症の治療方針について説明できる。顎骨の異常における障害,原因,治療法について概説することができる。マルチメディアを使用した講義 F-2-3) F-2-4)-(7)- -( )-2 -( )-5	高橋 哲
5月15日(水) 9:00 ~ 10:30	損傷総論 顎・口腔の損傷 歯の外傷 顔面・口腔軟組織の損傷	【準備学習項目】損傷の総論および歯の外傷について説明できる。【講義】損傷の原因,分類,症状,創傷の治療過程を理解した上で治療方針および後遺症について概説できる。歯の外傷の特徴,分類,臨床症状を理解し,診断および治療方針を概説できる。302教室での教員による教科書,マルチメディア,プリントを使用した講義。 F-2-4)-(1)- 総 - -( )-1-D 総 - -( )-2-H 各 - -( )-1 各 - -( )-5-A,C	田中茂男
5月15日(水) 10:40 ~ 12:10	顎・口腔の損傷 顎顔面骨の骨折1	【準備学習項目】顎顔面骨の骨折について説明できる。【講義】顎顔面骨折の分類,原因,頻度,全身の合併症および好発部位を理解し,概説できる。顎顔面骨折の局所症状および局所症状のひとつである骨片の偏位を理解し,診断法を概説できる。302教室での教員による教科書,マルチメディア,プリントを使用した講義。 F-2-4)-(1)- 各 - -( )-2 各 - -( )-5-D,G	田中茂男
5月22日(水) 9:00 ~ 10:30	顎・口腔の損傷 顎顔面骨の骨折2	【準備学習項目】顎顔面骨の骨折について説明できる。【講義】顎顔面骨折の局所症状および局所症状のひとつである骨片の偏位を理解し,診断法を概説できる。顎顔面骨折の診断法を理解し,症例に応じた診断法および治療法を概説できる。302教室での教員による教科書,マルチメディア,プリントを使用した講義。 F-2-4)-(1)- 各 - -( )-2 各 - -( )-5-D,G	田中茂男
5月22日(水) 10:40 ~ 12:10	顎・口腔の損傷 顎骨内副子固定	【準備学習項目】顎骨固定用内副子について説明できる。【講義】観血的整復固定手術,骨切り術および顎骨再建に使用される金属製プレート,ネジ等の特性と適応を理解する。302教室での教員による教科書,マルチメディア,プリントを使用した講義。 F-2-4)-(1)- 各 - -( )-2 各 - -( )-5	近藤壽郎
5月29日(水) 9:00 ~ 10:30	平常試験1	4/10 から 5/22 までの範囲	近藤壽郎 田中茂男 伊藤耕

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月29日(水) 10:40 ~ 12:10	急性炎症と慢性炎症 (歯性病巣感染, 肉芽腫性炎も含む)	【準備学習項目】炎症の各型分類について解説できる。 【講義】急性炎症と慢性炎症の病理学的特徴を学ぶ。炎症の経過と病理組織学的変化について説明できる。急性期と慢性期における炎症性細胞の種類と働きについて解説できる。炎症と細胞・組織傷害との関連性について述べることができる。循環障害と炎症との関わりについて説明できる。修復・再生と炎症との関連性について解説できる。302教室, マルチメディアの併用, <F-2-4>-(2)/各-( )-1 ~ 5>	宇都宮忠彦
6月5日(水) 9:00 ~ 10:30	歯性感染症	【準備学習項目】歯性感染症について説明できる。【講義】炎症の概要, 局所症状, 全身症状を理解し, 治療方針を説明できる。歯性感染症の原因を理解した上で感染経路を説明できる。302教室での教員による教科書, マルチメディア, プリントを使用した講義。<F-2-4>-(2)/各-( )-6>	石井達郎
6月5日(水) 10:40 ~ 12:10	歯性感染症	【準備学習項目】歯性感染症について説明できる。【講義】歯性感染症の原因, 感染経路を理解した上で歯性感染症である智歯周囲炎, 歯槽骨炎, 顎骨炎, 顎骨骨膜炎, 顎骨骨髓炎, 歯性上顎洞炎の症状, 治療方針が概説できる。歯性感染症の原因, 感染経路を理解した上で歯性感染症である歯性扁桃周囲炎, 口底の炎症, 頬部の炎症の症状, 治療方針が概説できる。302教室での教員による教科書, マルチメディア, プリントを使用した講義。<F-2-4>-(2)/各-( )-7/各-( )-2,4>	石井達郎
6月12日(水) 9:00 ~ 10:30	ビスフォスフォネート製剤と骨髄炎	【準備学習項目】ビスフォスフォネート製剤と顎骨壊死について説明できる。【講義】主な炎症(骨髄炎)を概説できる。ビスフォスフォネート製剤と顎骨壊死について説明できる。F-2-4)-(5) F-2-4)-(7)	神野良一 西村均
6月12日(水) 10:40 ~ 12:10	肉芽腫性炎 分類 病態	【準備学習項目】肉芽腫性炎について学習する。肉芽腫性炎の種類と特徴を学習する。【講義】肉芽腫性炎を理解する。肉芽腫性炎の種類を述べることができる。肉芽腫性炎の病態を述べることができる。特異性炎の画像を述べることができる。302教室, マルチメディア <D-4-4>, F-2-4)-(2)/各-( )-5>	秋元芳明 西村均
6月19日(水) 9:00 ~ 10:30	顎顔面の神経支配	【準備学習項目】脳神経および顎顔面領域の自律神経支配を説明できる。【講義・実習】顎顔面の知覚, 運動神経支配と自律神経支配を理解する。302教室での教員による教科書, マルチメディアを使用した講義。D-2-3)-(5), 必-6-B-f, 総-1-D	近藤壽郎
6月19日(水) 10:40 ~ 12:10	消炎療法 種類 作用機序 適応症	【準備学習項目】抗炎症薬を概説できる。【講義】消炎療法を理解する。抗炎症薬の種類を述べることができる。抗炎症薬の作用機序を述べることができる。抗炎症薬の適応症を述べることができる。マルチメディア, プリント <D-5-2>- /各-( )-7-B,C> 【準備学習項目】抗菌薬を概説できる。【講義】抗菌薬を理解する。抗菌薬の種類を述べることができる。抗菌薬の作用機序を述べることができる。抗菌薬の適応症を述べることができる。302教室, マルチメディア, プリント <D-5-2>- /各-( )-7-C>	山根潤一 藤井彰
6月26日(水) 9:00 ~ 10:30	ウイルス感染症 ウイルスの基本構造 感染メカニズム 口腔外科領域のウイルス疾患	【準備学習項目】ウイルスの基本構造と感染メカニズムを説明できる。口腔外科関連のウイルス疾患を説明できる。 【講義】ウイルスの基本構造およびウイルス感染症の発症メカニズムを説明できる。単純疱疹の病態, 診断, 治療法を述べることができる。帯状疱疹の病態, 診断, 治療法を述べることができる。ラムゼーハント症候群の病態, 診断, 治療法を述べることができる。流行性耳下腺炎の病態, 診断, 治療法を述べることができる。ヘルパンギーナ, 手足口病の病態, 治療法を述べることができる。風疹, 麻疹の病態を述べることができる。後天性免疫不全症候群の口腔の病態を述べることができる。マルチメディア F-2-4)-(2)- F-2-4)-(5)- ( )-A-1	落合智子 西村均 秋元芳明
6月26日(水) 10:40 ~ 12:10	口腔粘膜疾患の種類と特徴	【準備学習項目】上皮を形態的および機能的に分類できる。結合組織の線維要素と細胞要素を説明できる。皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明できる。口腔粘膜の特徴を部位ごとに説明できる。【講義】口腔粘膜疾患を理解する。口腔粘膜疾患の種類, 特徴的な病態, 病理組織学的特徴を説明できる。水疱, 紅斑, びらん, 潰瘍, 白斑, 色素沈着等の特徴とする粘膜疾患を概説できる。口腔粘膜疾患の種類, 特徴的な病態, 病理組織学的特徴を説明できる。302教室, マルチメディア <F-2-4>, D-4 /各-( )-1,2>	岡田裕之
7月3日(水) 9:00 ~ 10:30	平常試験2	5/29 から 6/26 (ウイルス感染症) までの範囲	西村均 小野真紀子

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
7月3日(水) 10:40 ~ 12:10	口腔粘膜疾患の特征的所見による分類	【準備学習項目】口腔粘膜疾患を分類・列挙できる。【講義】口腔粘膜疾患を理解する。水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を特徴とする粘膜疾患を概説できる。302教室、マルチメディア<F-2-4>、D-4/各-( )-1>	大木秀郎
7月10日(水) 9:00 ~ 10:30	口腔解剖 顎骨周囲の構造	【準備学習項目】蝶形骨と側頭骨、上顎骨の構造を説明できる。下顎骨と咀嚼筋、口底の構造を説明できる。【講義・実習】翼口蓋窩の構造に関係する上顎神経と顎動脈の分布を説明できる。下顎骨と付着する筋の構造を理解した上で、組織隙とそこに存在する構造を説明できる。302教室での教員による教科書、マルチメディア、プリント、骨標本を使用した講義・実習。 E-2-1)- ,2)- 必-6-B-acdefgh, 総- -1-ABCD, 2-DEFL	松野昌展
7月10日(水) 10:40 ~ 12:10	全身疾患と口腔粘膜症状	【準備学習項目】全身疾患の口腔粘膜症状について説明できる。【講義】全身疾患の口腔粘膜症状を理解する。多彩な臨床症状を示す全身疾患の口腔粘膜症状を概説できる。マルチメディア F-2-4)-(2) -( )	武川寛樹
7月17日(水) 9:00 ~ 10:30	嚢胞性疾患	【準備学習項目】軟組織嚢胞の種類を説明できる。軟組織嚢胞の病理組織学的特徴を説明できる。軟組織嚢胞の画像検査法を列記できる。【講義】嚢胞性疾患について理解する。口腔軟組織嚢胞の種類と特徴を説明できる。口腔軟組織嚢胞の画像を説明できる。口腔軟組織嚢胞の治療法を説明できる。302教室、マルチメディア<F-2-4>-(3)、F-1-2)/各- -( )-3,4>	西村均 久山佳代
7月17日(水) 10:40 ~ 12:10	嚢胞性疾患	【準備学習項目】軟組織嚢胞の種類を説明できる。軟組織嚢胞の病理組織学的特徴を説明できる。軟組織嚢胞の画像検査法を列記できる。【講義】嚢胞性疾患について理解する。口腔軟組織嚢胞の種類と特徴を説明できる。口腔軟組織嚢胞の画像を説明できる。口腔軟組織嚢胞の治療法を説明できる。302教室、マルチメディア<F-2-4>-(3)、F-1-2)/各- -( )-3,4>	西村均 久山佳代
7月24日(水) 9:00 ~ 10:30	嚢胞性疾患	【準備学習項目】軟組織嚢胞の種類を説明できる。軟組織嚢胞の病理組織学的特徴を説明できる。軟組織嚢胞の画像検査法を列記できる。【講義】嚢胞性疾患について理解する。口腔軟組織嚢胞の種類と特徴を説明できる。口腔軟組織嚢胞の画像を説明できる。口腔軟組織嚢胞の治療法を説明できる。302教室、マルチメディア<F-2-4>-(3)、F-1-2)/各- -( )-3,4>	西村均 久山佳代
7月24日(水) 10:40 ~ 12:10	嚢胞性疾患(硬組織と軟組織)	【準備学習項目】嚢胞性疾患の種類と特徴を学習する。【講義】嚢胞性疾患について理解する。顎骨内歯原性嚢胞・顎骨内非歯原性嚢胞・嚢胞類似疾患の画像と所見を説明できる。302教室、マルチメディア<F-2-4>-(3)、F-1-2)/各- -( )-1,2>	金田隆 池島厚 小椋一朗
9月11日(水) 9:00 ~ 10:30	平常試験3	6/26(口腔粘膜疾患の種類と特徴)から7/24までの範囲	近藤壽郎 小倉直美 西村均 小野真紀子
9月11日(水) 10:40 ~ 12:10	平常試験3	6/26(口腔粘膜疾患の種類と特徴)から7/24までの範囲	近藤壽郎 小倉直美 西村均 小野真紀子
10月3日(木) 9:00 ~ 10:30	歯原性腫瘍	【準備学習項目】歯原性腫瘍の診断と治療を説明できる。【講義】歯原性腫瘍の分類を列記できる。歯原性腫瘍の病理組織学的特徴を説明できる。歯原性腫瘍の臨床的特徴を説明できる。歯原性腫瘍の治療法を説明できる。302教室、マルチメディア<D-4-5>、F-2-4)-(3)/各- -( )-5>	近藤壽郎 久山佳代
10月3日(木) 10:40 ~ 12:10	歯原性腫瘍の診断と治療	【準備学習項目】歯原性腫瘍の診断と治療を説明できる。【講義】歯原性腫瘍の分類を列記できる。歯原性腫瘍の病理組織学的特徴を説明できる。歯原性腫瘍の臨床的特徴を説明できる。歯原性腫瘍の治療法を説明できる。302教室、マルチメディア<D-4-5>、F-2-4)-(3)/各- -( )-5>	近藤壽郎 久山佳代
10月10日(木) 9:00 ~ 10:30	非歯原性良性腫瘍非歯原性悪性腫瘍	【準備学習項目】非歯原性腫瘍の診断と治療を説明できる。【講義】非歯原性良性腫瘍を分類できる。非歯原性良性腫瘍の特徴を説明できる非歯原性悪性腫瘍を分類できる。非歯原性悪性腫瘍の特徴を説明できる。302教室、マルチメディア<D-4-5>、F-2-4)-(3)/各- -( )-6,7>	近藤壽郎 久山佳代
10月10日(木) 10:40 ~ 12:10	非歯原性良性腫瘍非歯原性悪性腫瘍	【準備学習項目】非歯原性腫瘍の診断と治療を説明できる。【講義】非歯原性良性腫瘍を分類できる。非歯原性良性腫瘍の特徴を説明できる非歯原性悪性腫瘍を分類できる。非歯原性悪性腫瘍の特徴を説明できる。302教室、マルチメディア<D-4-5>、F-2-4)-(3)/各- -( )-6,7>	近藤壽郎 久山佳代

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月17日(木) 9:00 ~ 10:30	前癌状態腫瘍類似疾患	【準備学習項目】前癌病変と前癌状態の違いを学習する。腫瘍類似疾患の種類を学習する【講義】前癌状態の概念を理解し、特徴を説明できる。腫瘍類似疾患と腫瘍性疾患の鑑別を説明できる。302教室,マルチメディア<D-4-5>,F-2-4-(3)/各-( )-8>	近藤壽郎 酒巻裕之 岡田裕之
10月17日(木) 10:40 ~ 12:10	口腔癌の臨床病態口腔癌の転移	【準備学習項目】口腔癌の臨床病態を説明できる。【講義】口腔癌の臨床病態とくに発生部位別特徴を説明できる。口腔癌の転移の様相を説明できる。TNM分類,病期分類を列記できる。302教室,マルチメディア<F-2-4-(3)/各-( )-7>	近藤壽郎
10月24日(木) 9:00 ~ 10:30	超音波検査、核医学検査による顎口腔領域の画像診断	【準備学習項目】超音波検査,核医学検査による顎口腔の正常像を述べるができる。【講義】超音波検査による顎口腔領域の画像診断ができる。核医学検査による顎口腔領域の画像診断ができる。302教室,マルチメディア<F-1-2>/各-( )-5,6,7,9,各-( )-6>	金田隆 小椋一朗
10月24日(木) 10:40 ~ 12:10	CT、MRIによる顎口腔領域の画像診断	【準備学習項目】CT,MRIの原理が説明できる。【講義】CT,MRIによる顎口腔の正常像を述べるができる。CTによる顎口腔領域の画像診断ができる。MRIによる顎口腔領域の画像診断ができる302教室,マルチメディア<F-1-2>/各-( )-5,6,7,9,各-( )-6>	金田隆 小椋一朗
10月31日(木) 9:00 ~ 10:30	口腔癌の診断口腔癌の外科的治療	【準備学習項目】口腔癌の診断と治療について説明できる。【講義】口腔癌の細胞診,生検などの検査法を列記できる。口腔癌の臨床的診断過程を説明できる。口腔癌の外科的治療を説明できる。302教室,マルチメディア<F-2-4-(3)/各-( )-7>	近藤壽郎
10月31日(木) 10:40 ~ 12:10	口腔癌の遺伝子治療	【準備学習項目】口腔癌の遺伝子診断および遺伝子治療法について説明できる。【講義】口腔癌の遺伝子診断および遺伝子導入療法等に関する最先端医療について概説する。302教室 マルチメディア F-2-4-(3)- ( )-7-A	鶴澤一弘
11月7日(木) 9:00 ~ 10:30	顎口腔外科手術各論 インプラント前処置の外科	【準備学習項目】顎口腔外科領域のインプラント前処置の外科について説明できる。【講義】骨組織のマネージメント:インプラント治療における骨増生手術の意義を理解し,骨増生手術の適応症,術式を具体的に説明できる。軟組織のマネージメント:インプラント周囲軟組織の意義を理解し,手術の適応症,術式を具体的に説明できる。302教室 教科書,スライドおよびスライドプロジェクターを使用した講義。F-1-4)- , , 各 - -D,F	塚原宏泰
11月7日(木) 10:40 ~ 12:10	唾液腺の特徴と唾液腺疾患の診断法 唾液腺疾患の種類と治療	【準備学習項目】唾液腺特徴を説明できる。唾石症について説明できる。【講義】唾液腺の解剖学的,生理学的特徴について理解する。唾液腺疾患の診断法を理解する。唾石の成因,形態学的特徴を説明できる。唾石症の症状,治療法を説明できる。唾液腺の炎症性疾患について理解する。302教室,マルチメディア<F-2-4-(5)/各-( )-1,4>	田中茂男
11月14日(木) 9:00 ~ 10:30	唾液腺疾患の種類と治療 唾石症、唾液腺炎、流行性耳下腺炎、シェーグレン症候群、唾液腺疾患の病理組織学的特徴、画像所見	【準備学習項目】シェーグレン症候群の診断基準を説明できる。唾液腺の炎症性疾患を列挙できる。【講義】シェーグレン症候群の特徴,症状,治療法を説明できる。唾液腺の非腫瘍性疾患について理解する。唾液腺腫瘍について理解する。唾液腺疾患の病理組織学的特徴を説明できる。302教室,マルチメディア<F-2-4-(5)/各-( )-2/各-( )-1,2,4>	田中茂男 宇都宮忠彦
11月14日(木) 10:40 ~ 12:10	口腔乾燥症(ドライマウス)と関連する疾患	【準備学習項目】口腔乾燥症(ドライマウス)について説明できる。【講義】口腔乾燥症(ドライマウス)の原因について説明できる。口腔乾燥症(ドライマウス)の症状について説明できる。口腔乾燥症(ドライマウス)と関連する疾患を説明できる。シェーグレン症候群の特徴,症状および治療法を説明できる。302教室,マルチメディア F-2-4-(2)	篠原正徳
11月21日(木) 9:00 ~ 10:30	唾液腺腫瘍	【準備学習項目】唾液腺腫瘍を説明できる。唾液腺腫瘍のWHO分類を列挙できる。【講義】唾液腺腫瘍の病理組織学的な特徴を説明できる。唾液腺腫瘍の臨床的特徴と治療法を説明できる。302教室,マルチメディア<D-4-5>,F-2-4-(5)/各-( )-6>	近藤壽郎 宇都宮忠彦
11月21日(木) 10:40 ~ 12:10	顎関節の疾患	【準備学習項目】顎関節の解剖・生理について説明できる。【講義】顎関節内障の病態生理を説明できる。変形性関節症の病態生理を説明できる。顎関節内障および変形性関節症の臨床症状を説明できる。その他の顎関節疾患を理解する。302教室 マルチメディアを使用した講義。F-2-4-(4) -( )	近藤壽郎 小倉直美
11月28日(木) 9:00 ~ 10:30	平常試験4	10/3 から 11/21(唾液腺腫瘍)までの範囲	近藤壽郎 田中茂男 小倉直美



日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月9日(木) 9:00 ~ 10:30	頭頸部の診察 手指消毒法所 局所麻酔 浸潤麻酔法 伝達麻酔法  実習説明	【準備学習項目】頭頸部の診察法について説明できる。手指消毒法を説明できる。局所麻酔法である浸潤麻酔法、伝達麻酔法について説明できる。【講義】頭頸部の診察は、顔面、頭部、耳、眼、鼻腔、口腔、頸部の部位に視診、触診、聴診または各々に器具を使用することにより行われ、診察の意義、目的を理解し、診断を行う上での適切な診察法を述べる事ができる。口腔外科に必要な手指消毒法を説明できる。局所麻酔法の対象である三叉神経 枝、枝の走行を理解し、局所麻酔法の種類、手技を概説できる。さらに、局所麻酔薬、血管収縮薬の種類、特徴を説明できる。302教室、マルチメディア、プリントを使用した講義。F-1-3)-(3)- 必-14-J-a 総 - -( )-8-A/F-1-1)	西村均
1月9日(木) 10:40 ~ 12:10	頭頸部の診察 単純抜歯 1 単純抜歯に必要な器具器材  採点	【準備学習項目】頭頸部の診察法について説明できる。手指消毒法を理解する。抜歯に必要な器具を理解する。局所麻酔法を理解する。【実習】頭頸部の診察法を視診、触診、聴診または各々に器具を使用することにより行い、診察の意義、目的を理解するために必要な技能、態度を習得する。手指消毒法を習得する。局所麻酔法を習得する。第4実習室にて相互に実習を行う。単純抜歯に必要な器具器材について説明できる。単純抜歯に必要な器具、器材の名称と使用方法を理解し、各歯の抜歯に必要な器具器材を選択、準備することができる。頭頸部診察、単純抜歯に必要な器具器材、マネキン、顎模型を使用して実習を行う。F-1-1) F-1-3)-(3)- F-1-4)- 必-14-M-a 総 - -( )-1-D 総 - -( )-7-A-c,d 総 &shy; -( )-8-A	秋元芳明 西村均 伊藤耕 須藤亜紀子 原正浩 秋葉正一 坂田勝之 菅谷和之 樋口和夫 村井正彦 田島秀人 平川剛 山口桜子 石井達郎 小俣裕昭 中山桂二 渡部正吾 谷野弦 深田朱里 高橋康輔 河島睦 神野良一  近藤壽郎 池谷美和 石上大輔 武田祥人 藤本陽子 釜崎直人 酒巻裕之 野上俊雄 湊耕一 石原芳紀 羽田紗綾 松本健司 横川真千代 内堀健二 田所英之 林裕 和田憲夫 萩原美緒 飯塚普子 岩井聡 植木宏之
1月16日(木) 9:00 ~ 10:30	抜歯学 単純抜歯	【準備学習項目】抜歯法について説明できる。【講義】抜歯を行う上での適応症、禁忌症、術中術後に発症する偶発症を理解し、概説できる。単純抜歯に用いられる器具器材の特徴を理解し、患者管理から終了までの手順、術式を概説できる。302教室での教員による教科書、マルチメディア、プリントを使用した講義。F-1-4)- 必-14-M-a	近藤壽郎
1月16日(木) 10:40 ~ 12:10	頭頸部診察 単純抜歯 1 単純抜歯に必要な器具器材 2 単純抜歯の手順 1) 問診・器具器材の準備 2) 手指の消毒(外来診療室における) 3) 術野(口腔内)消毒 4) 局所麻酔 5) 抜歯 6) 止血の確認  採点	【準備学習項目】単純抜歯の手順・術式について説明できる。【実習】患者の対応、手指・術野の消毒、局所麻酔法、単純抜歯の基本術式を理解し、滅菌手袋の装着、マネキンおよび顎模型上で局所麻酔法、単純抜歯の手技を習得する。第4実習室にて単純抜歯に必要な器具器材、マネキン、顎模型を使用して実習を行う。F-1-3)-(3)- F-1-4)- 必-14-M-a 総 - -( )-1-D 総 - -( )-7-A-c,d 総 &shy; -( )-8-A	秋元芳明 西村均 伊藤耕 須藤亜紀子 原正浩 秋葉正一 坂田勝之 菅谷和之 樋口和夫 村井正彦 田島秀人 平川剛 山口桜子 石井達郎 小俣裕昭 中山桂二 渡部正吾 谷野弦 深田朱里 高橋康輔 河島睦 神野良一  近藤壽郎 池谷美和 石上大輔 武田祥人 藤本陽子 釜崎直人 酒巻裕之 野上俊雄 湊耕一 石原芳紀 羽田紗綾 松本健司 横川真千代 内堀健二 田所英之 林裕 和田憲夫 萩原美緒 飯塚普子 岩井聡 植木宏之
1月23日(木) 9:00 ~ 10:30	抜歯学 複雑抜歯 埋伏歯の抜歯 切開・縫合法	【準備学習項目】抜歯法および切開・縫合法について説明できる。【講義】複雑抜歯の定義および使用される器具器材の特徴を理解し、患者管理から終了までの手順、術式を概説できる。埋伏歯の定義、一般的所見および使用される器具器材の特徴を理解し、患者管理から終了までの手順、術式を概説できる。さらに、継発症を説明できる。切開法および縫合法の基礎を理解し、その術式を述べる事が出来る。302教室での教員による教科書、マルチメディア、プリントを使用した講義。F-1-4)- F-1-4)- 必-14-M-a 総 - -( )-7	石井達郎

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月23日(木) 10:40 ~ 12:10	頭頸部診察 単純抜歯 1 単純抜歯に必要な器具器材 2 単純抜歯の手順 1) 問診・器具機材の準備 2) 手指の消毒(外来診療室における) 3) 術野(口腔内)消毒 4) 局所麻酔 5) 抜歯 6) 止血の確認 切開・縫合法  採点	<b>【準備学習項目】</b> 切開・縫合法について説明できる。 <b>【実習】</b> 切開・縫合に必要な器具, 器材の名称と使用方法を理解し, 切開・縫合に必要な器具器材を選択, 準備することができる。さらに, 歯肉粘膜, 皮膚の解剖学的特徴を理解し, 切開・縫合法の手技を習得する。第4実習室にて切開・縫合に必要な器具器材, オペガムシートを使用して実習を行う。抜歯の一連の操作を実習する。F-1-4)- 総 - -( )-7	秋元芳明 西村均 伊藤耕 須藤亜紀子 原正浩 秋葉正一 坂田勝之 菅谷和之 樋口和夫 村井正彦 田島秀人 平川剛 山口桜子 石井達郎 小俣裕昭 中山桂二 渡部正吾 谷野弦 深田朱里 高橋康輔 河島睦  近藤壽郎 池谷美和 石上大輔 武田祥人 藤本陽子 釜崎直人 酒巻裕之 野上俊雄 湊耕一 石原芳紀 羽田紗綾 松本健司 横川真千代 内堀健二 田所英之 林裕 和田憲夫 萩原美緒 飯塚普子 岩井聡 植木宏之
2月6日(木) 9:00 ~ 10:30	平常試験5	11/21(顎関節疾患)から1/23までの範囲(実習を除く)	近藤壽郎 伊藤耕 小野真紀子  小倉直美 西村均
2月6日(木) 10:40 ~ 12:10	平常試験5	11/21(顎関節疾患)1/23までの範囲(実習を除く)	近藤壽郎 伊藤耕 小野真紀子  小倉直美 西村均



## 歯科医学総合講義 4

4 年次 通年	授業科目責任者：4 年次学年教育主任
学習の目標 (GIO)	社会の要請に応える創造性と人間性豊かで自律する全人的な歯科医師となるため、これまで講義や実習で学んだ内容を統合し、松戸歯学部の student doctor として必要な態度・知識・技能を修得する。
授業担当者	【歯内療法学】松島 潔,【保健医療政策学】笹井 啓史,【口腔病理学】宇都宮忠彦,【化学】城座映明,【内科】大口純人,【歯科矯正学】榎本 豊,【有床義歯補綴学】伊藤 誠康,【障害者歯科学】林 佐智代,【歯科総合診療学】岡本康裕,【歯周治療学】吉野祥一,【歯科臨床検査医学】布施 恵,【小児歯科学】岡本 京,【顎顔面外科学】原 正浩,【口腔顎顔面インプラント学】北川 剛至,【公衆予防歯科学】田口千恵子
教科書	2, 3 および 4 年次の各科目で使用した教科書を使用する。
参考図書	2, 3 および 4 年次の各科目で使用した参考図書を使用する。
実習器材	1 年次に使用したノート PC を毎時間持参すること。
評価方法 (EV)	歯科医学総合講義 4 の定期試験は医学系大学間共用試験実施評価機構が実施する共用試験を用いる。以下の 2 つの基準を満たすこと 共用試験で、CBT (知識評価) と OSCE (技能・態度評価) のいずれもが 65 点 (%) 以上であること。 平常試験の平均が、60 点 (%) 以上であること。
学生へのメッセージ オフィスアワー	1. 1 ~ 4 年次までに学習した自然科学分野, 基礎医学分野, 臨床歯科医学分野の知識を, 基礎から臨床に向けて知識を整理しながら統合していくことを目的とします。 2. 9 つのユニットに分け, 試験 理解できてない領域を自己評価 自学自習 解説を繰り返します。また, 自学自習で理解できなかった事項や解説のほしい事項を少人数制講義で取り上げますので, 自学自習中に授業で取り上げてほしい事項を明示すること。 3. 少人数制講義は 50 分で 5 つの内容を同時に行い, 3 時間で 3 回繰り返しますので, 5 つの講義のうち 3 つを受講することができます。 4. 定期試験 (共用試験) 以外の試験は, すべて形成評価 (自己評価をするフィードバックのための試験で, 合格のための評価に加えません) です。 5. 理解の不足している部分を分析する能力を養い, 自学自習の態度をに見つけ, 学習する環境を整えることで, 次年度に学習する臨床実習の成果を大きくすることができます。 6. 歯科医学総合講義 4 の学習の範囲は 1 ~ 4 年次をすべて含むので, このシラバスに記載しきれないため, 4 年次の始まりに詳細なシラバスを配布します。この講義は後期からであるが, 前期のうちから今まで学習した内容を復習しておくこと。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略 (SBOs) (LS)・準備学習 (予習) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4 月 10 日 (水) 13:00 ~ 14:30	ガイダンス (歯科医学総合講義 4 について)	【準備学習項目】 歯科医学総合講義 4 を受講するに当たりの注意事項 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること  【講義】302 教室 学習の取り組み方 歯科医学総合講義 4 の授業の進め方 歯科医学総合講義 4 の学習範囲 自学自習の徹底 共用試験の概要 共用試験の実際	松島潔 宇都宮忠彦 大口純人 伊藤誠康 岡本康裕 布施恵 原正浩 田口千恵子  笹井啓史 城座映明 榎本豊 林佐智代 吉野祥一 岡本京 北川剛至
4 月 17 日 (水) 13:00 ~ 14:30	細胞の構造と機能 生命を構成する基本物質	【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-1), C-1-3)  【講義】302 教室 細胞膜、核および細胞内小器官の構造と機能を説明できる。 細胞の分泌と吸収機構を説明できる。 細胞周期と細胞分裂を説明できる。 細胞死 (壊死とアポトーシス) の基本的機序を説明できる。 アミノ酸とタンパク質の構造、機能および代謝を説明できる。 糖質の構造、機能および代謝を説明できる。 脂質の構造、機能および代謝を説明できる。 生体内におけるエネルギー利用を説明できる。 酵素の機能と主な代謝異常を説明できる。 <C-1-1), C-1-3>	城座映明

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月24日(水) 13:00～14:30	遺伝子と遺伝 細胞のコミュニケーション	【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 (C-1-2), (C-1-4)  【講義】302教室 遺伝子(染色体)の構造とセントラルドグマを説明できる。 DNA複製と修復の機序を説明できる。 転写と転写調節の機序を説明できる。 翻訳の機序を説明できる。 遺伝性疾患の発生の機序を説明できる。 細胞の接着装置、細胞間と細胞・マトリックス間の接着分子を説明できる。 受容体を介するホルモン、成長因子、サイトカイン等による細胞間、細胞内の情報伝達機構を概説できる。 主な細胞外マトリックス分子の構造と機能を説明できる。 <(C-1-2), (C-1-4)>	城座映明
5月8日(水) 13:00～14:30	個体発生、器官発生 身体を構成する組織、器官 組織(上皮組織、結合組織、筋組織)	【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 (C-2-2), (C-2-3)  【講義】302教室 個体発生と器官発生を概説できる。 上皮を形態的および機能的に分類できる。 皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明できる。 腺を分泌物の性状、形態および分泌機構に基づいて分類できる。 結合組織の線維要素と細胞要素を説明できる。 硝子軟骨、弾性軟骨および線維軟骨の特徴を説明できる。 内軟骨性骨化と膜内骨化の機序と成長様式を説明できる。 硬組織石灰化の基本的機序を説明できる。 筋組織の構造と機能を説明できる。 <(C-2-2), (C-2-3)>	鈴木久仁博
5月15日(水) 13:00～14:30	平常試験1-	【筆記試験】302教室 4/17, 4/24, 5/8 講義範囲	松島潔
5月22日(水) 13:00～14:30	身体を構成する組織、器官(解剖学) 運動器系(特に頭頸部)	【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 (C-2-3)-(2)  【講義】302教室 生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。(頭頸部) 骨の基本構造と結合様式を説明できる。(頭頸部) <(C-2-3)-(2)>	近藤信太郎 松野昌展
5月29日(水) 13:00～14:30	身体を構成する組織、器官(解剖学) 循環器系(特に頭頸部)	【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 (C-2-3)-(3), (C-2-3)-(5)  【講義】302教室 主な動脈と静脈を列挙できる。(頭頸部) 脳神経の種類、走行、線維構築および支配領域を説明できる。(頭頸部) 脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。 <(C-2-3)-(3), (C-2-3)-(5)>	近藤信太郎 松野昌展
6月5日(水) 13:00～14:30	身体を構成する組織、器官(生理学) 運動器系 循環器系 感覚器系	【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 (C-2-3)-(2), (C-2-3)-(3), (C-2-3)-(4)  【講義】302教室 骨の改造現象と全身および局所因子による調節機構を概説できる。 血液循環と血管運動、血圧の調節機構を説明できる。 皮膚感覚器の構造と機能を説明できる。 深部感覚の受容器の構造と機能を説明できる。 視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。 嗅覚器、味覚器の構造と機能を説明できる。 <(C-2-3)-(2), (C-2-3)-(3), (C-2-3)-(4)>	吉垣純子 加藤治 福島美和子

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月12日(水) 13:00～14:30	身体を構成する組織、器官(生理学) 神経系 内分泌系	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3)-(5), C-2-3)-(8)</p> <p>【講義】302教室 末梢神経系の機能分類(体性神経系と自律神経系)を説明できる。 交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。 脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。 【主要な自律機能(呼吸、循環、体温)の調節中枢の働きを含む。】 血液脳関門を説明できる。 反射、半自動運動、随意運動の発現と調節の機序を説明できる。 ニューロンとグリアの構造と機能を説明できる。 神経の活動電位の発生とその伝播の機序を説明できる。 シナプスにおける興奮伝達を概説できる。 神経伝達物質の種類と機能を説明できる。 各内分泌器官の構造と機能およびホルモンを説明できる。 &lt;C-2-3)-(5), C-2-3)-(8)&gt;</p>	吉垣純子 加藤治 福島美和子
6月19日(水) 13:00～14:30	平常試験1-	<p>【筆記試験】302教室 5/22, 5/29, 6/5, 6/12 講義範囲</p>	松島潔
6月26日(水) 13:00～14:30	身体を構成する組織、器官 血液、造血器、リンパ性器官	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3))</p> <p>【講義】302教室 リンパ性組織とリンパ性器官を説明できる。 造血器を説明できる。 赤血球、白血球および血小板の形成過程と機能を説明できる。 止血と血液凝固の機序を説明できる。 &lt;C-2-3)&gt;</p>	吉垣純子 加藤治 福島美和子
7月3日(水) 13:00～14:30	感染	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-3-1)</p> <p>【講義】302教室 細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。 清潔と不潔の区分および滅菌と消毒の意義、原理および代表的な方法を説明できる。 化学療法の目的、原理、作用機序および薬剤耐性機序を説明できる。 新興・再興感染症について説明できる。 &lt;C-3-1)&gt;</p>	高田和子
7月10日(水) 13:00～14:30	免疫	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-3-2)</p> <p>【講義】302教室 自然免疫と獲得免疫について説明できる。 細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。 免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。 自己と非自己の識別機構と免疫寛容を説明できる。 アレルギーの分類を説明できる。 免疫・アレルギー疾患の種類と発症機序を説明できる。 ワクチンの意義と問題点を説明できる。 &lt;C-3-2)&gt;</p>	落合智子 小林良喜

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
7月17日(水) 13:00 ~ 14:30	薬物と医薬品 薬理作用 薬物の適用と体内動態	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-5-1),C-5-2),C-5-3)</p> <p>【講義】302 教室 医薬品の分類を説明できる。 毒薬、劇薬および麻薬等の表示と保管を説明できる。 日本薬局方を説明できる。 薬物療法(原因療法、対症療法)を説明できる。 薬理作用の基本形式と分類を説明できる。 薬物の作用機序を説明できる。 薬理作用を規定する要因(用量と反応、感受性)を説明できる。 薬物の連用の影響(薬物耐性、蓄積および薬物依存)を説明できる。 薬物の併用(協力作用、拮抗作用、相互作用)を説明できる。 薬物の適用方法の種類とその特徴を説明できる。 薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)を説明できる。 &lt;C-5-1),C-5-2),C-5-3)&gt;</p>	松本裕子
7月24日(水) 13:00 ~ 14:30	素材と器械・器具の所要性質	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1)</p> <p>【講義】302 教室 高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。 【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。 生体材料と歯科材料の安全性の評価を説明できる。 歯科用器械・器具の用途と特徴について説明できる。 &lt;D-1&gt;</p>	谷本安浩
9月11日(水) 13:00 ~ 14:30	平常試験 1-	<p>【筆記試験】302 教室 6/26, 7/3, 7/10, 7/17, 7/24 講義範囲</p>	松島潔
9月30日(月) 10:40 ~ 12:10	1. 顎運動とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), E-2-1),2),4), E-3-4)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-2)- 歯列と咬合について説明できる。 E-2-2)- 咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 E-2-1)- 頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 E-2-1)- 咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 E-2-1)- 顎関節の構造と機能を説明できる。 E-2-1)- 下顎の随意運動の基本を説明できる。 E-2-1)- 下顎反射の機序を説明できる。 E-2-1)- 嚙下の機序を説明できる。 E-3-4)-(3)- 咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 E-3-4)-(3)- 下顎運動の記録法を説明できる。 E-2-4)-(4)- 顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(4)- 顎関節疾患(外傷、脱臼、顎関節症、顎関節強直症)を概説できる。 C-2-3)-(2)- 骨の基本構造と結合様式を説明できる。 C-2-3)-(2)- 骨格筋の構造と機能を説明できる。</p>	松島潔 宇都宮忠彦 大口純人 伊藤誠康 岡本康裕 布施恵 原正浩 田口千恵子 笹井啓史 城座映明 榎本豊 林佐智代 吉野祥一 岡本京 北川剛至

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
9月30日(月) 13:00 ~ 14:30	1. 顎運動とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), E-2-1),2),4), E-3-4)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-2)- 歯列と咬合について説明できる。 E-2-2)- 咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 E-2-1)- 頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 E-2-1)- 咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 E-2-1)- 顎関節の構造と機能を説明できる。 E-2-1)- 下顎の随意運動の基本を説明できる。 E-2-1)- 下顎反射の機序を説明できる。 E-2-1)- 嚥下の機序を説明できる。 E-3-4)-(3)- 咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 E-3-4)-(3)- 下顎運動の記録法を説明できる。 E-2-4)-(4)- 顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(4)- 顎関節疾患(外傷、脱臼、顎関節症、顎関節強直症)を概説できる。 C-2-3)-(2)- 骨の基本構造と結合様式を説明できる。 C-2-3)-(2)- 骨格筋の構造と機能を説明できる。</p>	同上
10月1日(火) 13:00 ~ 14:30	1. 顎運動とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), E-2-1),2),4), E-3-4)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-2)- 歯列と咬合について説明できる。 E-2-2)- 咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 E-2-1)- 頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 E-2-1)- 咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 E-2-1)- 顎関節の構造と機能を説明できる。 E-2-1)- 下顎の随意運動の基本を説明できる。 E-2-1)- 下顎反射の機序を説明できる。 E-2-1)- 嚥下の機序を説明できる。 E-3-4)-(3)- 咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 E-3-4)-(3)- 下顎運動の記録法を説明できる。 E-2-4)-(4)- 顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(4)- 顎関節疾患(外傷、脱臼、顎関節症、顎関節強直症)を概説できる。 C-2-3)-(2)- 骨の基本構造と結合様式を説明できる。 C-2-3)-(2)- 骨格筋の構造と機能を説明できる。</p>	同上
10月2日(水) 10:40 ~ 12:10	1. 顎運動とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), E-2-1),2),4), E-3-4)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-2)- 歯列と咬合について説明できる。 E-2-2)- 咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 E-2-1)- 頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 E-2-1)- 咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 E-2-1)- 顎関節の構造と機能を説明できる。 E-2-1)- 下顎の随意運動の基本を説明できる。 E-2-1)- 下顎反射の機序を説明できる。 E-2-1)- 嚥下の機序を説明できる。 E-3-4)-(3)- 咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 E-3-4)-(3)- 下顎運動の記録法を説明できる。 E-2-4)-(4)- 顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(4)- 顎関節疾患(外傷、脱臼、顎関節症、顎関節強直症)を概説できる。 C-2-3)-(2)- 骨の基本構造と結合様式を説明できる。 C-2-3)-(2)- 骨格筋の構造と機能を説明できる。</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月3日(木) 13:00 ~ 14:30	1. 顎運動とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), E-2-1),2),4), E-3-4)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-2)- 歯列と咬合について説明できる。 E-2-2)- 咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 E-2-1)- 頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 E-2-1)- 咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 E-2-1)- 顎関節の構造と機能を説明できる。 E-2-1)- 下顎の随意運動の基本を説明できる。 E-2-1)- 下顎反射の機序を説明できる。 E-2-1)- 嚥下の機序を説明できる。 E-3-4)-(3)- 咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 E-3-4)-(3)- 下顎運動の記録法を説明できる。 E-2-4)-(4)- 顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(4)- 顎関節疾患(外傷、脱臼、顎関節症、顎関節強直症)を概説できる。 C-2-3)-(2)- 骨の基本構造と結合様式を説明できる。 C-2-3)-(2)- 骨格筋の構造と機能を説明できる。</p>	同上
10月7日(月) 10:40 ~ 12:10	平常試験 2-	<p>【PCで試験】302 教室 顎運動とその疾患</p> <p>各自、PCを用意すること(LANケーブルも忘れずに)</p>	同上
10月7日(月) 13:00 ~ 14:30	2. 炎症・痛みとその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3)</p> <p>【講義】302 教室 C-4-4)- 炎症の定義を説明できる。 C-4-4)- 炎症細胞の種類と働きを説明できる。 C-4-4)- 炎症の分類、病理組織学的変化および経時的变化を説明できる。 C-4-4)- 炎症の原因別分類と病因特異的組織変化を説明できる。 C-4-6)- 疼痛の種類を説明できる。 C-4-6)- 疼痛の発生機序を説明できる E-2-1)- 三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。 E-2-4)-(2)- 急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。 E-2-4)-(2)- 炎症の診断に必要な検査法を説明できる。 E-2-4)-(2)- 口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等)を概説できる。 E-2-4)-(6)- 三叉神経痛の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周治療の術式と適応症を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略( S B O s )( L S )・準備学習( 予習 ) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
<p>10月8日(火)</p> <p>13:00 ~ 14:30</p>	<p>2. 炎症・痛みとその疾患</p>	<p>【準備学習項目】302 教室          今まで学んだコアカリの範囲          C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3)</p> <p>【講義】</p> <p>C-4-4)- 炎症の定義を説明できる。          C-4-4)- 炎症細胞の種類と働きを説明できる。          C-4-4)- 炎症の分類、病理組織学的変化および経時的変化を説明できる。          C-4-4)- 炎症の原因別分類と病因特異的組織変化を説明できる。          C-4-6)- 疼痛の種類を説明できる。          C-4-6)- 疼痛の発生機序を説明できる          E-2-1)- 三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。          E-2-4)-(2)- 急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。          E-2-4)-(2)- 炎症の診断に必要な検査法を説明できる。          E-2-4)-(2)- 口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。          E-2-4)-(2)- 一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。          E-2-4)-(2)- 主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等)を概説できる。          E-2-4)-(6)- 三叉神経痛の特徴、症状および治療法を説明できる。          E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。          E-3-3)-(2)- 根管充填の目的、時期および方法を説明できる。          E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。          E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周治療の術式と適応症を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。</p>	<p>同上</p>

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略( S B O s )( L S )・準備学習( 予習 ) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
<p>10月9日(水)</p> <p>10:40 ~ 12:10</p>	<p>2. 炎症・痛みとその疾患</p>	<p><b>【準備学習項目】</b>          今まで学んだコアカリの範囲          C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3)</p> <p><b>【講義】302 教室</b>          C-4-4)- 炎症の定義を説明できる。          C-4-4)- 炎症細胞の種類と働きを説明できる。          C-4-4)- 炎症の分類、病理組織学的変化および経時的変化を説明できる。          C-4-4)- 炎症の原因別分類と病因特異的組織変化を説明できる。          C-4-6)- 疼痛の種類を説明できる。          C-4-6)- 疼痛の発生機序を説明できる          E-2-1)- 三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。          E-2-4)-(2)- 急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。          E-2-4)-(2)- 炎症の診断に必要な検査法を説明できる。          E-2-4)-(2)- 口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。          E-2-4)-(2)- 一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。          E-2-4)-(2)- 主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等)を概説できる。          E-2-4)-(6)- 三叉神経痛の特徴、症状および治療法を説明できる。          E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。          E-3-3)-(2)- 根管充填の目的、時期および方法を説明できる。          E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。          E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周治療の術式と適応症を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。</p>	<p>同上</p>



日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略( S B O s )( L S )・準備学習( 予習 ) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
<p>10月10日(木)</p> <p>13:00 ~ 14:30</p>	<p>2. 炎症・痛みとその疾患</p>	<p><b>【準備学習項目】</b>          今まで学んだコアカリの範囲          C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3)</p> <p><b>【講義】302 教室</b>          C-4-4)- 炎症の定義を説明できる。          C-4-4)- 炎症細胞の種類と働きを説明できる。          C-4-4)- 炎症の分類、病理組織学的変化および経時的変化を説明できる。          C-4-4)- 炎症の原因別分類と病因特異的組織変化を説明できる。          C-4-6)- 疼痛の種類を説明できる。          C-4-6)- 疼痛の発生機序を説明できる          E-2-1)- 三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。          E-2-4)-(2)- 急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。          E-2-4)-(2)- 炎症の診断に必要な検査法を説明できる。          E-2-4)-(2)- 口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。          E-2-4)-(2)- 一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。          E-2-4)-(2)- 主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等)を概説できる。          E-2-4)-(6)- 三叉神経痛の特徴、症状および治療法を説明できる。          E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。          E-3-3)-(2)- 根管充填の目的、時期および方法を説明できる。          E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。          E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周治療の術式と適応症を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。</p>	<p>同上</p>

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略( S B O s )( L S )・準備学習( 予習 ) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
<p>10月15日(火)</p> <p>13:00 ~ 14:30</p>	<p>2. 炎症・痛みとその疾患</p>	<p><b>【準備学習項目】</b>          今まで学んだコアカリの範囲          C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3)</p> <p><b>【講義】302 教室</b>          C-4-4)- 炎症の定義を説明できる。          C-4-4)- 炎症細胞の種類と働きを説明できる。          C-4-4)- 炎症の分類、病理組織学的変化および経時的変化を説明できる。          C-4-4)- 炎症の原因別分類と病因特異的組織変化を説明できる。          C-4-6)- 疼痛の種類を説明できる。          C-4-6)- 疼痛の発生機序を説明できる          E-2-1)- 三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。          E-2-4)-(2)- 急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。          E-2-4)-(2)- 炎症の診断に必要な検査法を説明できる。          E-2-4)-(2)- 口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。          E-2-4)-(2)- 一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。          E-2-4)-(2)- 主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等)を概説できる。          E-2-4)-(6)- 三叉神経痛の特徴、症状および治療法を説明できる。          E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。          E-3-3)-(2)- 根管充填の目的、時期および方法を説明できる。          E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。          E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周治療の術式と適応症を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。</p>	<p>同上</p>

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略 (SBOs) (LS)・準備学習 (予習) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
<p>10月16日(水)</p> <p>10:40 ~ 12:10</p>	<p>2. 炎症・痛みとその疾患</p>	<p><b>【準備学習項目】</b>          今まで学んだコアカリの範囲          C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3)</p> <p><b>【講義】302 教室</b>          C-4-4)- 炎症の定義を説明できる。          C-4-4)- 炎症細胞の種類と働きを説明できる。          C-4-4)- 炎症の分類、病理組織学的変化および経時的変化を説明できる。          C-4-4)- 炎症の原因別分類と病因特異的組織変化を説明できる。          C-4-6)- 疼痛の種類を説明できる。          C-4-6)- 疼痛の発生機序を説明できる          E-2-1)- 三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。          E-2-4)-(2)- 急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。          E-2-4)-(2)- 炎症の診断に必要な検査法を説明できる。          E-2-4)-(2)- 口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。          E-2-4)-(2)- 一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。          E-2-4)-(2)- 主な炎症 (舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等) を概説できる。          E-2-4)-(6)- 三叉神経痛の特徴、症状および治療法を説明できる。          E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。          E-3-3)-(2)- 根管充填の目的、時期および方法を説明できる。          E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。          E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周治療の術式と適応症を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。</p>	<p>同上</p>

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
<p>10月17日(木)</p> <p>13:00 ~ 14:30</p>	<p>2. 炎症・痛みとその疾患</p>	<p><b>【準備学習項目】</b>          今まで学んだコアカリの範囲          C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3)</p> <p><b>【講義】</b> 302 教室          C-4-4)- 炎症の定義を説明できる。          C-4-4)- 炎症細胞の種類と働きを説明できる。          C-4-4)- 炎症の分類、病理組織学的変化および経時的変化を説明できる。          C-4-4)- 炎症の原因別分類と病因特異的組織変化を説明できる。          C-4-6)- 疼痛の種類を説明できる。          C-4-6)- 疼痛の発生機序を説明できる          E-2-1)- 三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。          E-2-4)-(2)- 急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。          E-2-4)-(2)- 炎症の診断に必要な検査法を説明できる。          E-2-4)-(2)- 口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。          E-2-4)-(2)- 一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。          E-2-4)-(2)- 主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等)を概説できる。          E-2-4)-(6)- 三叉神経痛の特徴、症状および治療法を説明できる。          E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。          E-3-3)-(2)- 根管充填の目的、時期および方法を説明できる。          E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。          E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周治療の術式と適応症を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。          E-3-3)-(3)- 歯周疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。</p>	<p>同上</p>
<p>10月21日(月)</p> <p>10:40 ~ 12:10</p>	<p>平常試験 2-</p>	<p><b>【PCで試験】</b> 302 教室          炎症・痛みとその疾患</p> <p>各自、PCを用意すること(LANケーブルも忘れずに)</p>	<p>同上</p>
<p>10月21日(月)</p> <p>13:00 ~ 14:30</p>	<p>3. 微生物・感染・免疫とその疾患</p>	<p><b>【準備学習項目】</b>          今まで学んだコアカリの範囲          C-2-3), C-3-1),2), E-2-4),E-3-2)</p> <p><b>【講義】</b> 302 教室          E-2-4)-(2)- 歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。          E-2-4)-(2)- 菌血症および歯性病巣感染の病態を説明できる。          E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類とその症状を列挙できる。          E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫不全とそれらの症状を列挙できる。          E-2-4)-(7)- ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症の検査法とその口腔症状と検査法を説明できる。          E-3-2)- 歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。          E-3-2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。          E-3-2)- 歯周疾患の病因と病態を説明できる。          E-3-2)- 口腔細菌、歯垢および歯石について説明できる。</p>	<p>同上</p>

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月22日(火) 13:00 ~ 14:30	3. 微生物・感染・免疫とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), C-3-1),2), E-2-4),E-3-2)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-4)-(2)- 歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。 E-2-4)-(2)- 菌血症および歯性病巣感染の病態を説明できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類とその症状を列挙できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫不全とそれらの症状を列挙できる。 E-2-4)-(7)- ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症の検査法とその口腔症状と検査法を説明できる。 E-3-2)- 歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-2)- 歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-2)- 口腔細菌、歯垢および歯石について説明できる。</p>	同上
10月23日(水) 10:40 ~ 12:10	3. 微生物・感染・免疫とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), C-3-1),2), E-2-4),E-3-2)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-4)-(2)- 歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。 E-2-4)-(2)- 菌血症および歯性病巣感染の病態を説明できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類とその症状を列挙できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫不全とそれらの症状を列挙できる。 E-2-4)-(7)- ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症の検査法とその口腔症状と検査法を説明できる。 E-3-2)- 歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-2)- 歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-2)- 口腔細菌、歯垢および歯石について説明できる。</p>	同上
10月24日(木) 13:00 ~ 14:30	3. 微生物・感染・免疫とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), C-3-1),2), E-2-4),E-3-2)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-4)-(2)- 歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。 E-2-4)-(2)- 菌血症および歯性病巣感染の病態を説明できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類とその症状を列挙できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫不全とそれらの症状を列挙できる。 E-2-4)-(7)- ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症の検査法とその口腔症状と検査法を説明できる。 E-3-2)- 歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-2)- 歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-2)- 口腔細菌、歯垢および歯石について説明できる。</p>	同上
10月28日(月) 10:40 ~ 12:10	平常試験 2-	<p>【PCで試験】302 教室 微生物・感染・免疫とその疾患</p> <p>各自、PCを用意すること(LANケーブルも忘れずに)</p>	同上
10月28日(月) 13:00 ~ 14:30	4. 歯質・歯の欠損と歯科材料	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2),3),4)</p> <p>【講義】302 教室 D-2- 印象材の種類と性質を説明できる。 D-2- 歯科用石膏の種類と特性を説明できる。 D-2- ワックスの種類と特性を説明できる。 D-2- レジンの重合、金属の鋳造・熱処理およびポーセレン焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 D-2- 切削・研磨用材料と使用機器の特徴を説明できる。</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
<p>10月29日(火)</p> <p>13:00 ~ 14:30</p>	<p>4. 歯質・歯の欠損と歯科材料</p>	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2),3),4)</p> <p>【講義】302 教室 E-3-2)- 歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3)-(3)- う蝕の症状と診断を説明できる。 E-3-3)-(3)- う蝕の予防と治療の方法を説明できる。 E-3-3)-(4)- 象牙質知覚過敏症の病因、病態、診断および治療法を説明できる。 E-3-4)-(1)- 歯質欠損に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 E-3-4)-(1)- 修復材料と修復法の種類と特徴およびその適応を説明できる。 E-3-4)-(1)- 修復法に関する模型上での基本的操作ができる。 E-3-4)-(1)- 修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 E-3-4)-(1)- 歯髄保護の種類を述べ、その重要性を説明できる。 E-3-4)-(1)- 支台築造の意義、種類および特徴を説明できる。 E-3-4)-(1)- 窩洞形成と支台歯形成の意義と方法を説明できる。 E-3-4)-(1)- 仮封ならびに暫間装置の意義、種類および特徴を説明できる。 E-3-4)-(1)- 研究模型と作業模型の製作方法を説明できる。 E-3-4)-(1)- 平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。 E-3-4)-(1)- 修復後の術後管理の目的と方法を説明できる。 E-3-4)-(1)- 歯の硬組織疾患の診査と検査および診断ができる。</p>	<p>同上</p>
<p>10月30日(水)</p> <p>10:40 ~ 12:10</p>	<p>4. 歯質・歯の欠損と歯科材料</p>	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2),3),4)</p> <p>【講義】302 教室 E-3-2)- 歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3)-(3)- う蝕の症状と診断を説明できる。 E-3-3)-(3)- う蝕の予防と治療の方法を説明できる。 E-3-3)-(4)- 象牙質知覚過敏症の病因、病態、診断および治療法を説明できる。 E-3-4)-(1)- 歯質欠損に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 E-3-4)-(1)- 修復材料と修復法の種類と特徴およびその適応を説明できる。 E-3-4)-(1)- 修復法に関する模型上での基本的操作ができる。 E-3-4)-(1)- 修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 E-3-4)-(1)- 歯髄保護の種類を述べ、その重要性を説明できる。 E-3-4)-(1)- 支台築造の意義、種類および特徴を説明できる。 E-3-4)-(1)- 窩洞形成と支台歯形成の意義と方法を説明できる。 E-3-4)-(1)- 仮封ならびに暫間装置の意義、種類および特徴を説明できる。 E-3-4)-(1)- 研究模型と作業模型の製作方法を説明できる。 E-3-4)-(1)- 平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。 E-3-4)-(1)- 修復後の術後管理の目的と方法を説明できる。 E-3-4)-(1)- 歯の硬組織疾患の診査と検査および診断ができる。</p>	<p>同上</p>

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
<p>10月31日(木)</p> <p>13:00 ~ 14:30</p>	<p>4. 歯質・歯の欠損と歯科材料</p>	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2),3),4)</p> <p>【講義】302教室 E-3-4)-(2)- 橋義歯の意義と具備条件を説明できる。 E-3-4)-(2)- 橋義歯の種類と特徴を説明できる E-3-4)-(2)- 支台装置とボンティックの選択、特徴および製作法を説明できる。 E-3-4)-(2)- 橋義歯における支台歯形成の方法を説明できる。 E-3-4)-(2)- リテーナーの意義を説明できる。 E-3-4)-(2)- 橋義歯の製作に必要な材料の特性と各基本的操作を説明できる。 E-3-4)-(2)- 橋義歯製作のための咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 E-3-4)-(2)- 橋義歯の維持管理の目的と方法を説明できる。 E-3-4)-(2)- フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器の基本的操作ができる。E-3-4)-(2)- 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。 E-3-4)-(2)- 橋義歯の設計を適切にできる。 E-3-4)-(2)- 支台装置の製作過程における基本的手技ができる。 E-3-4)-(2)- 橋義歯の装着後における定期健診の重要性を説明し、指導できる。</p>	<p>同上</p>
<p>11月5日(火)</p> <p>13:00 ~ 14:30</p>	<p>4. 歯質・歯の欠損と歯科材料</p>	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2),3),4)</p> <p>【講義】302教室 E-3-4)-(2)- 橋義歯の意義と具備条件を説明できる。 E-3-4)-(2)- 橋義歯の種類と特徴を説明できる E-3-4)-(2)- 支台装置とボンティックの選択、特徴および製作法を説明できる。 E-3-4)-(2)- 橋義歯における支台歯形成の方法を説明できる。 E-3-4)-(2)- リテーナーの意義を説明できる。 E-3-4)-(2)- 橋義歯の製作に必要な材料の特性と各基本的操作を説明できる。 E-3-4)-(2)- 橋義歯製作のための咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 E-3-4)-(2)- 橋義歯の維持管理の目的と方法を説明できる。 E-3-4)-(2)- フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器の基本的操作ができる。E-3-4)-(2)- 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。 E-3-4)-(2)- 橋義歯の設計を適切にできる。 E-3-4)-(2)- 支台装置の製作過程における基本的手技ができる。 E-3-4)-(2)- 橋義歯の装着後における定期健診の重要性を説明し、指導できる。</p>	<p>同上</p>

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略( S B O s )( L S )・準備学習( 予習 ) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月6日(水) 10:40 ~ 12:10	4. 歯質・歯の欠損と歯科材料	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2),3),4)</p> <p>【講義】302 教室 E-3-4)-(3)- 可撤性義歯の目的と意義および具備条件を説明できる。 E-3-4)-(3)- 即時義歯の目的と意義を説明できる E-3-4)-(3)- 治療用義歯の目的と意義を説明できる。 E-3-4)-(3)- 可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる E-3-4)-(3)- 可撤性義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。 E-3-4)-(3)- 可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 E-3-4)-(3)- 可撤性義歯の構成要素を説明できる。 E-3-4)-(3)- 咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 E-3-4)-(3)- 下顎運動の記録法を説明できる。 E-3-4)-(3)- 可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 E-3-4)-(3)- 可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる E-3-4)-(3)- 可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。 E-3-4)-(3)- 可撤性義歯の調整、リライニング、リベースおよび修理を説明でき、適切に行うことができる E-3-4)-(3)- 可撤性義歯装着後における定期検診の重要性を説明し、指導できる。</p>	同上
11月7日(木) 13:00 ~ 14:30	4. 歯質・歯の欠損と歯科材料	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2),3),4)</p> <p>【講義】302 教室 E-3-4)-(2)- 可撤性義歯の目的と意義および具備条件を説明できる。 E-3-4)-(2)- 即時義歯の目的と意義を説明できる E-3-4)-(2)- 治療用義歯の目的と意義を説明できる。 E-3-4)-(2)- 可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる E-3-4)-(2)- 可撤性義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。 E-3-4)-(2)- 可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 E-3-4)-(2)- 可撤性義歯の構成要素を説明できる。 E-3-4)-(2)- 咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 E-3-4)-(2)- 下顎運動の記録法を説明できる。 E-3-4)-(2)- 可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 E-3-4)-(2)- 可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる E-3-4)-(2)- 可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。 E-3-4)-(2)- 可撤性義歯の調整、リライニング、リベースおよび修理を説明でき、適切に行うことができる E-3-4)-(2)- 可撤性義歯装着後における定期検診の重要性を説明し、指導できる。 E-3-4)-(3) デンタルインプラントの種類、特徴、目的および意義を説明できる。 E-3-4)-(3) デンタルインプラントの基本構造を説明できる。</p>	同上
11月11日(月) 10:40 ~ 12:10	平常試験 2-	<p>【PC で試験】302 教室 歯質・歯の欠損と歯科材料</p> <p>各自、PC を用意すること( LAN ケーブルも忘れずに )</p>	同上



日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月11日(月) 13:00 ~ 14:30	5.代謝・薬物動態・全身疾患と 歯科治療	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1),2),3),4), E-1-3),5), E-2-4)</p> <p>【講義】302教室 C-4-3)- 虚血、充血およびうっ血の徴候、原因および転帰を説明できる。 C-4-3)- 出血の原因、種類および転帰を説明できる。 C-4-3)- 血栓症の形態学、成因と条件および転帰を説明できる。 C-4-3)- 塞栓症について塞栓の運ばれる経路、塞栓の種類および転帰を説明できる C-4-3)- 梗塞の種類、形態および転帰を説明できる。 C-4-3)- 浮腫の原因とその転帰を説明できる。 C-4-3)- ショックの原因と成因を説明できる。 C-5-4)- 薬物の一般的副作用、有害作用と口腔・顎顔面領域に現れる副作用、有害作用を説明できる。</p>	同上
11月12日(火) 13:00 ~ 14:30	5.代謝・薬物動態・全身疾患と 歯科治療	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1),2),3),4), E-1-3),5), E-2-4)</p> <p>【講義】302教室 E-1-3)-(1)- バイタルサインを列挙し、説明できる。 E-1-3)-(1)- 血圧を測定できる。 E-1-3)-(1)- 脈拍の状態を把握できる。 E-1-3)-(1)- 呼吸の状態を把握できる。 E-1-3)-(1)- 歯科治療中の全身状態に影響を及ぼす疾患を説明できる。 E-1-3)-(1)- 歯科治療時に留意すべき服用薬物を説明できる。 E-1-3)-(1)- 小児、妊婦および高齢者への薬物適用上の注意を説明できる。 E-1-3)-(1)- 全身疾患を有する患者への薬物適用上の注意を説明できる。 E-1-3)-(2)- 精神鎮静法の目的を説明できる。 E-1-3)-(2)- 吸入鎮静法の適応と禁忌を説明できる。 E-1-3)-(2)- 静脈内鎮静法の適応と禁忌を説明できる。 E-1-3)-(2)- 精神鎮静法の種類を説明できる。</p>	同上
11月13日(水) 10:40 ~ 12:10	5.代謝・薬物動態・全身疾患と 歯科治療	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1),2),3),4), E-1-3),5), E-2-4)</p> <p>【講義】302教室 E-1-3)-(3)- 局所麻酔の目的を説明できる。 E-1-3)-(3)- 局所麻酔薬を分類し、その作用機序を説明できる。 E-1-3)-(3)- 局所麻酔作用に影響を及ぼす因子を説明できる。 E-1-3)-(3)- 血管収縮薬の種類と特徴を説明できる。 E-1-3)-(3)- 局所麻酔法の種類と特徴を説明できる。 E-1-3)-(3)- 局所麻酔時の合併症を説明できる。 E-1-3)-(4)- 全身麻酔の目的を説明できる。 E-1-3)-(4)- 全身麻酔の適応と禁忌を説明できる。 E-1-3)-(4)- 全身麻酔法の種類と特徴を説明できる。</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月14日(木) 13:00 ~ 14:30	5. 代謝・薬物動態・全身疾患と 歯科治療	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1),2),3),4), E-1-3),5), E-2-4)</p> <p>【講義】302 教室 E-1-5)- 意識レベル、呼吸および脈拍の状態を把握できる。 E-1-5)- 気道閉塞および気道確保法を説明できる。 E-1-5)- 呼気吹き込みによる人工呼吸を説明できる。 E-1-5)- 非開胸心マッサージを説明できる。 E-1-5)- 救急処置に用いられる薬物を列挙し、その作用機序を説明できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患(貧血、出血性素因、白血病)とスクリーニング検査法を列挙できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断および治療法を列挙できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現す薬物の副作用を列挙できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現す代謝障害とその症状を列挙できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現すビタミン欠乏症とその症状を列挙できる。 E-4-6) 代表的な医科疾患(内科的疾患)を説明できる。 E-4-6) 主要な医科疾患の症候を説明できる。 E-4-6) 主要な身体診察を説明できる。 E-4-6) 妊娠時の管理に必要な基礎知識を説明できる。 E-4-6) 小児の代表的な疾患を説明できる。</p>	同上
11月18日(月) 10:40 ~ 12:10	平常試験 2-	<p>【PCで試験】302 教室 代謝・薬物動態・全身疾患と歯科治療</p> <p>各自、PCを用意すること(LANケーブルも忘れずに)</p>	同上
11月18日(月) 13:00 ~ 14:30	6. 口腔領域の疾患(外傷)・画像検査・放射線	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2)</p> <p>【講義】302 教室 E-1-2)- 放射線の種類と性質を説明できる。 E-1-2)- 放射線の人体への影響を説明できる。 E-1-2)- 放射線防護の基準と方法を説明できる。 E-1-2)- エックス線画像の形成原理を説明できる。 E-1-2)- エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 E-1-2)- 口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影の種類および適応を説明できる。 E-1-2)- 口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。 E-1-2)- 頭部エックス線撮影の種類および適応を説明できる。 E-1-2)- 超音波装置、エックス線CTおよび磁気共鳴撮像装置を用いた検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	同上
11月19日(火) 13:00 ~ 14:30	6. 口腔領域の疾患(外傷)・画像検査・放射線	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2)</p> <p>【講義】302 教室 E-1-2)- 放射線の種類と性質を説明できる。 E-1-2)- 放射線の人体への影響を説明できる。 E-1-2)- 放射線防護の基準と方法を説明できる。 E-1-2)- エックス線画像の形成原理を説明できる。 E-1-2)- エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 E-1-2)- 口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影の種類および適応を説明できる。 E-1-2)- 口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。 E-1-2)- 頭部エックス線撮影の種類および適応を説明できる。 E-1-2)- 超音波装置、エックス線CTおよび磁気共鳴撮像装置を用いた検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月20日(水) 10:40 ~ 12:10	6. 口腔領域の疾患(外傷)・画像検査・放射線	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-4)-(1)- 一般的な骨折の種類と特徴および治癒過程を説明できる。 E-2-4)-(1)- 歯の外傷と顎顔面骨折の原因と種類を列挙できる。 E-2-4)-(1)- 外傷時の検査法を列挙できる。 E-2-4)-(1)- 歯の外傷の症状と検査法を列挙し、診断と治療法を説明できる。 E-2-4)-(1)- 歯槽骨骨折、上顎骨骨折および下顎骨骨折の症状と検査法を列挙し、診断と治療法を説明できる。 E-2-4)-(1)- 骨折の治療原則を説明できる。 E-2-4)-(1)- 軟組織損傷を分類し、それぞれの症状と処置法を説明できる。</p>	同上
11月21日(木) 13:00 ~ 14:30	6. 口腔領域の疾患(外傷)・画像検査・放射線	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-4)-(1)- 一般的な骨折の種類と特徴および治癒過程を説明できる。 E-2-4)-(1)- 歯の外傷と顎顔面骨折の原因と種類を列挙できる。 E-2-4)-(1)- 外傷時の検査法を列挙できる。 E-2-4)-(1)- 歯の外傷の症状と検査法を列挙し、診断と治療法を説明できる。 E-2-4)-(1)- 歯槽骨骨折、上顎骨骨折および下顎骨骨折の症状と検査法を列挙し、診断と治療法を説明できる。 E-2-4)-(1)- 骨折の治療原則を説明できる。 E-2-4)-(1)- 軟組織損傷を分類し、それぞれの症状と処置法を説明できる。</p>	同上
11月25日(月) 10:40 ~ 12:10	平常試験 2-	<p>【PCで試験】302 教室 口腔領域の疾患(外傷)・画像検査・放射線</p> <p>各自、PCを用意すること(LANケーブルも忘れずに)</p>	同上
11月25日(月) 13:00 ~ 14:30	7. 口腔領域の疾患(炎症・嚢胞)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-4)-(2)- 口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髄炎、歯性上顎洞炎等)を概説できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類とその症状を列挙できる。 E-4-2)- 小児の歯の外傷の診察、検査と診断および処置法と予後を説明できる。 E-2-4)-(3)- 顎骨に発生する歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 顎骨に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 軟組織に発生する嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の一般的な症状、診断法および治療法を概説できる。</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月26日(火) 13:00 ~ 14:30	7. 口腔領域の疾患(炎症・嚢胞)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-4)-(2)- 口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等)を概説できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類とその症状を列挙できる。 E-4-2)- 小児の歯の外傷の診察、検査と診断および処置法と予後を説明できる。 E-2-4)-(3)- 顎骨に発生する歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 顎骨に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 軟組織に発生する嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の一般的な症状、診断法および治療法を概説できる。</p>	同上
11月27日(水) 10:40 ~ 12:10	7. 口腔領域の疾患(炎症・嚢胞)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-4)-(2)- 口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等)を概説できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類とその症状を列挙できる。 E-4-2)- 小児の歯の外傷の診察、検査と診断および処置法と予後を説明できる。 E-2-4)-(3)- 顎骨に発生する歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 顎骨に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 軟組織に発生する嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の一般的な症状、診断法および治療法を概説できる。</p>	同上
11月28日(木) 13:00 ~ 14:30	7. 口腔領域の疾患(炎症・嚢胞)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-4)-(2)- 口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等)を概説できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類とその症状を列挙できる。 E-4-2)- 小児の歯の外傷の診察、検査と診断および処置法と予後を説明できる。 E-2-4)-(3)- 顎骨に発生する歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 顎骨に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 軟組織に発生する嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の一般的な症状、診断法および治療法を概説できる。</p>	同上
12月2日(月) 10:40 ~ 12:10	平常試験 2-	<p>【PCで試験】302 教室 口腔領域の疾患(炎症・嚢胞)</p> <p>各自、PCを用意すること(LANケーブルも忘れずに)</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月2日(月) 13:00 ~ 14:30	8. 口腔領域の疾患(腫瘍) 小手術の基本手技 救急処置	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5), E-2-2),4)</p> <p>【講義】302 教室 C-4-5)- 腫瘍の定義を説明できる。 C-4-5)- 腫瘍の組織発生を説明できる。 C-4-5)- 異形成、退形成および分化を説明できる。 C-4-5)- 腫瘍の異型性と多形性を説明できる。 C-4-5)- 良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 C-4-5)- 局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。</p>	同上
12月3日(火) 13:00 ~ 14:30	8. 口腔領域の疾患(腫瘍) 小手術の基本手技 救急処置	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5), E-2-2),4)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-4)-(3)- 歯源性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 非歯源性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状、診断法(組織診、画像診断)および治療法を概説できる。 E-2-4)-(3)- エナメル上皮腫の特徴、症状および治療法を概説できる。 E-2-4)-(3)- 前癌病変(白板症、紅板症)の特徴、症状および治療法を概説できる。 E-2-4)-(3)- 前癌状態の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 口腔癌の特徴、予防、症状および治療法を概説できる。 E-2-4)-(3)- 腫瘍類似疾患の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- エプーリスの特徴、症状および治療法を概説できる。</p>	同上
12月4日(水) 10:40 ~ 12:10	8. 口腔領域の疾患(腫瘍) 小手術の基本手技 救急処置	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5), E-2-2),4)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-4)-(3)- 歯源性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 非歯源性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状、診断法(組織診、画像診断)および治療法を概説できる。 E-2-4)-(3)- エナメル上皮腫の特徴、症状および治療法を概説できる。 E-2-4)-(3)- 前癌病変(白板症、紅板症)の特徴、症状および治療法を概説できる。 E-2-4)-(3)- 前癌状態の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 口腔癌の特徴、予防、症状および治療法を概説できる。 E-2-4)-(3)- 腫瘍類似疾患の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- エプーリスの特徴、症状および治療法を概説できる。</p>	同上
12月5日(木) 13:00 ~ 14:30	8. 口腔領域の疾患(腫瘍) 小手術の基本手技 救急処置	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 E-1-4), E-1-5)</p> <p>【講義】302 教室 E-1-4) 抜歯の適応症と禁忌症を説明できる。 【相対的禁忌への対応および小手術の適応症と禁忌を含む。】 E-1-4) 小手術の合併症(偶発症)を説明できる。 E-1-4) 抜歯(小手術)に必要な器具の用法と基本手技を説明できる。 E-1-4) 粘膜の切開、剥離に必要な器具の用法を説明できる。 E-1-4) 縫合と止血に必要な器具の用法を説明できる。 E-1-4) 手指と術野の消毒について説明できる。 E-1-4) 清潔と不潔の区別を説明できる。 E-1-4) 器具の滅菌、消毒について説明できる。 E-1-5) 歯科治療時の全身合併症(偶発症)を説明できる。 E-1-5) 意識レベル、呼吸および脈拍の状態を把握できる。 E-1-5) 気道閉塞および気道確保法を説明できる。</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月9日(月) 10:40 ~ 12:10	平常試験 2-	【PCで試験】302教室 炎症・痛みとその疾患  各自、PCを用意すること(LANケーブルも忘れずに)	同上
12月9日(月) 13:00 ~ 14:30	8. 口腔領域の疾患 (唾液腺疾患・粘膜疾患等)	【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5, E-2-2),4)  【講義】302教室 E-2-2)- 唾液腺の構造と機能を説明できる。 E-2-4)-(5)- 唾石症の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(5)- 唾液腺腫瘍の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(5)- 流行性耳下腺炎の原因ウイルス、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(5)- Sj&ouml;gren 症候群の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(5)- 小唾液腺疾患を概説できる。 E-2-4)-(2)- 口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。 E-2-4)-(6)- 三叉神経痛の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(6)- 顔面神経麻痺の特徴、症状および治療法を説明できる。	同上
12月10日(火) 13:00 ~ 14:30	8. 口腔領域の疾患 (唾液腺疾患・粘膜疾患等)	【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5, E-2-2),4)  【講義】302教室 E-2-2)- 唾液腺の構造と機能を説明できる。 E-2-4)-(5)- 唾石症の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(5)- 唾液腺腫瘍の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(5)- 流行性耳下腺炎の原因ウイルス、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(5)- Sj&ouml;gren 症候群の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(5)- 小唾液腺疾患を概説できる。 E-2-4)-(2)- 口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。 E-2-4)-(6)- 三叉神経痛の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(6)- 顔面神経麻痺の特徴、症状および治療法を説明できる。	同上
12月11日(水) 10:40 ~ 12:10	8. 口腔領域の疾患 (唾液腺疾患・粘膜疾患等)	【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5, E-2-2),4)  【講義】302教室 E-2-2)- 唾液腺の構造と機能を説明できる。 E-2-4)-(5)- 唾石症の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(5)- 唾液腺腫瘍の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(5)- 流行性耳下腺炎の原因ウイルス、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(5)- Sj&ouml;gren 症候群の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(5)- 小唾液腺疾患を概説できる。 E-2-4)-(2)- 口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。 E-2-4)-(6)- 三叉神経痛の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(6)- 顔面神経麻痺の特徴、症状および治療法を説明できる。	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月12日(木) 13:00 ~ 14:30	8. 口腔領域の疾患 (唾液腺疾患・粘膜疾患等)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5), E-2-2),4)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-2)- 唾液腺の構造と機能を説明できる。 E-2-4)-(5)- 唾石症の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(5)- 唾液腺腫瘍の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(5)- 流行性耳下腺炎の原因ウイルス、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(5)- Sj&amp;ouml;l;gren 症候群の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(5)- 小唾液腺疾患を概説できる。 E-2-4)-(2)- 口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。 E-2-4)-(6)- 三叉神経痛の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(6)- 顔面神経麻痺の特徴、症状および治療法を説明できる。</p>	同上
12月16日(月) 10:40 ~ 12:10	平常試験 2-	<p>【PC で試験】302 教室 炎症・痛みとその疾患</p> <p>各自、PC を用意すること(LAN ケーブルも忘れずに)</p>	同上
12月16日(月) 13:00 ~ 14:30	10. 基本的事項	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 A-1, A-2, A-3, A-4, A-5, A-7</p> <p>【講義】302 教室 A-1- 患者の権利を説明できる。 A-1- 患者の自己決定権を説明できる。 A-1- 患者が自己決定ができない場合の対応を説明できる。</p>	同上
12月17日(火) 13:00 ~ 14:30	10. 基本的事項	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 A-1, A-2, A-3, A-4, A-5, A-7</p> <p>【講義】302 教室 A-2- 医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。 A-2- 医の倫理に関する規範・国際規範(ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言)を概説できる。 A-2- 生と死に関わる倫理的問題を説明できる。</p>	同上
12月18日(水) 10:40 ~ 12:10	10. 基本的事項	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 A-1, A-2, A-3, A-4, A-5, A-7</p> <p>【講義】302 教室 A-3- 歯科医師の法的義務を列挙できる。 A-4- インフォームドコンセントの定義と重要性を説明できる。</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月19日(木) 13:00 ~ 14:30	10. 基本的事項	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 A-1, A-2, A-3, A-4, A-5, A-7</p> <p>【講義】302 教室 A-5-1)- 歯科医療における事故の特異性を説明できる。 A-5-1)- 実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。 A-5-1)- 医療上の事故等を防止するには、個人の注意力はもとより組織的なリスク管理が重要であることを説明できる。 A-5-1)- 医療現場における報告・連絡・相談と記録の重要性や、診療録改竄の違法性について説明できる。 A-5-1)- 医療機関における安全管理体制(事故報告書、ヒヤリハット報告、リスク管理者、事故防止委員会、事故調査委員会等)を概説できる。 A-5-2)- 医療事故と医療過誤の違いを説明できる。 A-5-2)- 医療上の事故等(ヒヤリハット、アクシデント、医療過誤等を含む)の事例の原因を分析し、防止対策を説明できる。 A-5-2)- 医療上の事故等(ヒヤリハット、アクシデント、医療過誤等を含む)が発生した時の緊急処置や記録、報告について説明できる。 A-5-2)- 医療過誤に関連して歯科医師に科せられた社会的責任と罰則規定(行政処分、民事責任、刑事責任、司法解剖)の基本的事項を説明できる。 A-5-2)- 基本的予防策(ダブルチェック、チェックリスト法、薬品名称の改善、フェイルセーフ・フルブルーフの考え方など)について概説できる。</p>	同上
12月21日(土) 10:40 ~ 12:10	10. 基本的事項	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 A-1, A-2, A-3, A-4, A-5, A-7</p> <p>【講義】302 教室 A-5-3)- 医療従事者の健康管理の重要性を説明できる。 A-5-3)- 標準予防策(Standard Precautions)の必要性を説明できる。 A-5-3)- 患者隔離の必要な場合について説明できる。 A-5-3)- 針刺し事故等に遭遇した際の対処の仕方を説明できる。</p>	同上
12月21日(土) 13:00 ~ 14:30	10. 基本的事項	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 A-1, A-2, A-3, A-4, A-5, A-7</p> <p>【講義】302 教室 A-7-1)- コミュニケーションの目的と技法を説明できる。 A-7-1)- 信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 A-7-2)- 医療面接の役割を説明できる。 A-7-2)- 必要に応じて、他の医療機関への適切な紹介を行うための手続きを説明できる。 A-7-2)- 患者のプライバシーに配慮できる。 A-7-2)- 患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱ができる。 A-7-3)- 医療チームのメンバーの役割と連携を説明できる。 A-7-3)- 保健・医療・福祉の連携を理解し、歯科医師の役割を説明できる。</p>	同上
12月24日(火) 13:00 ~ 14:30	平常試験 2-	<p>【PCで試験】302 教室 炎症・痛みとその疾患</p> <p>各自、PCを用意すること(LANケーブルも忘れずに)</p>	同上
1月8日(水) 10:40 ~ 12:10	11. 口腔衛生・関連法規	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 B-1, B-2-1),2),3), B-3-1),2), B-4-1),2),3)</p> <p>【講義】302 教室 B-1- 健康の概念を説明できる B-1- 口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-1- 疾病の概念、種類および予防を概説できる。</p>	同上



日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月9日(木) 13:00 ~ 14:30	11. 口腔衛生・関連法規	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 B-1, B-2-1),2),3), B-3-1),2), B-4-1),2),3)</p> <p>【講義】302 教室 B-2-1)- 歯科医師法を概説できる。 B-2-1)- 医療法を概説できる。 B-2-1)- 歯科衛生士法と歯科技工士法を概説できる。 B-2-1)- 医師法、薬剤師法および保健師助産師看護師法を概説できる。 B-2-2)- 保健・医療制度を説明できる。 B-2-2)- 医療保険制度を説明できる。</p>	同上
1月14日(火) 13:00 ~ 14:30	11. 口腔衛生・関連法規	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 B-1, B-2-1),2),3), B-3-1),2), B-4-1),2),3)</p> <p>【講義】302 教室 B-2-2)- 介護保険制度を説明できる。 B-2-2)- 社会福祉制度を説明できる。 B-2-2)- 高齢者のおかれた社会環境を説明できる。 B-2-2)- 障害者のおかれた社会環境を説明できる。 B-2-2)- ノーマライゼーションの考え方を説明できる。 B-2-2)- 地域医療に求められる役割と機能および体制等、地域医療の在り方を概説できる。 B-2-2)- 地域における保健・医療・福祉・介護の分野間の連携および他職種間の連携の必要性について説明できる。 B-2-2)- 地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を説明できる。 B-2-3)- 環境による健康への影響を説明できる。 B-2-3)- 環境基準と環境汚染を説明できる。</p>	同上
1月15日(水) 10:40 ~ 12:10	11. 口腔衛生・関連法規	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 B-1, B-2-1),2),3), B-3-1),2), B-4-1),2),3)</p> <p>【講義】302 教室 B-3-1)- 第一次、第二次および第三次予防を説明できる。 B-3-1)- プロフェッショナルケア、セルフケアおよびコミュニティケアを説明できる。 B-3-1)- プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを説明できる。 B-3-2)- 主な口腔疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる B-3-2)- う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。 B-3-2)- ライフステージにおける予防を説明できる。 B-3-2)- 集団レベルの予防と健康管理(地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健)を説明できる。</p>	同上
1月16日(木) 13:00 ~ 14:30	11. 口腔衛生・関連法規	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 B-1, B-2-1),2),3), B-3-1),2), B-4-1),2),3)</p> <p>【講義】302 教室 B-4-1)- 疫学とEBMの概念を説明できる。 B-4-1)- スクリーニング検査を説明できる。 B-4-1)- 口腔疾患の疫学的指標を説明できる。 B-4-2)- 主な保健医療統計(人口動態・静態統計、患者調査、医療施設調査、医師・歯科医師・薬剤師調査、歯科疾患実態調査、学校保健統計調査)を説明できる。 B-4-2)- 主な健康指標(平均寿命、平均余命、新生児・乳幼児死亡率)を説明できる。 B-4-2)- 調査方法と統計的分析法を説明できる。 B-4-3)- 保健医療情報の取扱いと情報のセキュリティを説明できる。 B-4-3)- 医療情報の開示に関する注意点を説明できる。</p>	同上
1月20日(月) 10:40 ~ 12:10	平常試験 2-	<p>【PCで試験】302 教室 口腔衛生・関連法規</p> <p>各自、PCを用意すること(LANケーブルも忘れずに)</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略( S B O s )( L S )・準備学習( 予習 ) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月20日(月) 13:00 ~ 14:30	12. 発生・成長・加齢とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5)</p> <p>【講義】302 教室 C-2-2)- 個体発生と器官発生を概説できる。 C-2-4)- 人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。 E-2-3)- 口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を概説できる。 E-2-3)- 一次口蓋と二次口蓋の発生を説明できる。 E-2-3)- 口腔・頭蓋・顎顔面領域に症状をきたす主な先天異常を説明できる。 E-2-3)- 口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常(不正咬合)を説明できる。 E-2-3)- 口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育および加齢による変化を説明できる。 E-2-3)- 舌と唾液腺の発生とその加齢現象を説明できる。 E-2-4)-(7)- 口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。 E-2-4)-(7)- 顎変形症を概説できる。</p>	同上
1月21日(火) 13:00 ~ 14:30	12. 発生・成長・加齢とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5)</p> <p>【講義】302 教室 C-2-2)- 個体発生と器官発生を概説できる。 C-2-4)- 人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。 E-2-3)- 口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を概説できる。 E-2-3)- 一次口蓋と二次口蓋の発生を説明できる。 E-2-3)- 口腔・頭蓋・顎顔面領域に症状をきたす主な先天異常を説明できる。 E-2-3)- 口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常(不正咬合)を説明できる。 E-2-3)- 口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育および加齢による変化を説明できる。 E-2-3)- 舌と唾液腺の発生とその加齢現象を説明できる。 E-2-4)-(7)- 口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。 E-2-4)-(7)- 顎変形症を概説できる。</p>	同上
1月22日(水) 10:40 ~ 12:10	12. 発生・成長・加齢とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5)</p> <p>【講義】302 教室 E-3-1)- 歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。 E-3-1)- 歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。 E-3-2)- 歯の発育障害と加齢変化の病因と病態を説明できる。 E-4-1)- 矯正治療の目的と意義を説明できる。 E-4-1)- 正常咬合の概念と成立・保持条件を説明できる。 E-4-1)- 不正咬合によって生じる障害を列挙できる。 E-4-1)- 不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。 E-4-1)- 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 E-4-1)- 矯正装置の種類と用途を説明できる。 E-4-1)- 矯正治療に必要な力学を説明できる。 E-4-1)- 矯正治療によって起こる生体の反応を説明できる。 E-4-1)- 矯正治療によって生じる医原性障害を挙げ、その処置と予防法を説明できる。</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略( S B O s )( L S )・準備学習( 予習 ) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月23日(木) 13:00 ~ 14:30	12. 発生・成長・加齢とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5)</p> <p>【講義】302 教室 E-3-1)- 歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。 E-3-1)- 歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。 E-3-2)- 歯の発育障害と加齢変化の病因と病態を説明できる。 E-4-1)- 矯正治療の目的と意義を説明できる。 E-4-1)- 正常咬合の概念と成立・保持条件を説明できる。 E-4-1)- 不正咬合によって生じる障害を列挙できる。 E-4-1)- 不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。 E-4-1)- 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 E-4-1)- 矯正装置の種類と用途を説明できる。 E-4-1)- 矯正治療に必要な力学を説明できる。 E-4-1)- 矯正治療によって起こる生体の反応を説明できる。 E-4-1)- 矯正治療によって生じうる医原性障害を挙げ、その処置と予防法を説明できる。</p>	同上
1月27日(月) 10:40 ~ 12:10	12. 発生・成長・加齢とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5)</p> <p>【講義】302 教室 E-4-2)- 小児の身体発育、精神発達の特徴と評価法を説明できる。 E-4-2)- 乳歯と幼若永久歯のう蝕の特徴を説明できる。 E-4-2)- 乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。 E-4-2)- 乳歯と根末完成永久歯の歯髄炎の診察、検査と診断を説明できる。 E-4-2)- 乳歯と根末完成永久歯の歯髄炎の処置法の種類と適応症、予後および手順と留意点を説明できる。 E-4-2)- 小児の歯の外傷の診察、検査と診断および処置法と予後を説明できる。 E-4-2)- 咬合誘導の概念を説明できる。 E-4-2)- 保隙処置の目的と種類、適応症および留意点を説明できる。</p>	同上
1月27日(月) 13:00 ~ 14:30	12. 発生・成長・加齢とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5)</p> <p>【講義】302 教室 E-4-2)- 小児の身体発育、精神発達の特徴と評価法を説明できる。 E-4-2)- 乳歯と幼若永久歯のう蝕の特徴を説明できる。 E-4-2)- 乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。 E-4-2)- 乳歯と根末完成永久歯の歯髄炎の診察、検査と診断を説明できる。 E-4-2)- 乳歯と根末完成永久歯の歯髄炎の処置法の種類と適応症、予後および手順と留意点を説明できる。 E-4-2)- 小児の歯の外傷の診察、検査と診断および処置法と予後を説明できる。 E-4-2)- 咬合誘導の概念を説明できる。 E-4-2)- 保隙処置の目的と種類、適応症および留意点を説明できる。</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月28日(火) 13:00 ~ 14:30	12. 発生・成長・加齢とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5)</p> <p>【講義】302 教室 E-4-3)- 老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 E-4-3)- 老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。 E-4-3)- 高齢者に多くみられる疾患を説明できる。 E-4-3)- 高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。 E-4-3)- 要介護高齢者の歯科治療を説明できる。 E-4-3)- 摂食・嚥下リハビリテーションを説明できる。 E-4-4)- 障害者の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 E-4-4)- 障害者の行動調整(行動管理)と歯科治療を説明できる。 E-4-5)- 心身相関を説明できる。 E-4-5)- 心身症を説明できる。 E-4-5)- 口腔・頭蓋・顎顔面領域の心因性の痛みを説明できる。 E-4-5)- 心理テストを説明できる。 E-4-5)- 舌痛症を概説できる。</p>	同上
1月29日(水) 10:40 ~ 12:10	平常試験 2-	<p>【PCで試験】302 教室 発生・成長・加齢とその疾患</p> <p>各自、PCを用意すること(LANケーブルも忘れずに)</p>	同上
1月29日(水) 13:00 ~ 14:30	共用試験の受験について	<p>【講義】302 教室 共用試験(CBT,OSCE)の受験にあたっての注意事項</p>	同上
2月3日(月) 10:40 ~ 12:10	自学自習	今までの知識を整理すること	
2月3日(月) 13:00 ~ 14:30	自学自習	今までの知識を整理すること	
2月5日(水) 10:40 ~ 12:10	自学自習	今までの知識を整理すること	
2月6日(木) 13:00 ~ 14:30	自学自習	今までの知識を整理すること	
2月10日(月) 10:40 ~ 12:10	体験試験	<p>【準備学習項目】</p> <p>【試験(形成評価)】302 教室集合 体験試験 LS: 411 教室</p>	松島潔 宇都宮忠彦 大口純人 伊藤誠康 岡本康裕 布施恵 原正浩 田口千恵子 笹井啓史 城座映明 榎本豊 林佐智代 吉野祥一 岡本京 北川剛至
2月10日(月) 13:00 ~ 14:30	体験試験	<p>【準備学習項目】</p> <p>【試験(形成評価)】302 教室集合 体験試験 LS: 411 教室</p>	同上

# 小児歯科学

4 年次 通年	授業科目責任者：前田 隆秀 (小児歯科学)
学習の目標 (GIO)	小児歯科学は他の学科目と異にし包括歯科医療を行い、その対象は成長発育の過程にある乳児から 20 歳前までと広いことから多岐に亘る知識と他科との相互理解を必要とする。 心身の成長と顎顔面、歯、口腔軟組織の発育ならびに咀嚼、咬合の発達を形態、構造、機能の面から正常と異常また疾患を対比し、治療を中心とした臨床実習へ進むために基本的な知識を理解し説明できる。
授業担当者	(講義) 前田隆秀、清水邦彦、清水武彦、荒井清司、岡本 京、宮沢裕夫* (実習) 前田隆秀、清水邦彦、清水武彦、荒井清司、岡本 京、加藤桃江、伊藤奈々、折野大輔、小尾友美、平井則光、青木 望、砂田怜子、平手華奈、澤本圭南子、嶋田理菜、木口友里、矢部真貴子、伊藤龍朗、山本晴子、塚本亮一 赤羽康彦、有馬嗣雄、生田剛史、生田 哲、井上雄温、植松晃樹、臼井 朗、岡本和久、太田宅哉、小川恭央、倉田康弘、倉持治彦、栗田朋治、小林亮介、小宮城治、齋藤充良、清水久美子、高澤竜一郎、武井謙司、田中真理、谷 博司、寺田英史、中田郁平、中村佐和子、中村 均、中山 務、西川康博、原 昌伸、蛭川紗織、松原 清、松村東栄、三好克実、山崎 優、横屋知恵子、横山伸夫、吉田明弘
教科書	(講義) 小児の口腔科学 (前田隆秀 他、学建書院) (実習) 小児歯科学基礎・臨床実習 (大東道治 他、医歯薬出版)
参考図書	(講義) 第 2 版 小児歯科学 (医歯薬出版) (実習) 小児歯科基礎臨床実習マニュアル: 赤坂守人、大東道治、前田隆秀、宮澤裕夫・医歯薬出版
実習器材	小児顎模型、石膏歯牙模型、ワックス棒、スチールバー、カーバイドバー、金冠バサミ、乳歯冠、印象材、コバルトクロム線、ラバーダムシート他
評価方法 (EV)	前期講義：前期期間内に行う 2 回の平常試験 (各 40%) と講義中の態度 (20%) によって評価する。平常試験の結果に応じて、補講を行う事がある。 後期実習：実習評価 (40%)、小テスト (30%)、平常試験 (10%) と実習態度 (20%) によって評価する。態度評価は欠席状態を含む。前期平常試験の再試および後期平常試験の追、再試験は原則行わない。  前期講義回数 の 1/5 以上または後期実習回数 の 1/5 以上を欠席した場合、成績評価は 0 ~ 60 点とする。  最終評価は、講義 60%、実習 40% の割合とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	小児歯科というと乳幼児歯科学と誤解しないで欲しい、誕生から 20 歳前までの成長発育期にある人間を対象とした包括歯科医学であり、予測というロマンに満ちた学問。“小児歯科学は予測の学問である”

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略 (SBOs) (LS)・準備学習 (予習) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4 月 5 日 (金) 9:00 ~ 10:30	小児歯科学の定義 小児歯科学の目的 小児歯科学の歴史 小児歯科学の特異性 現在の小児歯科と将来の小児歯科  小児の発育 身体発育の特徴 精神的発達の特徴	【準備学習項目】 ・小児の発育を理解する。 【講義】302 教室 【学習内容】 ・小児歯科学とはどのような学問であり、臨床であるかを説明できる。 ・小児歯科学の発生・変遷とその社会的背景を述べ、いかに現代の小児歯科学が発展したかを日本、欧州、アメリカと比較しその重要性を理解し説明できる。 ・小児歯科学の包括歯科医療について理解させ、他科ならびに周辺医学領域の必要性を説明できる。 ・現在の小児歯科と同時に将来的な小児歯科学の発展の夢を語る。  ・発育の原則を述べ正常と異常を対比し理解し説明できる。 ・乳児から成人前期に至る身体発育の特徴を理解し説明できる。 ・精神ならびに情緒の発達を述べ小児歯科臨床との関わりを理解し説明できる。  < E-4-2)-1 > < 必 -7-A-a,b,c >	前田隆秀

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月12日(金) 9:00 ~ 10:30	小児歯科生理的特徴 小児の発育段階別特徴 小児の栄養  頭蓋顎顔面の発育とその評価法 口腔機能の発達 歯列・咬合の発育	【準備学習項目】 ・頭蓋顎顔面の発育を理解する。 【講義】302教室 【学習内容】 ・小児の体温の変移、血圧、脈波、血液成分等の生理の特徴が説明できる。 ・乳幼児から学童、思春期に至る発育の変移が説明できる。 ・小児栄養の基本を述べ栄養指導に結び付けることができる。  ・頭蓋の発育パターンを理解し説明できる。 ・顔面頭蓋の発育パターンを理解し説明できる。 ・無歯期から永久歯列に至る歯列咬合の発育変化を理解し説明できる。  < E-1-6)-(2)-4 > < E-3-1)-1 > < 必-7-c-d,f > < 総-(IV)-I-J > < 総-(IV)-3-k > < 総-(V)-4-A,B,C > < 各-I-6-D >	同上
4月19日(金) 9:00 ~ 10:30	歯の発育と異常 歯の形成 歯の形成異常 萌出の異常 歯の形態・構造の異常 歯の色調の異常	【準備学習項目】 ・歯の発育と異常を理解する。 【講義】302教室 【学習内容】 ・歯胚の発生から萌出までの発育過程と発育段階とその評価法を理解し説明できる。 ・歯の発育時期と形成障害とその理由を理解し説明できる。 ・歯数、形態、構造、色調の異常を供覧させ理解し説明できる。  < E-3-1)-1,2 > < E-3-2)-2 > < 必-6-c-a,b,c > < 総-(IV)-4-A,B > < 総-(V)-3-F >	同上
4月26日(金) 9:00 ~ 10:30	乳歯、幼若永久歯の特徴 1) 乳歯の形態と組織 2) 幼若永久歯の形態と組織  小児の齲蝕の疫学	【準備学習項目】 ・乳歯および幼若永久歯の特徴を理解する。 【講義】302教室 【学習内容】 ・乳歯の形態、組織、物理的特徴を述べ、易齲蝕性であることを理解し説明できる。 ・幼若永久歯の形態、組織、物理的特徴を述べ、易齲蝕性であることを理解し説明できる。  ・年齢別からみた歯ブラシ法とデンタルフロス法を理解し説明できる。 ・齲蝕との関連が強いショ糖に焦点をあてた砂糖摂取量を説明できる。 ・摂取状況を中心とした栄養指導を理解し説明できる。  < E-3-1)-3 > < E-3-3)-(1)-1,2,9,13 > < 必-6-c-a > < 必-14-B-a > < 総-(IV)-4-A-D >	同上
5月10日(金) 9:00 ~ 10:30	小児の臨床的対応 小児歯科診療におけるインフォームドコンセント 口腔領域における心身症  児童虐待	【準備学習項目】 ・歯科的対応を説明できる。 【講義】302教室 【学習内容】 小児への歯科的対応が説明できる。 1) 診療時に必要な小児の心理 2) 歯科的対応の実際 ・歯科診療を行うにあたって知っておくべき小児の心理を理解し説明できる。 ・年齢別にみた歯科的対応を理解し説明できる。 ・診療内容からみた歯科的対応を述べ、成人の対応と異なることを理解し説明できる。  ・虐待の種類、虐待が生じる要因と口腔状態が説明できる。  < A-7-1)-1,2,3 > < E-4-2)-10 > < 必-10-I-a,b > < 必-15-F-a,b,c > < 総-(VIII)-2-A-E > < 総-(X)-2-I >	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月17日(金) 9:00 ~ 10:30	小児の齲蝕と予防 小児の齲蝕治療	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児の齲蝕予防および歯冠修復を理解する。</li> </ul> <p>【講義】302教室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児齲蝕の年次推移を説明できる。</li> <li>・乳歯齲蝕の特徴を説明できる。</li> <li>・幼若永久歯齲蝕の特徴を説明できる。</li> <li>・乳歯齲蝕が小児の心身に与える影響を説明できる。</li> <li>・フッ化物の応用法とその効果を理解し説明できる。</li> <li>・シーラントの効果、術式、注意点をあげ、理解し説明できる。</li> <li>・歯冠修復の種類とその適応症が説明できる。</li> </ul> <p>&lt; E-1-6)-(2)-2,3 &gt; &lt; E-4-2)-2,3,4,5 &gt; &lt; E-3-3)-(2)-1,2 &gt;  &lt; B-3-2)-1,2,3 &gt;  &lt; 必-3-H,J &gt; &lt; 各-III-(1)-1-A~D &gt; &lt; 総-(XI)-7-E &gt;  &lt; 各-I-1-D,E,F &gt;</p>	宮沢 裕夫
5月24日(金) 9:00 ~ 10:30	小児の歯冠修復 小児の歯内療法	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児の歯内療法を理解する。</li> </ul> <p>【講義】302教室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳歯の歯髄炎の分類が説明できる。</li> <li>・乳歯の断髄法の種類と術式が説明できる。</li> <li>・乳歯の根管治療が説明できる。</li> </ul> <p>&lt; E-4-2)-4,5,6 &gt;  &lt; 各-III-(1)-4-A &gt; &lt; 各-III-(II)-1-A~D &gt;</p>	同上
5月31日(金) 9:00 ~ 10:30	平常試験(1)  小児の歯周疾患と軟組織疾患 特異な歯周疾患	<p>5月24日までの授業内容について平常試験を行う。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児の歯周疾患を理解する。</li> </ul> <p>【講義】302教室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児の歯周組織の健康状態が認識できて説明できる。</li> <li>・不潔性歯肉炎が説明できる。</li> <li>・思春期前歯周炎が説明できる。</li> <li>・若年性歯周炎が説明できる。</li> <li>・小児期の粘膜疾患とその治療法が説明できる。</li> </ul> <p>&lt; E-3-1)-5 &gt; &lt; E-3-2)-4 &gt;  &lt; 必-6-c-d &gt; &lt; 各-III-(III)-1-A,B &gt;</p>	前田隆秀
6月7日(金) 9:00 ~ 10:30	小児の顎口腔疾患 小児期の外科処置 1) 小帯の切除 2) 嚢胞の摘出	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児期の外科処置について理解する。・小児の顎口腔疾患の種類が説明できる。</li> </ul> <p>【講義】302教室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上唇、下唇小帯の切除術の適応と術式を理解し説明できる。</li> <li>・嚢胞の摘出とその術式を理解し説明できる。</li> </ul> <p>&lt; E-2-4)-(4)-1,2 &gt;  &lt; 各-IV-(1)-1-G &gt; &lt; 各-IV-(1)-4-A,C &gt;</p>	同上
6月14日(金) 9:00 ~ 10:30	小児の局所麻酔 小児の抜歯 薬物療法 1) 小児の薬物代謝 2) 小児薬用量の算出法	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児期の局所麻酔および抜歯について理解する。</li> </ul> <p>【講義】302教室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児期における無痛の局所麻酔の操作法が説明できる。</li> <li>・乳歯の抜歯時の注意点が説明できる。</li> <li>・薬物の吸収から排泄にいたる動態を簡便に述べ理解し説明できる。</li> <li>・小児薬用量の算出法を理解し説明できる。</li> <li>・胎児への副作用と小児自身の副作用を理解し説明できる。</li> </ul> <p>&lt; E-1-3)-(1),(3) &gt; &lt; E-1-4)-1,3 &gt;  &lt; 必-15-J-a &gt; &lt; 総-(X)-6-A &gt; &lt; 総-(X)-9-G &gt;</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月21日(金) 9:00 ~ 10:30	小児の歯の外傷 乳歯ならびに永久歯の外傷	【準備学習項目】 ・小児の歯の外傷を理解する。 【講義】302教室 【学習内容】 ・乳歯、永久歯の外傷の特徴が説明できる。 ・乳歯外傷が永久歯に及ぼす影響が説明できる。 ・乳歯・永久歯の歯冠、歯根破折の処置が説明できる。 ・乳歯・永久歯の脱臼に対する処置が説明できる。  < E-2-4)-(2)-2,3 > < E-4-2)-7 > < 各 -II-4-A~D >	同上
6月28日(金) 9:00 ~ 10:30	咬合誘導 歯列・咬合の診察と分析 咬合誘導法  小児の顎関節症 小児歯科診療システム 医療面接 医療連携 口腔管理計画(診療計画) 1) 小児の口腔健康管理 2) 診査と診断 3) 集団を対象とする歯科保健	【準備学習項目】 ・小児期の咬合誘導と顎関節症を理解する。 【講義】302教室 【学習内容】 ・永久歯列期の歯列長分析が理解できる。 ・咬合誘導の理念が理解して説明できる。 ・外科的咬合誘導の症例をととしてその適応と術式を説明できる。  ・小児の顎関節症の分類と病態像ならびに治療法が説明できる。 ・小児歯科診療システムを診査項目ならびに齲蝕活動性、咀嚼機能等から口腔管理計画の立案の考え方を理解し説明できる。 ・1歳6ヶ月、3歳児歯科健康診査ならびに学校歯科保健を理解し説明できる。  < E-4-2)-8,9 > < 各 -I-3-A~D, > < 各 -I-5-E > < 各 -II-5-A~E >	同上
7月5日(金) 9:00 ~ 10:30	心身障害児の歯科医療	準備学習項目：心身障害児の歯科医療について理解する。 ・心身障害児の種類とその病態を説明できる。 ・心身障害児の歯科治療の特徴が説明できる。 LS: 講義・スライド・プリント E-4-4)-1,2 総-(VIII)-3-A~D	同上
7月12日(金) 9:00 ~ 10:30	小児歯科と遺伝疾患  遺伝性疾患の成り立ち 小児の口腔奇形と先天奇形症候群 1) 顔貌の異常と先天奇形 2) 口蓋裂と先天奇形 3) 口腔軟組織の異常と先天奇形 4) 歯の異常と先天奇形	【準備学習項目】 ・遺伝性疾患について理解する。 【講義】302教室 【学習内容】 ・遺伝性疾患の成因を説明できる。 ・頭蓋顎顔面の形成異常を伴う先天奇形を供覧しその概念について考察し説明できる。 ・口腔軟組織の異常を伴う先天奇形を供覧しその概念について考察し説明できる。 ・歯の異常を伴う先天奇形を供覧しその概念について考察しせつめいできる。  < E-2-4)-(1)-1 > < 各 -II-(I)-1-A~AB > < 各 -IV-(1)-1-A > < 各 -IV-(IV)-1-A~V >	同上
7月19日(金) 9:00 ~ 10:30	小児歯科治療時に留意すべき小児疾患	【準備学習項目】 ・小児歯科治療時に留意すべき疾患について理解する。 【講義】302教室 【学習内容】 全身疾患を有する患児の歯科治療 1) 先天性心疾患を有する小児の歯科治療 2) 免疫不全症を有する小児の歯科治療 ・感染性心内膜炎を併発しやすい先天性心疾患患児の歯科治療の重要性を理解し説明できる。 ・顆粒球減少症に代表される疾患を有する患児の歯科治療を理解し説明できる。 3) 出血傾向を有する患児の歯科治療 4) 易ショックを起こす患児の歯科治療 ・血友病、血小板減少性紫斑病などの出血傾向を有する患児の解説と観血処置時の注意を説明できる。 ・内分泌疾患を有し易ショック性が疑われる患児の解説と歯科治療を説明できる。  < E-2-4)-(9)-2,3,5,6,8,9 > < 総-(VIII)-6-A,B,C > < 各 -II-(I)-3-A~AN > < 各 -IV-(I)-6-A~AM >	同上
9月13日(金) 9:00 ~ 10:30	平常試験(2)	5月31日以降、7月19日までの授業内容について平常試験を行う。	同上



日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月11日(金) 9:00 ~ 10:30	講義：乳歯の解剖学的特徴(1)	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳歯の形態について説明できる。</li> </ul> <p>【講義】(清水邦彦)302教室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳歯の解剖学的形態の特徴を把握し、代生歯(後継永久歯)との形態的差異を理解し説明できる。</li> </ul> <p>&lt; E-3-1)-2,3 &gt; &lt; 必 -6-C-a,b,c &gt;</p>	<p>前田隆秀 清水邦彦 清水武彦 荒井清司 岡本京 伊藤奈々 臼井朗 小尾友美 折野大輔 平井則光 赤羽康彦 有馬嗣雄 生田剛史 生田哲 井上雄温 植松晃樹 太田宅哉 岡本和久 小川恭央 倉田康弘 倉持治彦 栗田朋治 小林亮介 小宮城治 齋藤充良 清水久美子 高澤竜一郎 武井謙司 田中真理 谷博司 寺田英史 中田郁平 中村均 中山務 西川康博 原昌伸 松原清 松村東栄 三好克実 山崎優 横屋知恵子 横山伸夫 吉田明弘 中村佐和子 蛭川沙織 塚本亮一 山本晴子 伊藤龍朗 矢部真貴子 木口友里</p>
10月11日(金) 10:40 ~ 12:10	実習：ガイダンス、下顎右側第一乳歯の解剖学的特徴	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳歯の形態について説明できる。</li> </ul> <p>【実習】第4実習室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の意義と心構え</li> <li>・器具、器材の配布</li> <li>・実習で用いる作業模型の作製</li> <li>・下顎右側第一乳歯の解剖学的形態を理解し、ワックス彫刻ができる。</li> </ul> <p>&lt; E-3-1)-2,3 &gt; &lt; 必 -6-C-a,b,c &gt;</p>	同上
10月11日(金) 13:00 ~ 14:30	実習：下顎右側第一乳歯の解剖学的特徴	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳歯の形態について説明できる。</li> </ul> <p>【実習】第4実習室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下顎右側第一乳歯の解剖学的形態を理解し、ワックス彫刻ができる。</li> </ul> <p>&lt; E-3-1)-2,3 &gt; &lt; 必 -6-C-a,b,c &gt;</p>	同上
10月18日(金) 9:00 ~ 10:30	実習：下顎右側第一乳歯の解剖学的特徴	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳歯の形態について説明できる。</li> </ul> <p>【実習】第4実習室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下顎右側第一乳歯の解剖学的形態を理解し、ワックス彫刻ができる。</li> </ul> <p>&lt; E-3-1)-2,3 &gt; &lt; 必 -6-C-a,b,c &gt;</p>	同上
10月18日(金) 10:40 ~ 12:10	実習：上顎右側第一乳歯の解剖学的特徴	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳歯の形態について説明できる。</li> </ul> <p>【実習】第4実習室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上顎右側第一乳歯の解剖学的形態を理解し、ワックス彫刻ができる。</li> </ul> <p>&lt; E-3-1)-2,3 &gt; &lt; 必 -6-C-a,b,c &gt;</p>	同上
10月25日(金) 9:00 ~ 10:30	講義：乳歯の解剖学的特徴(2)	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳歯の形態について説明できる。</li> </ul> <p>【講義】(清水邦彦)302教室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳歯の解剖学的形態の特徴を把握し、代生歯(後継永久歯)との形態的差異を理解し説明できる。</li> </ul> <p>&lt; E-3-1)-2,3 &gt; &lt; 必 -6-C-a,b,c &gt;</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月25日(金) 10:40 ~ 12:10	実習：上顎右側第一乳臼歯の解剖学的特徴、下顎右側第二乳臼歯の解剖学的特徴	【準備学習項目】 ・乳歯の形態について説明できる。 【実習】第4実習室 【学習内容】 ・上顎右側第一乳臼歯および下顎右側第二乳臼歯の解剖学的形態を理解し、ワックス彫刻ができる。  < E-3-1)-2,3 > < 必 -6-C-a,b,c >	同上
10月25日(金) 13:00 ~ 14:30	実習：右側第二乳臼歯の解剖学的特徴	【準備学習項目】 ・乳歯の形態について説明できる。 【実習】第4実習室 【学習内容】 ・下顎右側第二乳臼歯の解剖学的形態を理解し、ワックス彫刻ができる。  < E-3-1)-2,3 > < 必 -6-C-a,b,c >	同上
11月1日(金) 9:00 ~ 10:30	講義：乳臼歯の歯冠修復(1)	【準備学習項目】 ・乳歯の歯冠修復について説明できる。 【講義】(荒井)302教室 【学習内容】 ・アマルガム、インレー、コンポジットレジン修復の適応症とその術式を理解し説明できる。  < E-4-2)-2,3,4 > < 必 -15-O-a > < 各 -III-(I)-A,B,C >	同上
11月1日(金) 10:40 ~ 12:10	実習：上顎右側第二乳臼歯の解剖学的特徴	【準備学習項目】 ・乳歯の形態について説明できる。 【実習】第4実習室 【学習内容】 ・上顎右側第二乳臼歯の解剖学的形態を理解し、ワックス彫刻ができる。  < E-3-1)-2,3 > < 必 -6-C-a,b,c >	同上
11月1日(金) 13:00 ~ 14:30	実習：コンポジットレジン修復(下顎右側第一、第二乳臼歯)	【準備学習項目】 ・コンポジットレジン修復の術式について説明できる。 【実習】第4実習室 【学習内容】 ・2倍大石膏模型を用いてコンポジットレジン修復の術式を習得する。  < E-4-2)-2,3,4 > < 必 -15-O-a > < 各 -III-(I)-1-A,B,C >	同上
11月8日(金) 9:00 ~ 10:30	講義：小児への歯科的対応法	【準備学習項目】 ・小児の対応法について説明できる。 【講義】(清水武彦)302教室 【学習内容】 ・歯科診療に必要な小児の心理を理解し説明できる。 ・年齢別に見た歯科的対応を理解し説明できる。 ・非協力児の対応法を理解し説明できる。  < E-4-2)-10 > < 必 -7-B-a >	同上
11月8日(金) 10:40 ~ 12:10	実習：ラバーダム防湿法とコンポジットレジン修復(下顎右側第一、第二乳臼歯)	【準備学習項目】 ・ラバーダム防湿およびコンポジットレジン修復の術式について説明できる。 【実習】第4実習室 【学習内容】 ・ラバーダム防湿法の術式を習得する。 ・顎歯模型を用いてコンポジットレジン修復の術式を習得する。  < E-4-2)-2,3,4 > < 必 -15-O-a > < 各 -III-(I)-1-A,B,C >	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月8日(金) 13:00 ~ 14:30	実習: ラバーダム防湿法とコンポジットレジン修復(上顎右側第一、第二乳臼歯)	【準備学習項目】 ・ラバーダム防湿およびコンポジットレジン修復の術式について説明できる。 【実習】第4実習室 【学習内容】 ・顎歯模型を用いてコンポジットレジン修復の術式を習得する。  < E-4-2)-2,3,4 > < 必-15-O-a > < 各-III-(I)-1-A,B,C >	同上
11月15日(金) 9:00 ~ 10:30	講義: 乳歯・幼若永久歯の歯内療法 1) 間接覆髄法 2) 直接覆髄法 3) 歯髄切断法	【準備学習項目】 ・乳歯および幼若永久歯の歯内療法について説明できる。 【講義】(荒井)302教室 【学習内容】 ・間接・直接覆髄法の適応症とその術式を理解し説明できる。 ・歯髄切断法の種類、適応症、病理組織学的変化、術式を理解し説明できる。 ・覆髄法、特にに暫間的間接覆髄法の適応症と術式を理解し説明できる。 ・抜髄法ならびに根管充填法の根完成歯との相違点を理解し説明できる。 ・Apexogenesis と Apexification についての術式と治療過程を理解し説明できる。  < E-4-2)-5,6 > < 各-III-(II)-1-A,B,C,D >	同上
11月15日(金) 10:40 ~ 12:10	実習: 水酸化カルシウム法による歯髄切断法(下顎左側第二乳臼歯)	【準備学習項目】 ・断髄法の術式について説明できる。 【実習】第4実習室 【学習内容】 ・水酸化カルシウム法による歯髄切断法の術式ができる。  < E-4-2)-5,6 > < 各-III-(II)-1-A,B,C >	同上
11月15日(金) 13:00 ~ 14:30	実習: 乳歯用冠支台歯形成(下顎左側第二乳臼歯)	【準備学習項目】 ・乳歯用冠の支台歯形成の術式について説明できる。 【実習】第4実習室 【学習内容】 ・既製乳歯用冠の形成法の術式ができる。  < E-4-2)-5,6 > < 各-III-(II)-1-A,B,C >	同上
11月22日(金) 9:00 ~ 10:30	講義: 乳臼歯の歯冠修復(2)	【準備学習項目】 ・乳歯の歯冠修復について説明できる。 【講義】(荒井)302教室 【学習内容】 ・乳歯用冠およびクラウンフォームの適応と術式について理解し説明できる。  < E-4-2)-2,3,4 > < 各-II-(I)-5-C >	同上
11月22日(金) 10:40 ~ 12:10	実習: 乳歯用冠(下顎左側第二乳臼歯) 1) 乳歯用冠の試適 2) 取り込み印象 クラウンループの屈曲	【準備学習項目】 ・乳歯用冠の支台歯形成の術式について説明できる。 【実習】第4実習室 【学習内容】 ・乳歯用冠の試適及び装着ができる。  < E-4-2)-2,3,4 > < 各-II-(I)-5-C >	同上
11月22日(金) 13:00 ~ 14:30	実習: クラウンループの屈曲	【準備学習項目】 ・保険装置について説明できる。 【実習】第4実習室 【学習内容】 ・クラウンループの外形線の設定と屈曲ができる。  < E-4-2)-2,3,4 > < 各-II-(I)-5-C >	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月29日(金) 9:00 ~ 10:30	講義: 保隙	【準備学習項目】 ・保隙について説明できる。 【講義】(岡本)302教室 【学習内容】 ・保隙装置の種類、適応症および作成法を理解し説明できる。  < E-4-2)-9 > < 各 -II-(I)-5-C >	同上
11月29日(金) 10:40 ~ 12:10	実習: クラウンループの屈曲と作製 ループの屈曲	【準備学習項目】 ・クラウンループ保隙装置の製作法について説明できる。 【実習】第4実習室 【学習内容】 ・屈曲、蝟着、研磨をし、クラウンループを作製できる。  < E-4-2)-9 > < 各 -II-(I)-5-C >	同上
11月29日(金) 13:00 ~ 14:30	実習: クラウンループの屈曲と作製 蝟着および研磨	【準備学習項目】 ・クラウンループ保隙装置の製作法について説明できる。 【実習】第4実習室 【学習内容】 ・屈曲、蝟着、研磨をし、クラウンループを作製できる。  < E-4-2)-9 > < 各 -II-(I)-5-C >	同上
12月6日(金) 9:00 ~ 10:30	講義: 動的咬合誘導(1) 歯列周長分析	【準備学習項目】 ・歯列周長分析について説明できる。 【講義】(岡本)302教室 【学習内容】 ・歯列周長分析(小野の分析法と Moyers の分析法)を理解し説明できる。 ・乳歯列期および混合歯列期の動的咬合誘導の種類および適応症を理解し説明できる。  < E-4-2)-8 > < 各 -II-(I)-5-A,B >	同上
12月6日(金) 10:40 ~ 12:10	実習: 歯列周長の分析	【準備学習項目】 ・歯列周長分析について説明できる。 【実習】第4実習室 【学習内容】 ・小野の分析法によって実習症例の歯列周長分析ができる。  < E-4-2)-8 > < 各 -II-(I)-5-A,B >	同上
12月6日(金) 13:00 ~ 14:30	実習: アダムスのクラスプの屈曲(1) (上顎右側第一大臼歯)	【準備学習項目】 ・アダムスのクラスプの構造について説明できる。 【実習】第4実習室 【学習内容】 ・上顎右側第一大臼歯にアダムスのクラスプを屈曲できる。  < E-4-2)-8 > < 各 -II-(I)-5-A,B >	同上
12月13日(金) 9:00 ~ 10:30	講義: 動的咬合誘導(2)	【準備学習項目】 ・咬合誘導について説明できる。 【講義】(岡本)302教室 【学習内容】 ・乳歯列期および混合歯列期の動的咬合誘導の種類および適応症を理解し説明できる。  < E-4-2)-8 > < 各 -II-(I)-5-A,B >	同上
12月13日(金) 10:40 ~ 12:10	実習: アダムスのクラスプの屈曲(2) (上顎左右第一乳臼歯)	【準備学習項目】 ・アダムスのクラスプの特徴について説明できる。 【実習】第4実習室 【学習内容】 ・上顎左右第一乳臼歯、上顎右側第一大臼歯にアダムスのクラスプを屈曲できる。  < E-4-2)-8 > < 各 -II-(I)-5-A,B >	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月13日(金) 13:00 ~ 14:30	実習: アダムスのクラスプの屈曲(3) (上顎左右第一乳臼歯)	【準備学習項目】 ・アダムスのクラスプの特徴について説明できる。 【実習】第4実習室 【学習内容】 ・上顎左右第一乳臼歯、上顎右側第一大臼歯にアダムスのクラスプを屈曲できる。  < E-4-2)-8 > < 各 -II-(I)-5-A,B >	同上
12月20日(金) 9:00 ~ 10:30	講義: 歯と歯列の発育	【準備学習項目】 ・歯の発育について説明できる。 【講義】(岡本)302教室 【学習内容】 ・乳歯および永久歯の発生と歯列の成長を理解し説明できる。  < E-3-1)-1 > < E-4-2)-8 > < 必 -(V)-3-F > < 必 -(V)-4-C >	同上
12月20日(金) 10:40 ~ 12:10	実習: アダムスのクラスプの屈曲(4) (上顎左右第一乳臼歯)	【準備学習項目】 ・アダムスのクラスプの作製法について説明できる。 【実習】第4実習室 【学習内容】 ・上顎左右第一乳臼歯、上顎右側第一大臼歯にアダムスのクラスプを屈曲できる。  < E-4-2)-8 > < 各 -II-(I)-5-A,B >	同上
12月20日(金) 13:00 ~ 14:30	実習: シャーミーのコイルスプリングの屈曲	【準備学習項目】 ・スペースリゲーターについて説明できる。 【実習】第4実習室 【学習内容】 ・上顎左側第一大臼歯にシャーミーのコイルスプリングを屈曲できる。  < E-4-2)-8 > < 各 -II-(I)-5-A,B >	同上
1月10日(金) 9:00 ~ 10:30	講義: 小児の歯周疾患	【準備学習項目】 ・小児の歯周疾患を理解する。 【講義】(清水武彦)302教室 【学習内容】 ・小児の歯周組織の正常および異常が説明できる。  < E-3-1)-5 > < E-3-2)-4 > < 必 -6-c-d > < 各 -III-(III)-1-A,B >	同上
1月10日(金) 10:40 ~ 12:10	実習: シャーミーのコイルスプリングの屈曲とレジン埋入	【準備学習項目】 ・コイルスプリングの構造について説明できる。 【実習】第4実習室 【学習内容】 ・上顎左側第一大臼歯にシャーミーのコイルスプリングを屈曲できる。 ・アダムスのクラスプとシャーミーのコイルスプリングを床の中へレジンで埋入できる。  < E-4-2)-8 > < 各 -II-(I)-5-A,B >	同上
1月10日(金) 13:00 ~ 14:30	実習: レジン埋入	【準備学習項目】 ・レジン床の作製法について説明できる。 【実習】第4実習室 【学習内容】 ・アダムスのクラスプとシャーミーのコイルスプリングを床の中へレジンで埋入できる。  < E-4-2)-8 > < 各 -II-(I)-5-A,B >	同上
1月17日(金) 9:00 ~ 10:30	講義: 小児期の抜歯 1) 麻酔法 2) 乳歯の抜歯	【準備学習項目】 ・乳歯の抜歯について説明できる。 【講義】(清水武彦)302教室 【学習内容】 ・種々な麻酔法(伝達麻酔、浸潤麻酔、表面麻酔)の適応症と術式を理解し説明できる。 ・乳歯の抜歯の適応と術式を理解し説明できる。  < E-1-3)-(3)-1,5,6 > < E-1-4)-1,3 > < 必 -15-M-a >	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月17日(金) 10:40 ~ 12:10	実習: シャーミーの装置の研磨	【準備学習項目】 ・レジン床の研磨法について説明できる。 【実習】第4実習室 【学習内容】 ・レジン床の研磨ができる。  < E-4-2)-8 > < 各 -II-(I)-5-A,B >	同上
1月17日(金) 13:00 ~ 14:30	実習: シャーミーの装置の口腔模型への装着と第一大臼歯の遠心移動	【準備学習項目】 ・シャーミーの装置の調製法について説明できる。 【実習】第4実習室 【学習内容】 ・シャーミーの装置を顎模型に装着し、上顎第一大臼歯が遠心移動するか否かを体験し、作成物の良い点、悪い点を考慮し理解する。  < E-4-2)-8 > < 各 -II-(I)-5-A,B >	同上
1月24日(金) 9:00 ~ 10:30	講義: 永久歯の外傷	【準備学習項目】 ・小児期の外傷について説明できる。 【講義】(清水武彦)302教室 【学習内容】 ・永久歯外傷の好発年齢と部位を理解し説明できる。 ・種々な外傷の程度とその処置法を乳歯の外傷と比較しながら理解し説明できる。  < E-4-2)-7 > < 各 -II-(II)-2-E >	同上
1月24日(金) 10:40 ~ 12:10	実習: 外傷歯のワイヤー固定	【準備学習項目】 ・小児期の外傷の治療法について説明できる。 【実習】第4実習室 【学習内容】 ・永久歯の外傷におけるワイヤー固定処置ができる。  < E-4-2)-7 > < 各 -II-(II)-2-E >	同上
1月24日(金) 13:00 ~ 14:30	実習中間試験	【準備学習項目】 ・小児歯科実習で行った内容について理解する。 【使用教室】第4実習室	同上
1月30日(木) 9:00 ~ 10:30	講義: 小児の齲蝕予防(1)	【準備学習項目】 ・齲蝕予防について説明できる。 【講義】(清水邦彦)302教室 【学習内容】 ・小児の齲蝕予防法を理解し説明できる。  < B-3-2)-1,2 > < E-1-6)-(1)-1,2 > < E-4-2)-8 > < 各 -I-1-F > < 総 -(XI)-7-E >	同上
1月30日(木) 10:40 ~ 12:10	実習: 小窩裂溝填塞法 フッ化物歯面塗布法 保護者への保険装置の説明	【準備学習項目】 ・小児期の齲蝕予防について説明できる。 【実習】第4実習室 【学習内容】 ・小窩裂溝填塞ができる。 ・フッ化物歯面塗布(綿球法)ができる。  < B-3-2)-1,2 > < E-1-6)-(1)-1,2 > < 各 -I-1-D,F > < 総 -(XI)-7-E >	同上
1月30日(木) 13:00 ~ 14:30	実習: 保護者への保険装置の説明	【準備学習項目】 ・小児期の齲蝕予防について説明できる。 【演習】第4実習室 【学習内容】 ・保護者への保険装置の説明ができる。  < E-4-2)-8 > < 各 -II-5-A,C >	同上
1月31日(金) 9:00 ~ 10:30	講義: 小児の口腔粘膜疾患	【準備学習項目】 ・小児の口腔粘膜疾患について説明できる。 【講義】(清水邦彦)302教室 【学習内容】 ・小児期の粘膜疾患とその治療法が説明できる。  < E-4-2)-7 > < 総 -(VI)-11-c > < 各 -IV-(I)-6-A~AM >	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
2月7日(金) 9:00 ~ 10:30	講義：小児の齲蝕予防(2)	<b>【準備学習項目】</b> ・ 齲蝕予防について説明できる <b>【講義】</b> (清水邦彦)302教室 <b>【学習内容】</b> ・ 小児の齲蝕予防法を理解し説明できる。  < B-3-2)-1,3,5 > < E-1-6)-(2)-1,3,4,5 > < E-4-2)-2 >	同上
2月7日(金) 10:40 ~ 12:10	実習：保護者へのブラッシング指導	<b>【準備学習項目】</b> ・ 小児期の齲蝕予防、特に口腔衛生指導について説明できる。 <b>【実習】</b> 第4実習室 <b>【学習内容】</b> ・ 保護者へのブラッシング指導ができる。  < B-3-2)-1,3,5 > < E-1-6)-(2)-1,3,4,5 > < E-4-2)-2 >	同上
2月7日(金) 13:00 ~ 14:30	講義：小児歯科について	<b>【準備学習項目】</b> ・ 学年を通じ学んだ内容の再確認 <b>【講義】</b> (前田隆秀)302教室 <b>【学習内容】</b> ・ 成長発育期にある人間を対象とした包括歯科医学としての小児歯科を理解する。  < E-4-2) > < 各 II >	前田隆秀

## 総合医学（外科系）

4 年次 通年	授業科目責任者：坂巻 達夫（内科学）
学習の目標（GIO）	歯科診療を行う上で必要となる隣接医学の知識を外科学を中心に習得する。
授業担当者	渡邊学郎、荻野暁義、野本たかと、前田 剛、落合豊子、久保宏隆、桜井健一、宋 圭男、谷 真弓、畠中康晴
教科書	外科学：教科書は使用しないが、レジメのプリントを配布する。 皮膚科学：教科書を使用するが、レジメのプリントも配布する。 歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学，向井美恵，山田好秋編・医歯薬出版
参考図書	歯科医のための外科学（第二版）：野口政宏・亀井秀雄、医歯薬出版 歯科医のための皮膚科学（第二版）：山崎雙次、山本浩嗣、山根源之、医歯薬出版 輸液を学ぶ人のために：和田 孝雄・近藤 和子、医学書院 よくわかる摂食・嚥下のしくみ，山田好秋著・医歯薬出版
実習器材	なし
評価方法（EV）	学期末に平常試験で評価する。その他、予告なしに試験を行う場合がある。
学生へのメッセージ オフィスアワー	質問などは渡邊まで、まず、メールをください：watanabe.takao@nihon-u.ac.jp

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略（SBOs）（LS）・準備学習（予習）内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月2日（水） 9:00～10:30	外科・皮膚科系1 外科学概論 近代外科学の発展 基本的外科手技	広義の外科の一分野としての歯科を理解する。 近代外科学の進歩を理解する。 外科学が発展してきた要因を説明できる。 外科手術に用いる器械・器具を理解し、切開縫合・止血法の基本を説明できる。 必-14-E-a、必-14-K-b、c 総-(V)-7-A、B、C、D	谷真弓
10月9日（水） 9:00～10:30	外科・皮膚科系2 消毒法・滅菌法・清潔操作・損傷・炎症	無菌法・滅菌法を理解し、手術における感染防止の重要性を説明できる。損傷・炎症の分類、病態・治療法について基本的概念を理解する。創傷治癒のメカニズムが説明できる。 必-14-H-a、b、必-14-K-a、総-(V)-7-A-a、b、c、d D-4-1)、2)、4)	渡邊学郎 荻野暁義
10月16日（水） 9:00～10:30	外科・皮膚科系3 免疫	外科免疫に関する臓器・細胞について説明できる。 総-(I)-13-A、B、C D-3-2)	畠中康晴
10月23日（水） 9:00～10:30	外科・皮膚科系4 術前、術後管理・体液・電解質	術前・術後管理の要点を説明できる。術後合併症を理解し対応法を説明できる。外科的侵襲を説明できる。体液・電解質の分布変動を説明できる。酸塩基平衡とホメオスタシスを説明できる。 総-(I)-1-G-a	久保宏隆
10月30日（水） 9:00～10:30	外科・皮膚科系5 ショック 救急蘇生法	ショックの定義と症状、分類を説明できる。歯科治療中に遭遇するショックに対し救急蘇生法ができる。 必-8-A-a、必-12-A-a、b、c、必-12-B-a、b 総-(V)-12-A、B、総-(V)-13-A、B、 各-(V)-3-A F-1-5)	前田剛
11月6日（水） 9:00～10:30	外科・皮膚科系6 腫瘍、抗腫瘍剤	腫瘍について基本的概念を理解する。良性・悪性の鑑別診断ができるようになる。抗腫瘍剤の作用機序・使用法・副作用を説明できる。 必-13-A-g 総-(IV)-1-K-a、b、c、d D-4-5)	渡邊学郎 荻野暁義
11月13日（水） 9:00～10:30	外科・皮膚科系7 気管・食道科総論	気管・食道の解剖・機能を理解できる。 誤嚥を理解し、説明が出来る。気管食道の異物について説明が出来る。	宋圭男
11月20日（水） 9:00～10:30	外科・皮膚科系8 甲状腺・リンパ腺・乳腺	歯科科学領域で遭遇頻度の高い頭頸部疾患を理解する。 代表的な甲状腺疾患を説明できる。 代表的な乳腺疾患を説明できる。	桜井健一
11月27日（水） 9:00～10:30	外科・皮膚科系9 急性腹症	急性腹症とは何かを説明できる。急性腹症の代表的な疾患を説明できる。	畠中康晴
12月4日（水） 9:00～10:30	外科・皮膚科系10 食道疾患	食道の臨床解剖と疾患を理解する。 食道疾患について診断・治療法を説明できる。	宋圭男



日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月11日(水) 9:00～10:30	外科・皮膚科系 11 消化管・肝・胆・膵	消化性潰瘍の概念を理解する。消化性潰瘍の診断と治療法を説明できる。胃癌の疫学と概念を理解し診断・治療法を説明できる。大腸癌の疫学と概念を理解し診断・治療法を説明できる。大腸の炎症性疾患を説明できる。代表的な肛門疾患の診断治療について説明できる。代表的な肝臓・胆嚢・膵臓疾患を理解し、診断・治療法を説明できる。	宋圭男
12月18日(水) 9:00～10:30	外科・皮膚科系 12 皮膚疾患 総論と各論	皮膚の解剖を説明できる。 湿疹、蕁麻疹などの皮膚疾患の診断と治療を説明できる。	落合豊子
1月8日(水) 9:00～10:30	外科・皮膚科系 13 摂食・嚥下機能と摂食・嚥下機能障害	【準備学習項目】 頭頸部の解剖について説明できる。 【講義】 1. 嚥下の機序について説明できる。E-2-1)- 2. 嚥下動作にかかわる解剖・生理を説明できる。E-2-2)- 3. 摂食・嚥下機能障害を合併する疾患を説明できる。 4. 摂食・嚥下機能障害を説明できる。E-2-4)-(10)-	野本たかと 林佐智代
1月15日(水) 9:00～10:30	外科・皮膚科系 14 摂食・嚥下機能障害のリハビリテーション 1	【準備学習項目】 リハビリテーションについて説明できる。 【講義】 1. リハビリテーションの概念について説明できる。 2. 摂食・嚥下機能障害の診査法および検査法を説明できる。E-4-3)- 3. 摂食・嚥下機能障害の診断を説明できる。E-4-3)-	同上
1月22日(水) 9:00～10:30	外科・皮膚科系 15 摂食・嚥下機能障害のリハビリテーション 2	【準備学習項目】 嚥下障害について説明できる。 【講義】 1. 摂食・嚥下リハビリテーションについて説明できる。E-4-3)- 2. 関節訓練法と直接訓練法について説明できる。 3. 摂食・嚥下障害と誤嚥性肺炎について説明できる。 4. 摂食・嚥下障害と栄養について説明できる。	同上
2月5日(水) 9:00～10:30	外科・皮膚科系 16 平常試験	客観問題を中心に出題する。	渡邊学郎

## 総合医学（頭蓋・顔面・頭頸部外科系）

4 年次 通年	授業科目責任者：坂巻 達夫（内科学）
学習の目標（GIO）	歯学と機能上不可分な解剖学的隣接領域の疾患を学習する。
授業担当者	頭頸部外科・牧山康秀、丹羽秀夫、小見山 道、 前田剛、 嶋原俊太郎、 副島一孝、 下田勝巳
教科書	なし
参考図書	標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 鈴木ら 医学書院 標準形成外科学第5版・秦ら・医学書院 標準脳神経外科学 児玉ら 医学書院 ベルの口腔顔面痛：痛みの診断と対処法 / ジェフリー・P・オケソン著 クインテッセンス出版（現在入手困難：本学図書館所蔵あり） Bell's Orofacial Pains: The Clinical Management Of Orofacial Pain Quintessence Pub Co (2004)
実習器材	なし
評価方法（EV）	学期末の平常試験（80%）、学習状況（20%）を総合し評価とする。 ただし、予告のない平常試験を行い、評価に加味する場合がある。
学生へのメッセージ オフィスアワー	本学の Motto である medico-dental science の理解と構築発展のための基礎となる講義群である。本講座では顎口腔と解剖学的に隣接した医学領域の基本知識を得る。周辺分野をよりよく知ることによって歯科口腔外科の理解が一層深まり、self-confident となる。境界領域ではあるがそのほとんどは歯科医学教育の標準的内容と重複していることを追記しておく。詳細はユニット責任者へ： 連絡はまずメールで：makiyama.yasuhide@nihon-u.ac.jp

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略（SBOs）(LS)・準備学習（予習）内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
9月30日（月） 9:00～10:30	頭蓋顔面頸部外科1 頭部顔面外傷・総論	【準備学習項目】 頭蓋、顔面の解剖を説明できる。 【講義】頭部顔面外傷に必要な解剖を説明できる。 頭部顔面外傷の分類を説明できる。 頭部顔面外傷の徴候と診断を説明できる。 頭部顔面外傷の治療を説明できる。 各 -IV-(II)-2-A-K F-2-4)-(1)	牧山康秀
10月7日（月） 9:00～10:30	頭蓋顔面頸部外科2 耳鼻咽喉科学総論 解剖・生理・機能	【準備学習項目】 聴器、平衡器、鼻腔、副鼻腔、咽頭喉頭の解剖と生理が説明できる。 【講義】 耳鼻咽喉科学が歯科医学においてどのような位置づけにあるのかを理解し、解剖、生理について説明できる。 必 -6-A-f 必 -6-B-d,e,f,g	丹羽秀夫
10月21日（月） 9:00～10:30	頭蓋顔面頸部外科3 耳科学総論	【準備学習項目】 聴器、平衡器の解剖生理を説明できる。 【講義】 耳の臨床解剖・機能を説明できる。 必 -6-A-f 総 -(III)-2-C,G D-2-3)-(4)-3 條	嶋原俊太郎
10月28日（月） 9:00～10:30	頭蓋顔面頸部外科4 疼痛学総論	【準備学習項目】 口腔・顎・顔面・頭部の知覚と運動の解剖生理を説明できる。 【講義】疼痛学の基礎を説明できる。 総 -(VI)-8 D-4-6)	小見山道 牧山康秀
11月11日（月） 9:00～10:30	頭蓋顔面頸部外科5 鼻科学各論 咽喉頭科学総論各論	【準備学習項目】 鼻腔、副鼻腔の解剖と生理を説明できる。 【講義】 鼻科領域において歯科医学と関連の深い検査法・診断・治療を説明できる。副鼻腔炎の病態、症状、診断、治療について説明できる。 咽頭・喉頭の解剖・機能を説明できる。咽喉頭疾患を説明できる。 総 -(III)-2-C, G 総 -(IV)-1,2,3 D-2-3)-(7)-2I	丹羽秀夫
11月18日（月） 9:00～10:30	頭蓋顔面頸部外科6 疼痛学各論1 口腔顎領域の慢性疼痛1	【準備学習項目】 疼痛の臨床的意味を説明できる。 【講義】口腔と顎の慢性疼痛について説明できる。 総 -(VI)-8 D-4-6)	小見山道 久保英之 牧山康秀

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月25日(月) 9:00 ~ 10:30	頭蓋顔面頸部外科7 疼痛学各論1 頭部顔面領域の慢性疼痛1	【準備学習項目】 疼痛の臨床的意味を説明できる。 【講義】主に慢性の頭痛・顔面痛について説明できる。 総-(VI)-8 D-4-6)	牧山康秀 小見山道 久保英之
12月2日(月) 9:00 ~ 10:30	頭蓋顔面頸部外科8 形成外科総論・顎顔面領域の形成外科総論	【準備学習項目】 皮膚の組織、創傷の治癒を説明できる。 【講義】 形成外科の理念・方法論を理解する。顎顔面領域で関わる形成外科の疾患を説明できる。顎顔面領域における歯科ならびに形成外科学的審美学を理解する。 各-IV-(I)-1-A,B,C,D,E,H	副島一孝
12月9日(月) 9:00 ~ 10:30	頭蓋顔面頸部外科9 形成外科学各論1 口唇裂・口蓋裂	【準備学習項目】 顔面の解剖を説明できる。 【講義】 顔面の発生学と臨床解剖を理解し、説明できる。 総-(V)-3-A,B 口唇裂、口蓋裂の分類・症状・治療法を説明できる。 各-II-(I)-1-A,B F-2-3)	下田勝巳
12月16日(月) 9:00 ~ 10:30	頭蓋顔面頸部外科10 疼痛学各論2 口腔顎領域の慢性疼痛2	【準備学習項目】 疼痛の臨床的意味を説明できる。 【講義】口腔と顎の慢性疼痛について説明できる。 総-(VI)-8 D-4-6)	小見山道 久保英之 牧山康秀
12月21日(土) 9:00 ~ 10:30	頭蓋顔面頸部外科11 顎顔面領域の神経疾患	【準備学習項目】 頭部、顔面、口腔、頸部の解剖、生理について説明できる。 【講義】 顎顔面領域の神経支配を説明できる。 神経疾患による顎顔面領域の症状・病態・診断について説明できる。 スライド・ハンドアウトによる講義。 各- ( )-2 F-2-4)-(6)	牧山康秀
1月20日(月) 9:00 ~ 10:30	頭蓋顔面頸部外科12 耳科学各論 めまい・平衡機能	【準備学習項目】 平衡器の解剖生理について説明できる。 【講義】 平衡器官について検査・診断・治療法を理解する。 総-(III)-2-G D-2-3)-(4)-3	鳴原俊太郎
1月27日(月) 9:00 ~ 10:30	頭蓋顔面頸部外科13 形成外科学各論2 顔面頭頸部の形成再建外科	【準備学習項目】 皮弁の作成と創の形成を説明できる。 【講義】顔面頭頸部形成再建術に必要な解剖・術式・合併症を説明できる。顔面頸部領域で関わる形成外科的知識を説明できる。 各-IV-(I)-1-H 皮膚移植の種々の方法について説明できる。 各-IV-(I)-5-P-a	副島一孝
1月29日(水) 9:00 ~ 10:30	頭蓋顔面頸部外科14 頭頸部腫瘍学 唾液腺腫瘍 頸部郭清術	【準備学習項目】 頸部の解剖について説明できる。 唾液腺の解剖と生理を説明できる。 【講義】 頭頸部腫瘍の診断・検査法・治療法について理解し説明ができる。 総-(VI)-7 唾液腺の種類・解剖・機能を説明できる。 F-2-4)-4, 5 必-6-B-c 唾液腺疾患の検査法、診断治療を説明できる。 F-2-4)-(5)/各-IV-(III)-1 頸部郭清術に必要な解剖、術式、合併症を説明できる。 各-IV-(I)-5-P-a 各-IV-(I)-5-a	丹羽秀夫
2月3日(月) 9:00 ~ 10:30	頭蓋顔面頸部外科15 頭部顔面外傷各論	【準備学習項目】 頭蓋、顔面の解剖を説明できる。 【講義】頭蓋骨骨折の分類・診断・治療を説明できる。 眼科骨折の分類・診断・治療を説明できる。 頬骨骨折の分類・診断・治療を説明できる。 上顎 Le Fort 骨折の分類・診断・治療を説明できる。 F-2-4)-(1) 下顎骨骨折の分類・診断・治療を説明できる。 各-IV-(II)-2-A-K	前田剛

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
2月10日(月) 9:00 ~ 10:30	頭蓋顔面頸部外科16 平常試験	客観問題を中心に出題する。	牧山康秀

## 総合医学（内科・臨床検査医学系）

4年次 通年	授業科目責任者：坂巻 達夫（内科学）
学習の目標（GIO）	全身疾患を有する患者に適切な歯科診療を行うために必要な臨床検査の知識を習得する。 歯科診療において全人的医療を遂行する上で必要な医学的知識を理解する。
授業担当者	歯科臨床検査医学講座・福本雅彦, 歯科臨床検査医学講座・深津晶, 歯科臨床検査医学講座・續橋治, 社会歯科学講座（歯科医学教育学）・牧村正治 内科学講座：坂巻達夫、大口純人、井上文央 顎顔面外科学講座：近藤壽郎、伊藤耕 口腔外科学講座：秋元芳明、西村均
教科書	教科書は使用しない。基礎歯科医学で使用した教科書を参考とする。 必要に応じてプリントを配布する。 内科：テキストを配布する。
参考図書	臨床検査法提要（金井 泉著，金原出版） 新臨床内科学第8版（医学書院） 歯科のための内科学（改訂第3版 南江堂） チャート式こんな患者が来院したら（デンタルダイヤモンド社） 有病者歯科ポケットブック全身疾患 VS 歯科治療（デンタルダイヤモンド社）
実習器材	なし
評価方法（EV）	臨床検査：中間試験 45% 小テスト（講義終了後毎回試験を行う） 10% 平常試験 45% * 正当な理由がなく、授業を 1/5 以上欠席した場合は、評価点は上限 60 点とする。  内科：平常試験（多肢選択問題） 100% 事例検討：平常試験（多肢選択問題）100% 総合医学に含まれる各科目は追試験は行うが、再試験は行わない。 成績評価は含まれる各科目の授業時間に応じた重みづけを行い、総合医学全体として評価点を出す。60 点以上を合格とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	すでに履修した生理学、生化学、病理学、解剖学、などと系統立てて学習すると理解しやすい。 全人的医療という言葉が表わすように、患者さんを取り巻く社会的、生理的、心理的、倫理的といった様々な要素を理解するためにも幅広い知識が要求されます。歯科医学を遂行する上で必ず役に立つ時が来ますので、集中して受講してください。 内科：オフィスアワー 午前 8 時ころから午後 5 時ころまで。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略（SBOs）(LS)・準備学習（予習）内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月4日（木） 9:00～10:30	総論 1) 臨床検査とは 2) 臨床検査の種類 3) 歯科診療と臨床検査  一般検査 尿検査 1) 尿検査とは 2) 尿検査の重要性 3) 採尿法 4) 尿検査の種類 5) 各尿検査項目の意義	【準備学習】 ・生化学、生理学、栄養学、組織・解剖学、病理学を十分理解する。 ・解剖学的・組織学的な腎臓の特徴を説明できる。 ・代謝についてを説明できる。 【講義】 ・臨床検査医学とはどのような学問かを理解し説明できる。 ・臨床検査に用いられる検査材料の種類とその取り扱いを説明できる。 ・各検査項目の臨床的意義を理解し説明できる。 ・歯科診療における臨床検査の重要性を理解し説明できる。 ・腎臓の形態、尿、尿検査の利点欠点を説明できる。 ・尿一般検査、尿化学的検査、尿形態学的検査の項目と臨床的意義について説明できる。 F-1-1) , , , / 総 - -( )-1-A,B,C,D,E F-1-1) , , , / 総 - -( )-2-A-a,b 総 - -( )-2-B-a	福本雅彦 深津晶
4月4日（木） 10:40～12:10	内科診断学 I	【準備学習項目】 循環動態、意識障害、発熱、咳嗽、胸痛、血圧以上について説明できる。 【講義】302 教室 症候から考えられる疾患の診断過程とそれに関わる検査データを踏まえて鑑別診断ができる。 < C-2-3)-(3)- ,C-4-3)- / 必 -9-A-a, 必 -9-C-k, 必 -10-E-c, 必 -15-Z-h, 総 -( )-2-C,D,F, 総 -( )-6-G, 総 -( )-1-A,C, 各 - -( )-4-A,B,D >	坂巻達夫

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月11日(木) 9:00 ~ 10:30	糖尿病 1) 糖尿病と歯科診療	<p>【準備学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人体に必要なエネルギーについて説明できる。</li> <li>・栄養の代謝特に糖代謝について説明できる</li> </ul> <p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病の定義を説明できる。</li> <li>・膵臓の形態を説明できる。</li> <li>・インスリンの働きを説明できる。</li> <li>・糖尿病の種類と特徴を説明できる。</li> <li>・糖尿病の症状および合併症を説明できる。</li> <li>・糖尿病を調べるための検査項目を説明できる。</li> <li>・糖尿病の診断基準を説明できる。</li> <li>・糖尿病の口腔内への影響を説明できる。</li> </ul> <p>F-1-3)-(1) / 各 - -( )-1-C-f</p>	深津晶
4月11日(木) 10:40 ~ 12:10	内科診断学 2	<p>【準備学習項目】</p> <p>悪心、嘔吐、腹痛、下痢、急性腹症について説明できる。 出血傾向、貧血について説明できる。 浮腫、血尿、タンパク尿について説明できる。</p> <p>【講義】302 教室</p> <p>症候から考えられる疾患の診断過程とそれに関わる検査データを踏まえて鑑別診断ができる。</p> <p>&lt; C-2-3)-(11)- / 必 -9-A-a, 必 -11-C-b, 総 -( )-2-E,I, 総 -( )-1-D,E &gt;</p>	坂巻達夫
4月18日(木) 9:00 ~ 10:30	血液 1) 血液の組成と役割 2) 採血法 3) 試料の取り扱い  血液疾患(1) 貧血 1) 貧血とは 2) 貧血の分類 3) 貧血の検査	<p>【準備学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・血球成分(赤血球、白血球、血小板) 血清成分の働きを説明できる。</li> <li>・静脈の位置を説明できる。</li> <li>・造血について説明できる。</li> <li>・赤血球の働きについて説明できる。</li> </ul> <p>【講義】302 教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・血液成分について理解し説明できる。</li> <li>・採血方法を説明できる。</li> <li>・貧血の定義を理解し説明できる。</li> <li>・貧血の一般症状について理解し説明できる。</li> <li>・貧血の分類を理解し説明できる。</li> <li>・貧血の検査方法を理解し説明できる。</li> </ul> <p>D-2-3)-(11) / 総 - -( )-2-A-a,b 総 - -( )-2-C-a,b,c,d F-2-4)-(7) / 各 - -( )-1-E-1-a,b,c,d,e</p>	續橋治 牧村正治
4月18日(木) 10:40 ~ 12:10	内科診断学 3	<p>【準備学習項目】</p> <p>腰痛について説明できる。 運動麻痺、認知症について説明できる。 睡眠障害、うつ状態について説明できる。</p> <p>【講義】302 教室</p> <p>症候から考えられる疾患の診断過程とそれに関わる検査データを踏まえて鑑別診断ができる。</p> <p>&lt; / 必 -9-A-a, 必 -15-AB-b, 総 -( )-1-G,H, 各 - -( )-3-F &gt;</p>	坂巻達夫
4月25日(木) 9:00 ~ 10:30	血液疾患(1) 貧血 4) 各種貧血について 5) 貧血患者の歯科診療における対応  血液疾患(2) 出血性素因 1) 出血性素因とは 2) 出血性素因の分類	<p>【準備学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・血液の働き特に血小板および血液凝固因子の働きを説明できる。</li> </ul> <p>【講義】302 教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表的な貧血とその特徴を理解し説明できる。</li> <li>・貧血患者の歯科診療の対応について理解し説明できる。</li> <li>・止血の機序を説明できる。</li> <li>・血液凝固因子の種類および働きを説明できる。</li> <li>・血液凝固の機序を説明できる。</li> <li>・出血性素因の定義および原因を説明でき、原因別に分類することができる。</li> </ul> <p>F-2-4)-(7) / 各 - -( )-1-E-3-a,b,c,d</p>	續橋治 牧村正治
4月25日(木) 10:40 ~ 12:10	生体機能検査(胸部X線写真、心電図)	<p>【準備学習項目】</p> <p>胸部の解剖について説明できる。 心臓の電気生理について説明できる。</p> <p>【講義】302 教室</p> <p>胸部エックス線写真、心電図、呼吸機能検査について重要な所見について説明できる。</p> <p>&lt; C-2-3)-(3)- ,C-2-3)-(7)- / 必 -6-A-f, 総 -( )-2-C,D, 総 -( )-4-A,B &gt;</p>	井上文央

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月9日(木) 9:00 ~ 10:30	血液疾患(2)出血性素因 3)出血性素因の検査 4)出血に対する歯科診療時の対応	【準備学習】 ・血液の働き特に血小板および血液凝固因子の働きを説明できる。 【講義】302教室 ・出血性素因を原因別に調べる検査項目および検査意義を説明できる。 ・代表的な出血性素因とその特徴を理解し説明できる。 ・出血性素因患者の歯科診療の対応について理解し説明できる。 F-2-4)-(7) / 各 - -( )-1-E-3-a,b,c,d	續橋治 牧村正治
5月9日(木) 10:40 ~ 12:10	呼吸器疾患	【準備学習項目】 呼吸器系の解剖、生理機能について説明できる。 【講義】302教室 急性呼吸器感染症、肺結核、慢性閉塞性肺疾患、肺腫瘍について説明できる。 < C-2-3)-(7)- , / 必 -8-C-d, 必 -15-AB-b, 総-( )-2-C, 総-( )-1-C, 各 - -( )-3-A >	坂巻達夫
5月16日(木) 9:00 ~ 10:30	血液疾患(3)白血球系疾患について	【準備学習】 ・人体における白血球(好中球・好酸球・好塩基球・単球・リンパ球)の働きを説明することができる。 ・人体における白血球(好中球・好酸球・好塩基球・単球・リンパ球)の基準値を列挙できる。 【講義】302教室 ・造血の概要を述べることができる。 ・血球の分化の過程を述べることができる。 ・雁遺伝子、癌抑制遺伝子の役割を説明できる。 ・主な造血器疾患を列挙できる。 ・急性骨髄性白血病の臨床病態を述べることができる。 ・急性骨髄性白血病の形態学的特徴を列挙できる。 ・急性リンパ性白血病の臨床病態を述べることができる。 ・急性リンパ性白血病の形態学的特徴を列挙できる。 ・急性単球性白血病の臨床病態を述べることができる。 ・急性単球性白血病の形態学的特徴を列挙できる。 ・慢性骨髄性白血病の臨床病態を述べることができる。 ・慢性骨髄性白血病の形態学的特徴を列挙できる。 ・成人T細胞性白血病の臨床病態を述べることができる。 ・成人T細胞性白血病の形態学的特徴を列挙できる。 F-2-4)-(7) / 各 - -( )-1-E-2, 各 - -( )-5-K, 各 - -( )-1-F-b マルチメディア使用, 板書(プリントは配布しない)	福本雅彦
5月16日(木) 10:40 ~ 12:10	循環器疾患	【準備学習項目】 循環器系の解剖、生理機能について説明できる。 【講義】302教室 循環動態、高血圧症、虚血性心疾患、感染性心内膜炎関連疾患、弁膜症、心筋症について説明できる。 < C-2-3)-(3)- , , , / 必 -15-AB-b, 総-( )-2-D, 総-( )-1-C, 各 - -( )-3-B >	坂巻達夫
5月23日(木) 9:00 ~ 10:30	臨床検査医学 中間試験 感染症(1) 感染症の概要と臨床検査	【準備学習項目】 ・これまでの臨床検査医学の講義内容(臨床検査総論、一般検査・尿検査、血液、貧血、出血性素因、白血球系疾患)について理解し、述べるができる。 ・炎症・感染症の概要が述べられる。 ・感染症の種類を列挙できる。 ・口腔領域に症状を示す感染症を挙げるができる。 【中間試験・講義】302教室 ・これまでの臨床検査医学の講義内容について理解し、述べるができる。 ・炎症、感染症に関連する臨床検査項目を列挙できる。 ・測定結果から感染の有無を判定できる。 ・梅毒、結核感染症の病態および検査項目を述べることができる。 F-2-4)-(7) , F-2-4)-(2) , , D-3-1 / 必 -11-C-a,d, 各 - -( )-3-H マルチメディア, 板書(プリントは配布しない)	福本雅彦

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月23日(木) 10:40 ~ 12:10	内分泌疾患 代謝・栄養疾患	<p>【準備学習項目】 内分泌器官の生理機能について説明できる。 【講義】302 教室 内分泌器官を中枢と末梢のフィードバック機構から説明できる。主な内分泌疾患について説明できる。 &lt; C-2-3)-(8)- / 必 -15-AB-b, 総-( )-2-H, 総-( )-1-I, 各 - ( )-3-H &gt;</p> <p>【準備学習項目】 糖尿病の病態について説明できる。 【講義】302 教室 糖尿病とその合併症、高脂血症について説明できる。 &lt; C-2-3)-(6)- / 必 -11-C-c, 必 -15-AB-b, 各 - ( )-3-I &gt;</p>	大口純人
5月30日(木) 9:00 ~ 10:30	感染症(2) ウイルス性感染症について	<p>【準備学習】 ・歯科領域に関連の深いウイルスを列挙できる。 【講義】302 教室 ・ウイルス性肝炎の種類を列挙できる。 ・B・C型肝炎の病態を述べるができる。 ・B・C型肝炎の臨床検査方法を説明することができる。 ・B・C型肝炎の感染防止および消毒法を述べるができる。 ・HIV感染症の病態を述べるができる。 ・HIV感染症の臨床検査方法を説明することができる。 ・HIV感染症の感染防止および消毒法を述べるができる。 ・Epstein-Barr ウイルス感染症の病態を述べるができる。 ・Epstein-Barr ウイルス感染症の臨床検査方法を説明することができる。 F-2-4)-(7) , F-2-4)-(2) , , D-3-1 / 各 -( )-2-A マルチメディア, 板書(プリントは配布しない)</p>	福本雅彦
5月30日(木) 10:40 ~ 12:10	脳・神経・筋疾患	<p>【準備学習項目】 脳神経の解剖について説明できる。 運動・知覚の神経伝導路について説明できる。 【講義】302 教室 主な脳血管疾患、痴呆疾患、脱髄疾患、運動ニューロン疾患、筋疾患について説明できる。 &lt; C-2-3)-(5)- , / 必 -15-AB-b, 総-( )-2-F, 総-( )-1-H, 各 - ( )-3-E &gt;</p>	坂巻達夫
6月6日(木) 9:00 ~ 10:30	肝臓 1) 肝臓について 2) 肝機能検査の種類とその臨床的意義 3) 肝機能検査データの解析	<p>【準備学習】 ・肝臓の解剖学的、組織学的特徴を説明できる。 ・栄養の代謝を説明できる。 【講義】302 教室 ・肝臓の形態を説明できる。 ・肝臓の働きを説明できる。 ・肝臓の酵素学的検査の種類と検査意義を説明できる。 ・肝臓の生化学的検査の種類と検査意義を説明できる。 ・各種検査から疑われる肝臓の異常を説明できる。 F-1-1) , , , / 総 - ( )-2-A,D,E 総 - ( )-3-C,D,E</p>	深津晶
6月6日(木) 10:40 ~ 12:10	中毒・環境要因疾患 肝炎	<p>【準備学習項目】 熱中症について説明できる。 農薬中毒について説明できる。 体内薬物動態について説明できる。 【講義】302 教室 重要な中毒疾患、環境要因による疾患を説明できる。 &lt; C-5-2)- / 総-( )-9-A &gt;</p> <p>【準備学習項目】 ウイルス性肝炎について説明できる。 院内感染について説明できる。 【講義】302 教室 院内感染予防の概念について説明できる。ウイルス性肝炎、HIV、MRSA の対応について説明できる。 &lt; C-3-1)- , C-2-3)-(6)- / 必 -4-C-a,b,c, 必 -15-AB-b, 総-( )-2-B, 各 - ( )-2-A &gt;</p>	坂巻達夫
6月13日(木) 9:00 ~ 10:30	腎・泌尿器疾患 口腔領域の検査	<p>【準備学習項目】 ・腎臓の解剖、生理機能および腎機能検査について説明できる。 ・口腔領域における検査の概要を説明できる。 【講義】302 教室 ・腎臓の機能、主な腎疾患・泌尿器疾患、腎不全、全身疾患や薬剤による腎障害を説明できる。 ・口腔領域の検査を列挙でき、意義を説明できる。 &lt;C-2-3)-(9)- , , / 必 -11-C-a, 必 -15-AB-b, 総-( )-2-E, 総-( )-1-F, 各 - ( )-3-D&gt;</p>	福本雅彦



日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月13日(木) 10:40～12:10	腎・泌尿器科疾患 血液疾患	【準備学習項目】 腎臓の解剖、生理機能について説明できる。 【講義】302教室 腎臓の機能、主な腎疾患・泌尿器疾患、腎不全、全身疾患や薬剤による腎障害を説明できる。 < C-2-3)-(9)- , , / 必 -11-C-a, 必 -15-AB-b, 総-( )-2-E, 総-( )-1-F, 各 - ( )-3-D > 【準備学習項目】 止血、凝固機能について説明できる。 貧血、出血傾向について説明できる。 【講義】302教室 止血・凝固・造血の機構、主な貧血症、出血性疾患を説明できる。 < C-2-3)-(11)- , , , / 必 -8-C-a,b,c, 必 -15-AB-b, 総-( )-2-I, 総-( )-1-E, 各 - ( )-5-K,L, 各 - ( )-2-F-a,b,c, 各 - ( )-3-G >	坂巻達夫
6月20日(木) 9:00～10:30	口腔がんの検査	【準備学習】 ・本邦における悪性腫瘍の発生状況を述べるができる。 ・腫瘍の分類を説明できる。 【講義】 ・悪性腫瘍の発生について理解し説明できる。 ・本邦における口腔がんの発生状況を説明できる。 ・口腔がんのRisk factorを理解し説明できる。 ・口腔がんの検査法を列挙できる。 ・口腔がんの各種検査法の特徴を述べるができる。 F-2-4)-(3) / 総 - ( )-1-K-a,b,c,d 総 - ( )-2-K	福本雅彦
6月20日(木) 10:40～12:10	膠原病・アレルギー疾患	【準備学習項目】 アレルギー疾患の病態を説明できる。 膠原病の病態について説明できる。 【講義】302教室 SLE、シェーグレン症候群、ベーチェット病、強皮症、関節リウマチ、について説明できる。アレルギー反応の基礎、気管支喘息、アナフィラキシーショック、について説明できる。 < C-3-2)- , , ,E-2-4)-(9)- , / 総-( )-6-F,G >	坂巻達夫
6月27日(木) 9:00～10:30	事例検討 1,2	事例検討	福本雅彦 續橋治 近藤壽郎 秋元芳明 牧村正治 大口純人 丹羽秀夫 深津晶 布施恵 伊藤耕 西村均 坂巻達夫 井上文央
6月27日(木) 10:40～12:10	事例検討 3,4	事例検討	同上
7月4日(木) 9:00～10:30	事例検討 5,6	事例検討	同上
7月4日(木) 10:40～12:10	事例検討 7,8	事例検討	同上
7月11日(木) 9:00～10:30	事例検討 9,10	事例検討	同上
7月11日(木) 10:40～12:10	事例検討 11,12	事例検討	同上
7月18日(木) 9:00～10:30	事例検討 13,14	事例検討	同上
7月18日(木) 10:40～12:10	事例検討 15	事例検討	同上
9月12日(木) 9:00～10:30	平常試験	臨床検査医学平常試験	福本雅彦 牧村正治
9月12日(木) 10:40～12:10	平常試験	内科平常試験 事例検討平常試験	坂巻達夫 西村均 牧村正治 伊藤耕 福本雅彦 丹羽秀夫 近藤壽郎 大口純人

## 総合医学（隣接医学系）

4年次 通年	授業科目責任者：坂巻 達夫（内科学）
学習の目標（GIO）	歯科診療において全人的医療を遂行する上で必要な医学的知識を理解する。
授業担当者	法医学： 小室歳信、精神・神経科学： 太田克也、 織田健司、 平井伸英
教科書	法医学：臨床のための法医学 第6版・小室歳信，澤口彰子ほか・朝倉書店 事例・判例から学ぶ歯科の法律 第1版 第4刷・小室歳信・医歯薬出版 精神・神経科学：教科書は使用しないが、レジメのプリントを配布する。
参考図書	精神・神経科学：カプラン臨床精神医学テキスト 第2版監訳／井上 令一・四宮 滋子、DSM - IV - TR 精神疾患の分類と診断の手引 新訂版 原著：American Psychiatric Association 訳：高橋 三郎／大野 裕／染矢 俊幸、ICD - 10 精神および行動の障害 臨床記述と診断ガイドライン監訳：融 道男／中根 允文／小見山 実、現代臨床精神医学 大熊輝雄 金原出版、標準精神医学 野村総一郎、樋口輝彦 医学書院
実習器材	なし
評価方法（EV）	平常試験（多肢選択問題）によって評価点（100％）とする。 総合医学に含まれる各科目は追試験は行いが、再試験は行わない。 成績評価は含まれる各科目の授業時間に応じた重みづけを行い、総合医学全体として評価点を出す。60点以上を合格とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	全人的医療という言葉が表すように、患者さんを取り巻く生理的、社会的、心理的、倫理的といった様々な要素を理解するためにも幅広い知識が要求されます。歯科医学を遂行する上で必ず役に立つときがきますので、集中して受講してください。 すべて、外部講師の方々です。礼節のある授業態度で臨んでください。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略（SBOs）(LS)・準備学習（予習）内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月10日（水） 14:40～16:10	1. 総論 1) 法医学の歴史，定義，対象 2) 検屍と解剖 3) 日本における異状死体の取り扱い方 2. 生と死 1) 出生と死の判定効果 2) 生と死の判定時期	【準備学習項目】 法医学の定義について説明できる。 【講義】302 教室 ・法医学は、「法律上問題となる医学的事項を研究し，解決に寄与しようとする学問」である。ここで「法律上問題となる」「医学的事項」「解決に寄与する」とは何を意味しているかを説明できる。 ・法医学の対象は，死体ばかりでないことを説明できる。 ・検屍の対象となる異状死体とは何か，また，どのような場合に法医解剖に付されるのかを説明できる。 ・我国における死体の取り扱いについて説明できる。 ・ヒトはどの時点で生きる権利を認められるか。また，どの時点で死と判定されるのかを説明できる。	小室歳信
4月17日（水） 14:40～16:10	3. 死体現象 1) 定義と法医学的意義 2) 早期死体現象 3) 晩期死体現象 4) 特殊死体現象 5) 死後経過時間の推定 4. 異常環境等による障害と死 1) 高温による障害	【準備学習項目】 死体の時間的変化を説明できる。 【講義】302 教室 ・死体に現れてくる様々な変化・現象を理解する。早期死体現象と晩期死体現象の発生機序と法医学的意義について理解を説明できる。 ・ミイラ化や死蝸化現象について説明できる。 ・死因や死体の環境などを考慮して死後経過時間を推定できることを説明できる。 ・異常温度による障害・死亡の発生機序を理解し，とくに火傷死と焼死との死体所見の差異について説明できる。	同上
4月24日（水） 14:40～16:10	5. 損傷 1) 定義と用語，法医学的意義 2) 法医学的問題点 3) 分類 4) 被虐待児症候群 5) 損傷による死因 6) 生活反応	【準備学習項目】 創傷とその法医学的意義について説明できる。 【講義】302 教室 ・人体に生じた創傷を観察し，その検査の法医学的意義について説明できる。 ・創傷の数，部位，性状および程度などから，自・他殺あるいは事故死の区別ができることを説明できる。 ・乳幼児や小児が親や保護者から繰り返し虐待を受け，それによって生じた外傷の特徴的性状を説明できる。 ・損傷による死因について検討し説明できる。 ・生体でなければ現れない所見（生活反応）と意義について理解し，死後損傷と識別ができることを説明できる。	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月8日(水) 14:40 ~ 16:10	6. 中毒 1) 中毒, 毒物の定義 2) 薬毒物の分類 3) 一酸化炭素・青酸 4) 農薬 5) 犯罪の成立要件 6) 薬物依存症	【準備学習項目】 農薬中毒・一酸化炭素中毒について説明できる。 【講義】302 教室 ・薬毒物の定義および薬理学的分類について説明できる。 ・一酸化炭素, 青酸および農薬などの性質, 中毒作用機序および死体所見などを説明できる。 ・犯罪の成立要件について学習する。「行為者の責任能力」の有無を, 正当防衛, 緊急避難, 心神耗弱, 心神喪失と関連づけて説明できる。 ・耽溺性のある麻薬類, 覚醒剤等の代謝と排泄を説明できる。 ・アルコール依存症の定義と症状, ならびに代謝と排泄について説明できる。 ・薬物依存症者の犯法行為と法律の関係について説明できる。	同上
5月15日(水) 14:40 ~ 16:10	7. 窒息 1) 窒息死の定義と分類 2) 窒息死の経過 3) 窒息死の特徴	【準備学習項目】 窒息死について説明できる。 【講義】302 教室 ・窒息の種々のタイプ(縊死, 絞死, 扼死など), 作用機序および窒息死体の剖検所見を説明できる。 ・窒息死体の特徴を知り, 自・他殺あるいは事故死の区別を説明できる。 ・歯科治療中の死と窒息との関係を説明できる。	同上
5月22日(水) 14:40 ~ 16:10	8. 個人識別 1) 個人識別の必要性・重要性 2) 生体および死体の個人識別 3) 白骨死体の個人識別 4) 大量災害死事故における身元確認 9. 歯科法医学 1) 歯科所見の法医学的意義 2) 歯からの性別判定・年齢推定 3) 歯痕 4) その他, 歯からわかること	【準備学習項目】 個人識別について説明できる。 【講義】302 教室 ・個人識別の定義について説明できる。 ・白骨死体の個人識別において, 頭蓋骨の形態観察による性別判定法と年齢推定法について説明できる。 ・大量災害死事故における身元不明死体の個人識別の効果的な手順について説明できる。 ・歯および歯科所見の証拠物件としての価値を知り, それらの所見が身元確認になぜ有効なのかを説明できる。 ・歯の形態(大きさ, 形)からの性別判定法を説明できる。 ・歯の発生学的変化, 生理学的変化, 病理学的変化および物理化学的変化からの年齢推定法を説明できる。 ・歯に関する損傷のうち, 歯痕からの個人識別について説明できる。 ・歯科所見から職業, 出身地, 教養や生活程度などを推定できる場合があるを説明できる。 <B-2-3)>	同上
5月29日(水) 14:40 ~ 16:10	10. 医療行為 1) 医療行為の定義 2) 医行為と歯科医行為	【準備学習項目】 医療行為について説明できる。 【講義】302 教室 ・業としての医療行為とはなにかを説明できる。 ・正当な医療行為として認められるための条件(治療, 医学的・社会的正当性, 承諾)について説明できる。 ・生体腎移植, 正常分娩および美容整形手術などは医療行為といえるかについて説明できる。	同上
6月5日(水) 14:40 ~ 16:10	11. 医療事故と法医学 1) ヒヤリ・ハット 2) リスクマネジメント	【準備学習項目】 医療事故について説明できる。 【講義】302 教室 ・医療の現場で起こった事故による最悪の事態は患者が死ぬことである。遺体は変死体と見なされ司法解剖に付されることを説明できる。 ・事故には至らないヒヤリ・ハット事例を収集・分析し, 再発防止策を説明できる。 ・医療事故からリスクマネジメント構築を説明できる。	同上
6月12日(水) 14:40 ~ 16:10	精神・神経科学 1 総論	【準備学習項目】 外因性・内因性・心因性精神障害について説明できる。 【講義】302 教室 1. 医師・患者関係の心理学, 疾病や治療に対する心理的反応, 人格による心理的反応の違いについて理解し説明できる。 2. 外因性・内因性・心因性精神障害の分類について理解し説明できる。 3. 自殺の原因, 手段, 対応について理解し説明することができる。ストレスの成因, 背景, 対処について理解し説明することができる。	太田克也

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月19日(水) 14:40 ~ 16:10	精神・神経科学2 心身症と緩和医療	【準備学習項目】 心身症について説明できる。 緩和医療について説明できる。 【講義】302教室 1. 精神疾患の症状、治療法、治療薬について説明し理解することができる。 2. 身体科入院中の患者に合併しやすい精神疾患を理解して説明することができる。緩和医療について理解し説明することができる。 3. 心身症の症状、精神・心理的な要因の関与、治療について理解し説明することができる。	平井 伸英
6月26日(水) 14:40 ~ 16:10	精神・神経科学3 外因性精神障害と睡眠障害	【準備学習項目】 睡眠障害について説明できる。 【講義】302教室 外因性精神障害、睡眠障害の症状、対応、治療について理解し説明することができる。	織田健司
7月3日(水) 14:40 ~ 16:10	精神・神経科学4 内因性精神障害(統合失調症)	【準備学習項目】 内因性精神障害について説明できる。 【講義】302教室 内因性精神障害(統合失調症)およびてんかんの症状、対応、治療について理解し説明することができる。	太田克也
7月10日(水) 14:40 ~ 16:10	精神・神経科学5 小児および高齢者の精神障害	【準備学習項目】 小児・高齢者の精神的特性、精神障害について説明できる。 【講義】302教室 小児・高齢者に特有の精神的特性、精神障害の症状、対応、治療について理解し説明することができる。	平井 伸英
7月17日(水) 14:40 ~ 16:10	精神・神経科学6 てんかん	【準備学習項目】 てんかんについて説明できる。 【講義】302教室 てんかん、心因性精神障害の症状、対応、治療についておよび人格障害の特徴、対応、治療について理解し説明することができる。	織田健司
7月24日(水) 14:40 ~ 16:10	精神・神経科学7 内因性精神障害(気分障害)	【準備学習項目】 感情障害について説明できる。 うつ症状を呈する疾患について説明できる。 【講義】302教室 1. 感情障害(躁うつ病)の症状、対応、治療について理解し説明することができる。 2. うつ症状を呈する様々な疾患について、その病態、症状、対応、治療について理解し説明することができる。	太田克也
9月11日(水) 14:40 ~ 16:10	平常試験	平常試験	坂巻達夫 太田克也 平井伸英 小室歳信 織田健司

## 総合医学（隣接医学系）

4年次 通年	授業科目責任者：坂巻 達夫（内科学）
学習の目標（GIO）	歯科診療において全人的医療を遂行する上で必要な医学的知識を理解する。
授業担当者	眼科： 崎元 暢、産婦人科： 永石匡司、小児科： 宮本幸伸
教科書	イラスト眼科学・大野重昭、澤充・医学書院
参考図書	産婦人科：佐藤和雄 佐藤 和雄 藤本 征一郎 編 臨床エビデンス産科学・臨床エビデンス婦人科学 メディカルビュー社、丸尾 猛・岡井 崇 編 標準産科婦人科学 第3版 医学書院 小児科：最新育児小児病学<改訂第5版>：黒田泰弘（編）南江堂 小児歯科マニュアル（第4版） 前田隆秀（編）南山堂
実習器材	なし
評価方法（EV）	平常試験（多肢選択問題）によって評価点（100%）とする。 総合医学に含まれる各科目は追試験は行いが、再試験は行わない。 成績評価は含まれる各科目の授業時間に応じた重みづけを行い、総合医学全体として評価点を出す。60点以上を合格とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	全人的医療という言葉が表すように、患者さんを取り巻く生理的、社会的、心理的、倫理的といった様々な要素を理解するためにも幅広い知識が要求されます。歯科医学を遂行する上で必ず役に立つときがきますので、集中して受講してください。 すべて、外部講師の方々です。礼節のある授業態度で臨んでください。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略（SBOs）(LS)・準備学習（予習）内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月3日（木） 14:40～16:10	眼科学1（眼の解剖・生理、視機能と眼科検査）	【準備学習項目】 目の解剖と生理機能を説明できる。 【講義】302教室 1）視覚器の構成を述べることができる。 2）視機能について説明できる。 3）基本的な眼内の解剖を述べることができる。 4）基本的な眼科検査を説明できる。	崎元暢
10月10日（木） 14:40～16:10	眼科学2（角膜・結膜疾患）	【準備学習項目】 角膜・結膜疾患について説明できる。 【講義】302教室 1）角膜の解剖生理について述べるができる。 2）代表的な角膜疾患・結膜疾患を説明できる。	同上
10月17日（木） 14:40～16:10	眼科学3（眼瞼と眼窩の疾患、眼科救急疾患）	【準備学習項目】 眼瞼・眼窩の疾患について説明できる。 眼科救急疾患について説明できる。 【講義】302教室 1）眼瞼と眼窩の解剖について説明できる。 2）代表的な眼瞼・眼科疾患を説明できる。 3）代表的な眼科救急疾患について説明できる。	同上
10月24日（木） 14:40～16:10	眼科学4（水晶体と白内障）	【準備学習項目】 水晶体と白内障について説明できる。 【講義】302教室 1）水晶体の構造とその機能を説明できる。 2）白内障の分類を説明できる。 3）白内障手術の術式を説明できる。	同上
10月31日（木） 14:40～16:10	眼科学5（緑内障、神経眼科）	【準備学習項目】 緑内障について説明できる。 視神経・眼球運動・瞳孔反応について説明できる。 【講義】302教室 1）緑内障の分類と眼圧上昇の機序を述べるができる。 2）緑内障の治療法を述べることができる。 3）散瞳が禁忌である緑内障について説明できる。 4）視神経・眼球運動・瞳孔反応の生理と異常を説明できる。	同上
11月7日（木） 14:40～16:10	眼科学6（ぶどう膜炎、全身疾患と眼）	【準備学習項目】 ぶどう膜炎について説明できる。 全身疾患による眼障害を説明できる。 【講義】302教室 1）3大ぶどう膜炎について述べることができる。 2）全身疾患による代表的な眼障害を説明できる。	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月14日(木) 14:40～16:10	眼科学7(網膜硝子体疾患)	【準備学習項目】 網膜硝子体疾患について説明できる。 【講義】302教室 1) 代表的な網膜硝子体疾患を説明できる。 2) 網膜硝子体手術の術式について説明できる。	同上
11月21日(木) 14:40～16:10	小児科1 1) 小児の成長・発達とその異常 2) 先天異常・染色体異常	【準備学習項目】 正常な小児とは何かを理解し、異常な小児とを区別し説明することができる。 【講義】302教室 ・小児の正常な成長と発達を理解し、説明することができる。 ・成長障害と発達障害を理解し、説明することができる。 ・先天異常・染色体異常の代表的な疾患を理解し説明することができる。 <E-4-6)>	宮本幸伸
11月28日(木) 14:40～16:10	小児科2 1) 発疹を伴う小児の感染症 2) その他の小児のウイルス感染症と細菌感染症	【準備学習項目】 小児の感染症を理解し、説明することができる。 【講義】302教室 ・発疹を伴う小児の感染症を理解し、症状と経過を説明することができる。 ・その他、小児の代表的な細菌感染症・ウイルス感染症を理解し、症状と経過を説明することができる。 <E-4-6)>	同上
12月5日(木) 14:40～16:10	小児科3 1) 出血をきたす小児疾患 2) 小児の気管支喘息と糖尿病	【準備学習項目】 出血をきたす小児疾患を理解し説明することができる。 その他、小児歯科治療に必要な疾患を理解し、説明することができる(特に気管支喘息・糖尿病)。 【講義】302教室 ・出血性素因を持つ血液疾患や急性白血病について症状と治療について理解し、説明することができる。 ・その他、小児歯科治療時に留意すべき小児科疾患について理解し、説明することができる。(とくに、気管支喘息と糖尿病について理解し、説明することができる。) <E-4-6)>	同上
12月12日(木) 14:40～16:10	小児科4 1) 小児救急疾患 2) 小児の処置と輸液療法	【準備学習項目】 小児救急疾患の病態を理解し説明することができる。小児の輸液を指示することができる。 【講義】302教室 ・小児の救急疾患とその病態を理解し、処置について説明することができる。(特に小児の輸液療法に関して) <E-4-6)>	同上
12月19日(木) 14:40～16:10	産婦人科1	【準備学習項目】 女性生殖器の解剖と生理機能を説明できる。 妊娠について説明できる。 【講義】302教室 女性生殖器の解剖と生理、診察と治療、妊娠の診断方法 生殖器の解剖、生理を説明できる。 婦人科領域の主な症状から診断、治療への流れについて説明できる。 妊娠の診断と妊婦健診について説明できる。 <E-4-6)>	永石匡司
1月9日(木) 14:40～16:10	産婦人科2	【準備学習項目】 正常の妊娠、分娩、産褥について説明できる。 【講義】302教室 妊娠、分娩、産褥(正常編、異常編) 正常の妊娠、分娩、産褥経過および産科手術を説明できる。 異常妊娠、異常分娩、異常産褥について説明できる。 (妊婦と歯科疾患の関連性について理解する。) <E-4-6)>	同上
1月16日(木) 14:40～16:10	産婦人科3	【準備学習項目】 婦人科領域の悪性腫瘍について説明できる。 【講義】302教室 婦人科の悪性腫瘍(主に子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌について) 子宮頸癌および子宮頸部異形成について説明できる。 子宮体癌および子宮内膜増殖症について説明できる。 卵巣癌について説明できる。	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月23日(木) 14:40 ~ 16:10	産婦人科4	<p>【準備学習項目】 婦人科領域の良性腫瘍、月経異常、性感染症について説明できる。</p> <p>【講義】302教室 婦人科の良性疾患(良性腫瘍、月経異常、性感染症など)良性腫瘍として卵巣嚢腫、子宮筋腫、子宮内膜症の診断、治療について説明できる。 月経困難症、過多月経などの月経異常や不妊症、性感染症について説明できる。 (婦人科疾患治療中の歯科疾患管理について説明できる)</p>	同上
2月6日(木) 14:40 ~ 16:10	平常試験	平常試験	坂巻達夫 宮本幸伸 崎元暢 永石匡司

## 医療行動科学 7

4 年次 前学期	授業科目責任者：伊藤 孝訓（歯科総合診療学）
----------	------------------------

学習の目標 (GIO)	「診断する」とは、患者に付随している異常な状態を病態生理学的立場のみならず、心理的、社会的要因を含む広い立場から、現状で可能な診断情報を収集し、総合的な（病態、臨床疫学的な確率データ、患者の意向・価値観、医師と患者の心理など）判断に基づいて最適な医療を行うための根拠を得る過程（プロセス）であることを理解する。 「歯科総合診療学」とは、歯科医学の細分化傾向に対して口腔疾患を総合的に診るとともに、患者の全身機能との関連、生活習慣や環境などの背景をも配慮し、歯科の common disease を対象にプライマリ・ケアとして治療と継続的なフォローを包括的に行う学問であることを理解する。
授業担当者	伊藤孝訓，多田充裕，内田貴之，遠藤弘康，青木伸一郎，岡本康裕，（歯科総合診療学），大山 篤（神戸製鋼所健康管理センター）
教科書	「歯科医療面接アートとサイエンス」伊藤孝訓編著，砂書房（第2版） その他にプリントを配布する。
参考図書	「患者ニーズにマッチした歯科医療面接の実際」伊藤孝訓，寺中敏夫編集，クインテッセンス出版 「イラストレイテッド・クリニカルデンティストリー 患者の診かたと歯科診療」黒崎紀正他編集，医歯薬出版 「臨床医になるための必修アイテム」医療面接から臨床判断学まで，竹村洋典，南江堂 「臨床入門 臨床実習の手引き」福井次矢，医学書院 「口腔診断学」下里常弘他，医学書院 「歯科口腔診断ハンドブック」増田 屯，藤澤盛一郎，医学情報社 「歯科医のための医療コーチング入門」岸 英光，砂書房
実習器材	なし
評価方法 (EV)	講義：授業時間内に行う平常試験（60%） 制作物・体験学習レポート（30%） 受講態度（10%）をもって総合評価（最終評価）する。 平常試験の結果に応じて、補講または再試験等の措置を講じることがある。 受講態度は出席することが前提として与えられ、講義・演習参加への積極性を評価対象とする。 授業時間数の 1/5 以上を欠席した場合、成績評価は 0～60 点とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	医療の本質は不確実性にあるといわれており、この問題に対処する方法として、本講義は歯科医師として眼前の患者さんに最良な治療やマネジメントが奏功できるように、臨床各科の知識を頭の中で整理統合し、再編成できる考える力を育てる学問であり、臨床において患者に対応する際に即役立つことなので、興味を抱いて講義に参加して欲しい。E-mail(shindan.md.ml @ nihon-u.ac.jp) による質問を受け付ける。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月4日(木) 13:00～14:30	ガイダンス 1) 医療者の態度 2) 診断学とは 3) 医療の不確実性 4) 患者医師関係	【準備学習項目】 1. 医療者としてふさわしい態度について説明できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 1. 期待される医師の態度を説明できる。 2. 口腔診断学と歯科総合診療学を説明できる。 3. 総合診療学の歯科臨床における役割を説明できる。 < B-1-1) ~ 4)/ 必 -2-B >	伊藤孝訓
4月11日(木) 13:00～14:30	臨床判断学(1) 1) 臨床(診断)推論 2) 診断プロセス 3) 医学判断学	【準備学習項目】 1. 基本的な問題解決法について説明できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 1. 臨床情報には不確実性要素を含み、不確実性下で臨床判断を行うことを説明できる。 2. 基本的な診断論理を説明できる。 3. 意思決定の方法について説明できる。 4. 診断プロセス(診断情報の収集・分析・決定)について列挙し説明できる。 5. 医学判断学について説明できる。 < B-1-1) ~ 4)/ 必 -12-A, 必 -12-B >	伊藤孝訓
4月18日(木) 13:00～14:30	臨床判断学(2) 1) EBM 2) 決断分析の実際	【準備学習項目】 1. 診断について説明できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 1. 診断テストを使うことができる。 2. EBMの概念を説明できる。 3. 臨床判断分析の手順を説明できる。 4. Decision tree による実際例を説明できる。 5. NBMの概念を説明できる。 < B-1-4), C-4-1)/ 必 -12-A, 必 -12-B >	内田貴之



日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月25日(木) 13:00 ~ 14:30	医師の心理 1) 誤診 2) 医療過誤最小化	【準備学習項目】 1. 医療過誤について説明できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 1. 経験則による判断に内在する問題やバイアスを説明できる。 2. 臨床判断時の誤診を導く心理特性について説明できる。 3. 診断プロセスの各ステップに起こるバイアスを説明できる。 4. ヒューマンエラーについて説明できる。 5. 歯科の医療過誤訴訟の特性について説明できる。 6. クリティカルパスについて説明できる。 < A-5-2/ 必-4-B, 必-4-D >	伊藤孝訓
5月9日(木) 13:00 ~ 14:30	患者の心理 1) 歯科患者の特異性 2) 心理的配慮	【準備学習項目】 1. 歯科患者の心理状態について説明できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 1. 歯科患者の特異的な心理状況について説明できる。 2. 患者対応時の注意点を列挙できる。 3. 患者の望む治療者(歯科医師)の人間像を説明できる。 < B-2-2/ 必-2-B, 必-10-I >	多田充裕
5月16日(木) 13:00 ~ 14:30	医療面接(1) 1) コミュニケーションの目的・意味 2) コンテキスト 3) メタメッセージ	【準備学習項目】 1. 一般的なコミュニケーションの基礎について説明できる。 【講義】 1. 医療コミュニケーションの目的・意味を列挙し説明できる。 2. 会話の含意(伝えたい内容や意味)の重要性が説明できる。 3. コンテキストを説明できる。 4. メタメッセージを説明できる。 < A-7-1) ~ 2), E-1-1), F-1/ 必-8-B, 必-10-A >	大山 篤
5月23日(木) 13:00 ~ 14:30	医療面接(2) 1) 医療面接の意義・目的 2) 会話のマナー 3) コミュニケーションの進め方 4) 感情面への対応	【準備学習項目】 1. 医療現場での面接の大切さを説明できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 1. 医療面接の意義・目的を列挙し説明できる。 2. 医療面接の4要素(尋ねる, 聴く, 答える, 観察する)について説明できる。 3. コミュニケーションスキルを列挙し説明できる。 4. 非言語的コミュニケーションを説明できる。 5. 基本的な医療者の態度について説明できる。 < A-7-1) ~ 2), E-1-1), F-1/ 必-8-B, 必-10-A >	青木伸一郎
5月30日(木) 13:00 ~ 14:30	平常試験1		伊藤孝訓 多田充裕
6月6日(木) 13:00 ~ 14:30	医療面接(3) 1) OSCE 2) 患者からの情報収集 3) 患者-歯科医師コミュニケーション 4) 患者教育	【準備学習項目】 1. OSCE(試験)の意味を概説できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 1. 聴く態度の重要性について説明できる。 2. 患者とのよいラポールを確立するための方法を説明できる。 3. 患者教育のためのコーチングスキルを説明できる。 4. OSCE(試験)の実施の仕方を概説できる。 < A-7-1) ~ 2), E-1-1), F-1/ 必-8-B, 必-10-A >	青木伸一郎
6月13日(木) 13:00 ~ 14:30	医療面接(4) 1) ロールプレイ 2) 会話分析(トランスクリプト)	【準備学習項目】 1. 医療におけるコミュニケーションの重要性について説明できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 1. ロールプレイの目的や方法を説明できる。 2. 信頼関係を確立するための医療面接スキルを説明できる。 3. トランスクリプトの目的や方法を説明できる。 < A-7-1) ~ 2), E-1-1), F-1/ 必-8-B, 必-10-A >	青木伸一郎

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月20日(木) 13:00 ~ 14:30	診療録(1) 1) 診療録の構成 2) 現症(全身的所見) 3) 現症(口腔内・外所見) 4) 口腔内診査 5) 患者背景(生活習慣・社会歴) 6) 主訴 7) 現病歴 8) 既往歴(医科的・歯科的) 9) 家族歴	【準備学習項目】 1. 診療録に記載する内容について説明できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 1. 診療録の構成を列挙できる。 2. 現症の基本的な記載について説明できる。 3. 口腔内診査の項目を列挙できる。 4. 患者背景の重要性を説明できる。 5. 主訴の定義と歯科特有の主訴を列挙できる。 6. 現病歴の基本的な記載について説明できる。 7. 医科的・歯科的既往歴の重要性を説明できる。 8. 家族歴の重要性を説明できる。 < F-1-1)/ 必-5-A, 必-8-C, 必-10-B >	岡本康裕
6月27日(木) 13:00 ~ 14:30	診療録(2) 1) POS 2) POMR 3) SOAP	【準備学習項目】 1. 問題指向型診療録(POMR)について説明できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 1. POSについて解説できる。 2. POMRの記載項目を挙げて各々について説明できる。 3. SOAPの記載項目を挙げて各々について説明できる。 4. 診断思考に基づいた問診(病歴聴取)を説明できる。 < F-1-1)/ 必-5-A,B >	岡本康裕
7月4日(木) 13:00 ~ 14:30	診 察 1) 口腔内診査 2) 診査所見 3) 理学的診査と病態	【準備学習項目】 1. 歯科疾患の診断に必要な口腔内診査について説明できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 1. 口腔の特異性と口腔病変に対する基本的な考え方を説明できる。 2. 口腔内診査の特性について説明できる。 3. 口腔内診査に用いる基本的な診査法の術式を説明し、各評価基準を列挙できる。 4. 診査所見と病態の関連が説明できる。 歯の実質欠損 擦過診 温度診 電気診 水平・垂直打診 動揺度 ポケット測定 < F-1-1)/ 必-10-B,C,F,G,H >	岡本康裕
7月11日(木) 13:00 ~ 14:30	症候学(1) 1) 歯の症候 2) 歯髄の症候 3) 根尖歯周組織の症候 4) 辺縁歯周組織の症候 5) 口腔粘膜の症候 6) 口腔の感覚異常(知覚・味覚)	【準備学習項目】 1. 齲蝕、歯髄疾患および歯周疾患について説明できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 1. 齲蝕の症状、診査所見、病態を関連づけることができる。 2. 歯髄疾患の症状、診査所見、病態を関連づけることができる。 3. 根尖性歯周炎の症状、診査所見、病態を関連づけることができる。 4. 辺縁性歯周炎の症状、診査所見、病態を関連づけることができる。 5. 口腔粘膜疾患の症状、診査所見、病態を関連づけることができる。 6. 口腔の感覚異常の診査所見、病態を関連づけることができる。 < F-2-4)-(4),F-3-3)-(1) ~ (4)/ 必-9-B, 必-11-D >	遠藤弘康
7月18日(木) 13:00 ~ 14:30	症候学(2) 身体的な歯科臨床推論	【準備学習項目】 1. 歯科疾患の症状、診査所見、病態を説明できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 1. 歯科診断における思考過程について説明できる。 2. 症状、診査所見から診断名を推論できる。 < D-4-6),F-2-4)-(3),F-4-5)/ 必-9-B, >	多田充裕
9月12日(木) 13:00 ~ 14:30	平常試験2		伊藤孝訓 多田充裕

# 高齢者歯科学

4 年次 前学期	授業科目責任者：川良 美佐雄（顎口腔機能治療学）
学習の目標（GIO）	わが国における高齢化率は、2013 年（平成 25 年）には対全人口比で 65 歳以上が 25.1%，2035 年（平成 47 年）には 33.4%になると予測されている。このような超高齢社会において歯科医学、歯科医療の担う比重は大きい。高齢者にとって食べられるということは、QOL の最上位に位置すると言って過言ではなく、口腔保健の良否が生活を左右する。また、目標とされる健康長寿社会への貢献については関連分野との連携が重要である。したがって、顎口腔系に加齢変化および歯科的対応はもとより、高齢者をとりまく社会経済的環境、保健福祉制度をはじめとして、慢性疾患、薬物動態、全身管理についても理解を深めておかなければならない。 GIO：健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。
授業担当者	川良美佐雄（顎口腔機能治療学）、那須郁夫（地域保健学）、坂巻達夫（内科学）、大口純人（内科学）、山根潤一（薬理学）、渋谷 鑣（歯科麻酔学）、大峰浩隆（顎顔面矯正学）、竹蓋道子（衛生士専門学校）、野本たかと（障害者歯科学）、菊谷 武（日本歯科大学附属病院・口腔介護-リハビリテーションセンター）齋藤孝親（医療情報学）、飯田 崇（顎口腔機能治療学）、平野浩彦（有床義歯補綴学・東京都健康長寿医療センター研究所、黒木俊一（顎口腔機能治療学）
教科書	特に指定するものはない。
参考図書	高齢者歯科ガイドブック：植松 宏、稲葉 繁、渡辺 誠 編集、医歯薬出版 高齢者歯科医療マニュアル：上田 裕 監修、永末書店 有病高齢者歯科治療のガイドライン：西田百代 著、クインテッセンス出版 高齢者歯科学：渡辺 誠 監修、永末書店 新老年学（第 2 版）：折茂 肇 編集代表、東京大学出版会
実習器材	特になし
評価方法（EV）	第 1 回平常試験（30%）試験範囲：第 1 回～第 7 回講義 第 2 回平常試験（70%）試験範囲：第 1 回～第 14 回講義で評価します。 特定の講義や課題に偏ることはない。 問題形式は多肢選択問題および記述問題の混合形式とします。
学生へのメッセージ オフィスアワー	毎回の講義のポイントをおさえるようにしましょう。 すでに超高齢社会（21%以上）となったいま、高齢者歯科学の基礎を学び、しっかりと対応してゆこう。 医科、看護、介護、社会福祉といった関連領域では歯科に対する期待も大きい。協働に備えよう。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略（SBOs）(LS)・準備学習（予習）内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4 月 2 日（火） 9:00 ~ 10:30	高齢社会の現状 加齢に伴う歯、顎、口腔の変化	【準備学習項目】 ・日本の人口動態を説明できる。 ・老化の機序を説明できる。 ・加齢に伴う歯、顎、口腔の変化を説明できる。 【講義】 ・人口統計学の立場から見たわが国の少子化、高齢化の伸長を知り、将来の人口動態を推論できる。 ・老化の機序を説明できる。 ・加齢に伴う歯、顎、口腔の生理的、機能的変化を説明できる。 ・老化の身体的、精神的、心理的特徴を説明できる。 ・高齢者の栄養ケア・マネジメントについて説明できる。 F-4-3)- 必 -7-C-a ~ k, 必 -7-D-ab 総 - -1-H,I, 総 - -6-A,B, 総 - -12-ABC, 総 - -5-A ~ J 各 - -( )-1- C	川良美佐雄
4 月 9 日（火） 9:00 ~ 10:30	高齢者の保健・医療・福祉	【準備学習項目】 ・高齢者に関連する保健、社会福祉制度を説明できる。 【講義】 ・わが国の高齢者に関する、保健、医療、福祉制度とその連携について説明できる。 ・老人保健法の枠組みにおける、老人医療と保健事業のあり方を知り、歯科医師の役割を説明できる。 ・新しい社会保障制度としての公的介護保険制度について概略を述べ、歯科医療との関わりについて説明できる。 C -2-2)- ~ 必 -3- G -abc、必 -16- B -a ~ e 総 - -3- A ~ H、総 - -4- H 総 - -6-A ~ G	那須郁夫 川良美佐雄

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月16日(火) 9:00 ~ 10:30	高齢者医療の特徴	<b>【準備学習項目】</b> ・高齢者で頻度の高い疾患を挙げることができる。 <b>【講義】</b> ・高齢者の生理的・機能的変化について説明できる。 ・高齢者医療の特徴を説明できる。 ・高齢者で頻度の高い全身疾患について説明できる。 ・胃瘻について説明できる。 D-2-4)- F-4-3)- 必-9- A -a、 総- -6- A ~ G	坂巻達夫 川良美佐雄
4月23日(火) 9:00 ~ 10:30	高齢者の慢性疾患と歯科の対応	<b>【準備学習項目】</b> ・高齢者が罹患しやすい慢性疾患を挙げ、歯科診療時の注意点を説明できる。 <b>【講義】</b> ・高齢者歯科治療に際し、配慮すべき慢性疾患を挙げ、説明できる。 ・上記疾患に対する歯科診療での注意点を説明できる。 ・糖尿病を説明できる。 ・動脈硬化を説明できる。 F-1-3)-(1)-、F-4-3)- 必-15-AB-b、総- -2- L	大口純人 川良美佐雄
5月7日(火) 9:00 ~ 10:30	高齢者歯科と薬物	<b>【準備学習項目】</b> ・高齢者における薬物の体内動態について説明できる。 <b>【講義】</b> ・高齢者における薬物の体内動態について説明できる。 ・高齢者の薬物投与の原則を説明できる。 ・投薬の実際について説明できる。 F-4-3)-、F-4-3)-(1)- 必-15-Z-a ~ i	山根潤一 川良美佐雄
5月14日(火) 9:00 ~ 10:30	高齢者歯科診療における全身管理	<b>【準備学習項目】</b> ・高齢者歯科診療における全身管理の要点を説明できる。 <b>【講義】</b> ・高齢者歯科診療でのモニタリングを説明できる。 ・循環器疾患患者での術前評価と注意点を説明できる。 ・脳血管障害患者での術前評価と注意点を説明できる。 F-1-3)-(1)- ~、F-4-3)- 必-15-J-a,b,c	渋谷鑛 川良美佐雄
5月21日(火) 9:00 ~ 10:30	高齢者の心理と精神機能障害	<b>【準備学習項目】</b> ・認知症の分類とそれぞれの特徴を説明できる。 <b>【講義】</b> ・高齢者の心理状態、および「ぼけ」について説明できる。 ・認知症の分類とそれぞれの特徴を説明できる。 ・症状改善の方略について説明できる。 F-4-3)- 必-15- A B - b、総- -7- A ~ E、総- -5- B、	大峰浩隆 川良美佐雄
5月28日(火) 9:00 ~ 10:30	第1回平常試験	自学自習および9:40 ~ 10:30 平常試験 試験範囲：第1回 ~ 第7回講義	黒木俊一 川良美佐雄
6月4日(火) 9:00 ~ 10:30	高齢者におけるオーラルヘルスケア	<b>【準備学習項目】</b> ・高齢者における口腔ケアの重要性を説明できる。 <b>【講義】</b> ・高齢者における口腔ケアの重要性を説明できる。 ・高齢者歯科診療での歯科医師と歯科衛生士の連携について説明できる。 ・高齢者の口腔清掃指導について説明できる。 ・地域保健における歯科衛生士の役割を説明できる。 C-3-2)- F -1-6)-(2)-、F-4-3)- 必-15-AA-a,b、必-16-ABCDE 総- -6- D E	竹蓋道子 川良美佐雄

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月11日(火) 9:00 ~ 10:30	高齢者の摂食嚥下障害とリハビリテーション	<b>【準備学習項目】</b> ・高齢者の摂食嚥下障害を説明できる。 ・摂食嚥下リハビリテーションを説明できる。 <b>【講義】</b> ・機能の減退に伴う摂食、嚥下障害の機序について説明できる。 ・摂食、嚥下障害と歯科領域の関連について説明できる。 ・摂食、嚥下障害のリハビリテーションについて説明できる。 C-2-2)- F-2-4)-(8)-、F-4-3)- 国試: 必-15-AA-a,b、必-9-A-a、必-9-C-k	野本たかと 川良美佐雄
6月18日(火) 9:00 ~ 10:30	高齢者の口腔介護・リハビリテーション	<b>【準備学習項目】</b> ・高齢者の摂食嚥下障害を説明できる。 ・摂食嚥下リハビリテーションを説明できる。 <b>【講義】</b> ・口腔機能向上による介護予防について説明できる。 ・摂食・嚥下リハビリテーションの実際を説明できる。 C-2-2)- F-2-4)-(8)-、F-4-3)- 国試: 必-15-AA-a,b、必-9-A-a、必-9-C-k	菊谷武 川良美佐雄
6月25日(火) 9:00 ~ 10:30	要介護高齢者と歯科	<b>【準備学習項目】</b> ・介護施設を説明できる。 ・介護施設での口腔保健を説明できる。 <b>【講義】</b> ・特別養護老人施設について説明できる。 ・施設における高齢者の口腔ケアについて説明できる。 ・高齢者と介護者の関わりについて説明できる。 ・要介護高齢者の食事の実際について説明できる。 ・高齢患者とのコミュニケーション技法を説明できる。 B-2-1)- C-2-2)- F-4-3)- 必-15-D-c,d、必-16-B-c 総-3-A~H、総-5-F	齊藤孝親 川良美佐雄
7月2日(火) 9:00 ~ 10:30	在宅歯科医療	<b>【準備学習項目】</b> ・在宅歯科医療にかかわる社会保障制度を説明できる。 ・在宅歯科医療における注意点を説明できる。 <b>【講義】</b> ・在宅歯科医療にかかわる社会保障制度を説明できる。 ・在宅歯科診療の実際を説明できる。 ・在宅歯科診療での注意点について説明できる。 A-3- F-4-3)-、 必-15-D-c,d 総-4-H、総-2-L、	飯田崇 川良美佐雄
7月9日(火) 9:00 ~ 10:30	高齢者歯科治療の実際	<b>【準備学習項目】</b> ・有病高齢者の歯科治療時の注意点を説明できる。 <b>【講義】</b> ・有病高齢者の歯科治療時の注意点を説明できる。 ・医科との連携について説明できる。 ・入院治療の実際について説明できる。 ・高齢者の生活環境と口腔実態の関わりについて説明できる。 F-4-3)- 総-5-A~I、総-2-L、	平野浩彦 川良美佐雄
7月16日(火) 9:00 ~ 10:30	高齢者と臨床検査医学	<b>【準備学習項目】</b> ・臨床検査データから全身状態を説明できる。 <b>【講義】</b> ・高齢者における罹患頻度の高い慢性疾患を説明できる。 ・臨床検査データから全身状況を説明できる。 ・医師との連携が円滑に行える。 ・全身状態に応じた歯科治療を選択できる。 A-3- F-4-3)- 必-9-A、必-11-ABC、必-12-C	黒木俊一 川良美佐雄
9月10日(火) 9:00 ~ 10:30	第2回平常試験	自学自習および9:40 ~ 10:30 平常試験 試験範囲: 第1回 ~ 第14回講義	黒木俊一 川良美佐雄

# 歯科矯正学

4 年次 前学期

授業科目責任者：葛西 一貴（歯科矯正学）

<p>学習の目標 (GIO)</p>	<p>歯科矯正学とは、歯、顎ならびに顔の正常な成長発育を研究し、それら諸構造の不正な成長発育から引き起こされる不正咬合や上下顎骨の異常な咬合関係を改善し、口腔の正しい機能を営ましめ、同時に顔貌の改善をはかり個人の福祉に寄与し、さらに不正状態の発生を予防するための研究と技術とを含めた歯科医学の一分科である。実際に歯科矯正治療を行うにあたっては、不正咬合がもたらす口腔機能障害や心理的障害を除去し、咬合を正常またはそれに近い状態に治すことである。</p> <p>授業内容は、総論として、歯科矯正学の歴史と定義、矯正治療の目的、成長発育概論、頭部の成長発育、歯列と咬合の発育、口腔機能の発育、咬合についての概論、正常咬合、不正咬合、診断法、不正咬合の原因および予防などである。また、診断学として診断学概論、診査、形態的・機能的検査、診断。さらに矯正治療における抜歯問題などを学ぶ。治療学として治療学概論、矯正力、矯正治療に伴う生体反応、固定、矯正治療用材料と器械器具、矯正装置、不正咬合の治療および保定などがある。</p> <p>不正咬合の治療としては、乳歯咬合期、混合歯咬合期および永久歯咬合期における治療を基本とし、それに加えて唇顎口蓋裂などに伴う治療、他科との共同による治療（外科的矯正法）、筋機能療法を学ぶ。</p> <p>矯正治療は一般歯科治療と比べると治療期間が2年から3年と比較的長い。顎骨の発育異常を伴う成長期の患者さんでは、顎の成長コントロールに更に期間を要することになり、矯正医の管理下に置かれる期間が長期にわたり、患者さんの負担も決して少なくない。矯正医はここで学んだ基礎知識と技術を駆使して患者さんの治療にあたっている。講義ではたくさんの矯正治療症例を紹介するので、矯正治療に対する興味を持って頂きたい。</p> <p>また、歯科矯正学実習の目標は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 種々の矯正装置（舌側弧線装置、上顎前方牽引装置）の基本的製作法を修得すると共にそれらの作用機序を学ぶ。</li> <li>2. 頭部エックス線規格写真および口腔模型の基本的分析法を修得する。</li> </ol>
<p>授業担当者</p>	<p>（講義）葛西一貴，今村隆一，山口 大，小野修一，五関たけみ，榎本 豊，齋藤勝彦 （実習）葛西一貴，齋藤勝彦，今村隆一，山口 大，小野修一，五関たけみ，榎本 豊，弘松美紀，根岸慎一，徳永理利，小堀理恵，栃木歌子，石井かおり，石岡 亮，清水真美，鈴木園子，船越麻理，山田邦彦，江間秀明，白鳥裕一，磯貝奈々，日上 繭，井波俊博，西尾泉美，石川可奈子，菊田 純，汐見芽梨，平井利永子，山崎綾子，安倍志織，上田真之，大谷國喜，岡野修一郎，柴田かおり，村上嘉規，吉田みづき</p>
<p>教科書</p>	<p>（講義）歯科矯正学 第5版（医歯薬出版） （実習）実習テキスト</p>
<p>参考図書</p>	<p>（講義）混合歯列期の矯正歯科治療（医歯薬出版） プロフィットの現代歯科矯正学（作田守監訳、クインテッセンス出版）</p>
<p>実習器材</p>	<p>（講義）なし （実習）ワックスフォーム、人工歯、STロック、普通石膏</p>
<p>評価方法 (EV)</p>	<p>（講義）平常試験（4回実施）で評価する。 （実習）実習小テストと実習評価によって評価点とする。実習態度も実習評価に加味する。 歯科矯正学の評価は講義の評価および実習評価の合計で行う。 なお、講義・実習それぞれ1/5以上を欠席した場合、評価点は0 - 60点とする。また、講義・実習のいずれかが合格点に達しない場合、歯科矯正学の評価点は60点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。</p>
<p>学生への メッセージ オフィスアワー</p>	<p>（講義）近年不正咬合が増加しているといわれているが、その原因と診断について楽しみながら学んでいただきたい。また、ダイナミックな歯の移動により得られたきれいな咬み合わせや顔貌の改善の様子などをみて、矯正学への興味を深めていただきたい。e-mailによる質問を受け付ける。 （実習）不正咬合の治療がどのような装置によって行われるか。また、歯がどのように動くのかを実習を通じて理解してほしい。e-mailによる質問を受け付ける。</p>

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月1日(月) 10:40 ~ 12:10	【講義】第1回 ・歯科矯正学の歩みと定義 ・歯科矯正学の意義と目的 ・成長発育概論	【準備学習項目】 ・歯科矯正学の歴史について述べるができる。 ・歯科矯正学の定義について説明できる。 ・上顎および下顎の成長発育についてその特徴を列挙できる。  【講義】 302教室  【学習内容】 ・不正咬合による口腔機能障害を列挙できる。 ・矯正治療の目的を述べるができる。 ・成長発育と年齢(暦齢、生理的年齢)との関係を説明できる。 ・HarrisとScammonの成長発育パターンについて述べるができる。 ・骨の成長様式を説明できる。 ・成長発育の評価法および臨床上の利用意義を説明できる。  < C-2-4)- , E-2-1)- , E-2-3)- > < 必 7-A, 総 6-G >	葛西一貴
4月1日(月) 13:00 ~ 14:30	【講義】第2回 ・頭蓋の成長発育 ・顎顔面の成長発育 ・口唇裂、口蓋裂および顔面裂	【準備学習項目】 ・頭蓋の成長発育についてその特徴を列挙できる。 ・上顎および下顎の成長発育についてその特徴を列挙できる。  【講義】 302教室  【学習内容】 ・脳頭蓋と脳頭蓋底の成長発育様式について述べるができる。 ・顔の成長発育および口唇裂の発生様式について説明できる。 ・顔面裂の発生様式について説明できる。  < C-2-4)- , E-2-1)- , E-2-3)- , E-2-4)-(1)- > < 必 7-B, 必 14-B, 総 -3-ABHI, 総 -4-ABC, 総 -11-A >	葛西一貴
4月1日(月) 14:40 ~ 16:10	(実習)第1回 ・器具貸与,点検	【準備学習項目】 ・矯正用ブライヤ の名称を列挙できる。  【実習】 第5実習室  【学習内容】 ・矯正実習で使用する器具の用途について説明できる。  < E-4-1)- > < 総 I-15 >	葛西一貴 山口大 小野修一 榎本豊 根岸慎一 小堀理恵 栃木歌子  齋藤勝彦 今村隆一 五関たけみ 弘松美紀 徳永理利 石井かおり

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月8日(月) 10:40 ~ 12:10	<b>【講義】第3回</b> ・咬合概論 ・正常咬合 ・不正咬合 ・不正咬合のとらえ方 ・不正咬合の分類	<b>【準備学習項目】</b> ・咬合の定義および顎位と咬合について説明できる。 ・咬合と顎運動について、関連する筋の主な名称や作用および閉鎖経路について説明できる。 ・Angleの分類および高橋分類などの不正咬合の診断について説明できる。  <b>【講義】</b> 302教室  <b>【学習内容】</b> ・正常咬合の種類および矯正治療目標について説明できる。 ・正常咬合が成立し、かつそれが保持されるための条件を述べるができる。 ・永久歯列期の正常咬合の概念について説明できる。 ・不正咬合の病因、実態およびその疫学的特長を列挙できる。 ・個々の歯の位置異常およびその用語について説明できる。 ・上下歯列弓の咬合関係の異常について、先天異常も含めて説明できる。  < C-2-4)- , E-2-1)- , E-2-2)- , E-2-3)- , E-4-1)- > < 必 6-B, 必 7 -AB, 必 14-B, 各 -( )-1 >	葛西一貴
4月8日(月) 13:00 ~ 14:30	<b>【講義】第4回</b> ・矯正用材料 ・矯正用器械・器具	<b>【準備学習項目】</b> ・矯正用器材を列挙できる。  <b>【講義】</b> 302教室  <b>【学習内容】</b> ・矯正用材料としての金属材料にどのようなものがあるか、またゴム質ならびにレジン材料の所要性質を述べることができる。 ・矯正用器材の特徴について説明できる。  < D-1- > < 総 XI-1,15 >	榎本豊
4月8日(月) 14:40 ~ 16:10	<b>(実習前講義)第1回</b> ・舌側弧線装置について  <b>(実習)第2回</b> ・舌側弧線装置 1	<b>実習前講義</b> <b>【準備学習項目】</b> ・舌側弧線装置の基本構造を説明できる。  <b>【講義】</b> 302教室  <b>【学習内容】</b> ・舌側弧線装置の構成・適応症・歯の移動様式を説明できる。  <b>実習</b> <b>【準備学習項目】</b> ・舌側弧線装置の基本構造を説明できる。  <b>【実習】</b> 第5実習室  <b>【学習内容】</b> ・0.9mm線の屈曲ができる。 ・自在鑑着ができる。  < E-4-1)- > < 各 -( )-4-L >	齋藤勝彦 山口大 小野修一 榎本豊 根岸慎一 小堀理恵 栃木歌子  葛西一貴 今村隆一 五関たけみ 弘松美紀 徳永理利 石井かおり



日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月15日(月) 10:40 ~ 12:10	〔講義〕第5回 ・不正咬合の原因 ・不正咬合の予防	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不良習癖がもたらす咬合異常について説明できる。</li> <li>・乳歯列期における不正咬合の予防について説明できる。</li> </ul> <p>【講義】 302教室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不正咬合の遺伝的原因および環境的原因を説明できる。</li> <li>・不正咬合の全身的原因および局所的原因と不正咬合との関連を述べることができる。</li> <li>・乳歯列期、混合歯列期および永久歯列期それぞれの時期における不正咬合の予防について説明できる。</li> </ul> <p>&lt; C-2-4)- , E-2-3)- , E-4-1)- &gt; &lt; 総 -I,O,L, 各 -3, 各 -( )-5, 各 -( )-1 &gt;</p>	葛西一貴
4月15日(月) 13:00 ~ 14:30	(実習)第3回 ・舌側弧線装置2	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・舌側弧線装置の基本構造を説明できる。</li> </ul> <p>【実習】 第5実習室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイポドント(矯正用咬合器)に人工歯を配列して装置製作の準備ができる。</li> </ul> <p>&lt; E-4-1)- &gt; &lt; 各 -( )-4 &gt;</p>	葛西一貴 山口大 小野修一 榎本豊 根岸慎一 小堀理恵 栃木歌子 齋藤勝彦 今村隆一 五関たけみ 弘松美紀 徳永理利 石井かおり
4月15日(月) 14:40 ~ 16:10	(実習)第4回 ・舌側弧線装置3	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・舌側弧線装置の基本構造を説明できる。</li> </ul> <p>【実習】 第5実習室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイポドント上で上顎第一大臼歯のバンドの調整ができる。</li> <li>・矯正用バンドにSTロックを鑑着できる。</li> </ul> <p>&lt; E-4-1)-6 &gt; &lt; 各 -( )-4-L &gt;</p>	葛西一貴 山口大 小野修一 榎本豊 根岸慎一 小堀理恵 栃木歌子 齋藤勝彦 今村隆一 五関たけみ 弘松美紀 徳永理利 石井かおり
4月22日(月) 10:40 ~ 12:10	(実習)第5回 ・舌側弧線装置4	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・舌側弧線装置の基本構造を説明できる。</li> </ul> <p>【実習】 第5実習室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上顎舌側弧線装置のための作業模型を製作できる。</li> </ul> <p>&lt; E-4-1)-6 &gt; &lt; 各 -( )-4-L &gt;</p>	葛西一貴 山口大 小野修一 榎本豊 根岸慎一 小堀理恵 栃木歌子 齋藤勝彦 今村隆一 五関たけみ 弘松美紀 徳永理利 石井かおり
4月22日(月) 13:00 ~ 14:30	(実習)第6回 ・舌側弧線装置5	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・舌側弧線装置の基本構造を説明できる。</li> </ul> <p>【実習】 第5実習室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上顎舌側弧線装置の主線の屈曲ができる。</li> </ul> <p>&lt; E-4-1)-6 &gt; &lt; 各 -( )-4-L &gt;</p>	葛西一貴 山口大 小野修一 榎本豊 根岸慎一 小堀理恵 栃木歌子 齋藤勝彦 今村隆一 五関たけみ 弘松美紀 徳永理利 石井かおり

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月22日(月) 14:40 ~ 16:10	(実習)第7回 ・舌側弧線装置6	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>舌側弧線装置の基本構造を説明できる。</li> </ul> <p>【実習】</p> <p>第5実習室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上顎舌側弧線装置の主線の屈曲ができる。</li> <li>上顎舌側弧線装置の主線の鑑着ができる。</li> <li>上顎舌側弧線装置の主線に補助弾線を自在鑑着できる。</li> </ul> <p>&lt; E-4-1)-6 &gt; &lt; 各 -( )-4-L &gt;</p>	<p>葛西一貴 山口大 小野修一 榎本豊 根岸慎一 小堀理恵 栃木歌子</p> <p>齋藤勝彦 今村隆一 五関たけみ 弘松美紀 徳永理利 石井かおり</p>
5月13日(月) 10:40 ~ 12:10	(講義)第6回 ・グループ学習 ・平常試験	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回から第5回までの講義内容を説明できる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>302教室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回から第5回までの講義内容について試験を行う。</li> </ul>	葛西一貴
5月13日(月) 13:00 ~ 14:30	(講義)第7回 ・形態検査1  (実習)第8回 ・舌側弧線装置7	<p>講義</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歯科矯正臨床における一般的診断項目について列挙できる。</li> <li>平行模型について説明できる。</li> <li>顎態模型について説明できる。</li> <li>セットアップモデルについて説明できる。</li> <li>頭部エックス線規格写真分析で用いる計測点を列挙できる。</li> <li>頭部エックス線規格写真分析に用いる分析法を列挙できる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>302教室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初診から治療終了までのプロセスを説明することができる。</li> <li>一般検査、全身検査および局所的検査の項目を列挙できる。</li> <li>顔面写真による顔面形態の検査について説明できる</li> <li>口腔模型分析について説明できる。</li> <li>頭部X線規格写真の特徴および重要性について説明できる。</li> <li>頭部X線規格写真分析の計測点および基準平面を説明できる。</li> </ul> <p>&lt; C-2-(4)-1, E-1-1)- ~ , E-1-2)- , E-2-3)- &gt; &lt; 必 9-B, 必 10-FG, 必 11-E, 必 14-B, 総 -2, 総 -2, 総 -1-B, 総 -1,2, 各 -( )-2 &gt;</p> <p>実習</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>舌側弧線装置の基本構造を説明できる。</li> </ul> <p>【実習】</p> <p>第5実習室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上顎舌側弧線装置に補助弾線を自在鑑着し、装置を完成できる。</li> </ul> <p>&lt; E-4-1)-6 &gt; &lt; 各 -( )-4-L &gt;</p>	<p>五関たけみ 齋藤勝彦 今村隆一 榎本豊 根岸慎一 小堀理恵 栃木歌子</p> <p>葛西一貴 山口大 小野修一 弘松美紀 徳永理利 石井かおり</p>

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月13日(月) 14:40 ~ 16:10	(実習)第9回 ・舌側弧線装置8	<b>【準備学習項目】</b> ・舌側弧線装置の作用機序を説明できる。  <b>【実習】</b> 第5実習室  <b>【学習内容】</b> ・ダンキングを行い、舌側弧線装置による反対咬合被蓋改善の過程を説明できる。 ・混合歯列期の反対咬合の治療法をタイボドントで実施できる。  < E-4-1)-6 > < 各 -( )-4-L >	葛西一貴 山口大 小野修一 榎本豊 根岸慎一 小堀理恵 栃木歌子  齋藤勝彦 今村隆一 五関たけみ 弘松美紀 徳永理利 石井かおり
5月20日(月) 10:40 ~ 12:10	(講義)第8回 ・形態検査2	<b>【準備学習項目】</b> ・歯科矯正臨床における一般的診断項目について列挙できる。 ・平行模型について説明できる。 ・顎態模型について説明できる。 ・セットアップモデルについて説明できる。 ・頭部エックス線規格写真分析で用いる計測点を列挙できる。 ・頭部エックス線規格写真分析に用いる分析法を列挙できる。  < C-2-(4)-1, E-1-1)- ~ , E-1-2)- , E-2-3)- > < 必 9-B, 必 10-FG, 必 11-E, 必 14-B, 総 -2, 総 -2, 総 -1-B, 総 -1,2, 各 -( )-2 >  <b>【講義】</b> 302教室  <b>【学習内容】</b> ・初診から治療終了までのプロセスを説明することができる。 ・一般検査、全身的検査および局所的検査の項目を列挙できる。 ・顔面写真による顔面形態の検査について説明できる ・口腔模型分析について説明できる。 ・頭部エックス線規格写真の特徴および重要性について説明できる。 ・頭部エックス線規格写真分析の計測点および基準平面を説明できる。	五関たけみ

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月20日(月) 13:00 ~ 14:30	〔講義〕第9回 ・形態検査3  (実習)第10回 ・模型分析および診断1	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科矯正臨床における一般的診断項目について列挙できる。</li> <li>・平行模型について説明できる。</li> <li>・顎態模型について説明できる。</li> <li>・セットアップモデルについて説明できる。</li> <li>・頭部エックス線規格写真分析で用いる計測点を列挙できる。</li> <li>・頭部エックス線規格写真分析に用いる分析法を列挙できる。</li> </ul> <p>【講義】 302教室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初診から治療終了までのプロセスを説明することができる。</li> <li>・一般検査、全身的検査および局所的検査の項目を列挙できる。</li> <li>・顔面写真による顔面形態の検査について説明できる。</li> <li>・口腔模型分析について説明できる。</li> <li>・頭部エックス線規格写真の特徴および重要性について説明できる。</li> <li>・頭部エックス線規格写真分析の計測点および基準平面を説明できる。</li> </ul> <p>&lt; C-2-(4)-1, E-1-1)- ~ , E-1-2)- , E-2-3)- &gt; &lt; 必 9-B, 必 10-FG, 必 11-E, 必 14-B, 総 -2, 総 -2, 総 -1-B, 総 -1,2, 各 -( )-2 &gt;</p> <p>実習</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平行模型について説明できる。</li> <li>・口腔模型計測項目を列挙できる。</li> </ul> <p>【実習】 第5実習室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・矯正治療の診断のための模型分析を説明できる。</li> </ul> <p>&lt; E-4-1)-4 &gt; &lt; 総 -1-E, 各 -( )-2 &gt;</p>	<p>五関たけみ 齋藤勝彦 今村隆一 榎本豊 根岸慎一 葛西理恵 栃木歌子</p> <p>葛西一貴 山口大 小野修一 弘松美紀 徳永理利 石井かおり</p>
5月20日(月) 14:40 ~ 16:10	(実習)第11回 ・模型分析および診断2	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平行模型について説明できる。</li> <li>・口腔模型計測項目を列挙できる。</li> </ul> <p>【実習】 第5実習室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・矯正治療の診断のための模型分析を説明できる。</li> </ul> <p>&lt; E-4-1)-4 &gt; &lt; 総 -1-E, 各 -( )-2 &gt;</p>	<p>葛西一貴 山口大 小野修一 榎本豊 根岸慎一 小堀理恵 栃木歌子</p> <p>齋藤勝彦 今村隆一 五関たけみ 弘松美紀 徳永理利 石井かおり</p>
5月27日(月) 10:40 ~ 12:10	〔講義〕第10回 ・機能検査	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・種々の機能検査法について列挙できる。</li> </ul> <p>【講義】 302教室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・顎運動の検査が矯正診断とどのようにかかわっているかについて述べるができる。</li> </ul> <p>&lt; C-2-(4)-1, E-1-1)- ~ , E-1-2)- , E-2-3)- &gt; &lt; 必 10-F, 必 11-DE, 総 -3, 総 -2, 総 -1-B, 総 -1, 各 -( )-2 &gt;</p>	齋藤勝彦

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月27日(月) 13:00～14:30	(実習)第12回 ・セファロ分析および診断1	<b>【準備学習項目】</b> ・頭部エックス線規格写真分析に用いる計測点を列挙できる。  <b>【実習】</b> 第5実習室  <b>【学習内容】</b> ・矯正治療の診断のためのセファロ分析を説明できる。  < E-2-1)- , E-4-1)- > < 総 -2-K, 各 -( )-2 >	葛西一貴 山口大 小野修一 榎本豊 根岸慎一 小堀理恵 栃木歌子  齋藤勝彦 今村隆一 五関たけみ 弘松美紀 徳永理利 石井かおり
5月27日(月) 14:40～16:10	(実習)第13回 ・セファロ分析および診断2	<b>【準備学習項目】</b> ・頭部エックス線規格写真分析に用いる計測点を列挙できる。  <b>【実習】</b> 第5実習室  <b>【学習内容】</b> ・矯正治療の診断のためのセファロ分析を説明できる。  < E-2-1)- , E-4-1)- > < 総 -2-K, 各 -( )-2 >	葛西一貴 山口大 小野修一 榎本豊 根岸慎一 小堀理恵 栃木歌子  齋藤勝彦 今村隆一 五関たけみ 弘松美紀 徳永理利 石井かおり
6月3日(月) 10:40～12:10	(講義)第11回 ・矯正力	<b>【準備学習項目】</b> ・器械的矯正力について説明できる。 ・歯の移動様式について述べるができる。  <b>【講義】</b> 302教室  <b>【学習内容】</b> ・機能的矯正力について説明できる。 ・顎整形力について説明できる。 ・傾斜移動と歯体移動について説明できる。  < E-3-1)- , E-4-1)- > < 各 -( )-3,4 >	山口大
6月3日(月) 13:00～14:30	(講義)第12回 ・矯正治療における抜歯1	<b>【準備学習項目】</b> ・矯正歯科治療のための抜歯の目的を説明できる。  <b>【講義】</b> 302教室  <b>【学習内容】</b> ・矯正歯科治療における抜歯の歴史について説明できる。 ・矯正歯科治療における抜歯の意義について説明できる。 ・矯正歯科治療における抜歯の部位と数について説明できる。  < E-3-1)- , E-4-1)- > < 総 -1, 各 -( )-2 >	山口大
6月3日(月) 14:40～16:10	(講義)第13回 ・矯正歯科治療における抜歯2	<b>【準備学習項目】</b> ・矯正歯科治療のための抜歯の目的を説明できる。  <b>【講義】</b> 302教室  <b>【学習内容】</b> ・矯正歯科治療における抜歯の意義について説明できる。 ・矯正歯科治療における抜歯の部位と数について説明できる。  < E-3-1)- , E-4-1)- > < 総 -1, 各 -( )-2 >	山口大
6月10日(月) 10:40～12:10	(講義)第14回 ・グループ学習 ・平常試験	<b>【準備学習項目】</b> ・第7回から第11回までの講義内容を説明できる。  <b>【講義】</b> 302教室  <b>【学習内容】</b> ・第7回から第11回までの講義内容について試験を行う。	葛西一貴

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月10日(月) 13:00 ~ 14:30	〔講義〕第15回 ・矯正歯科治療における固定	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・固定の意義を説明できる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>302 教室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・固定の種類 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 部位による分類を説明できる。</li> <li>2) 抵抗の性質による分類を説明できる。</li> <li>3) 抜歯症例における抜歯空隙利用のための固定の分類について説明できる。</li> </ol> </li> </ul> <p>&lt; E-3-1)- , E-4-1)- &gt; &lt; 各 -( )-3,4 &gt;</p>	山口大
6月10日(月) 14:40 ~ 16:10	自学自習	<p>各自、自学自習を行う。</p> <p>【講義】</p> <p>302 教室</p>	葛西一貴
6月17日(月) 10:40 ~ 12:10	〔講義〕第16回 ・矯正歯科治療に伴う生体反応	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯および歯周組織の構造を説明できる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>302 教室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯の移動に伴う圧迫側と牽引側の組織変化の特徴を説明できる。</li> </ul> <p>&lt; E-3-1)- , E-4-1)- &gt; &lt; 総 -3-HIJ, 各 -( )-3,4 &gt;</p>	山口大
6月17日(月) 13:00 ~ 14:30	〔講義〕第17回 ・治療学概論 ・治療計画の立案 ・乳歯列期 ・混合歯列期の治療1	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予防矯正、抑制矯正、限局矯正、本格矯正について説明できる。</li> <li>・各種不正咬合についてその特徴を列挙できる。</li> <li>・混合歯列期に生じる不正咬合を列挙できる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>302 教室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検査および症例分析の結果を総合評価できる。</li> <li>・矯正治療の開始時期と流れについて説明できる。</li> <li>・乳歯列期における治療について説明できる。</li> <li>・乳歯列期の治療についてその概略を述べることができる。</li> <li>・混合歯列期の正中離開、前歯部叢生に対する対処法を説明できる。</li> </ul> <p>&lt; E-2-3)- , E-4-1)- , E-4-2)-(10)- &gt; &lt; 必 11-A, 必 15-A, 総 -1, 各 -3-D, 各 -( )-5, 各 -( )-2,4,5 &gt;</p>	榎本豊
6月17日(月) 14:40 ~ 16:10	自学自習	<p>各自、自学自習を行う。</p> <p>【講義】</p> <p>302 教室</p>	葛西一貴

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者	
6月24日(月) 10:40 ~ 12:10	〔講義〕第18回 ・乳歯列期 ・混合歯列期の治療2	<p>【準備学習項目】 ・機能的矯正装置の種類および作用効果について述べる事ができる。</p> <p>【講義】 302教室</p> <p>【学習内容】 乳歯列および混合歯列期の治療に用いる矯正装置について述べる事ができる。 1) 古側弧線装置の構造および適応症について説明できる。 2) 顎外固定装置としてのヘッドギア、チンキャップおよび上顎前方牽引装置の使用目的および作用効果について説明できる。 3) 床矯正装置の種類および使用目的について説明できる。 4) Slow expansion と Rapid expansion の作用効果について述べる事ができる。</p> <p>&lt; E-2-3)- , E-4-1)- , E-4-2)-(10)- &gt; &lt; 総 -1, 各 -3-D, 各 -( )-5, 各 -( )-2,4,5 &gt;</p>	榎本豊	
6月24日(月) 13:00 ~ 14:30	(実習前講義)第2回 ・上顎前方牽引装置について  (実習)第14回 ・上顎前方牽引装置1	<p>実習前講義</p> <p>【準備学習項目】 ・上顎前方牽引装置の基本構造について説明できる。</p> <p>【講義】 302教室</p> <p>【学習内容】 ・上顎前方牽引装置の使用目的および装置の構成を説明できる。 ・上顎前方牽引装置の製作法を説明できる。</p> <p>実習</p> <p>【準備学習項目】 ・上顎前方牽引装置の基本構造について説明できる。</p> <p>【実習】 第5実習室</p> <p>【学習内容】 ・上顎前方牽引装置の使用目的および装置の構成を説明できる。 ・タイポドント上で上顎第一大臼歯のバンドの調整ができる。</p> <p>&lt; E-4-1)- &gt; &lt; 各 -( )-4 &gt;</p>	葛西一貴 山口大 小野修一 榎本豊 根岸慎一 小堀理恵 栃木歌子	齋藤勝彦 今村隆一 五関たけみ 弘松美紀 徳永理利 石井かおり
6月24日(月) 14:40 ~ 16:10	(実習)第15回 ・上顎前方牽引装置2	<p>【準備学習項目】 ・上顎前方牽引装置の基本構造について説明できる。</p> <p>【実習】 第5実習室</p> <p>【学習内容】 ・上顎前方牽引装置の使用目的および装置の構成を説明できる。 ・Nance 装置製作のための作業模型が製作できる。</p> <p>&lt; E-4-1)- &gt; &lt; 各 -( )-4-I &gt;</p>	葛西一貴 山口大 小野修一 榎本豊 根岸慎一 小堀理恵 栃木歌子	齋藤勝彦 今村隆一 五関たけみ 弘松美紀 徳永理利 石井かおり
7月1日(月) 10:40 ~ 12:10	〔講義〕第19回 ・グループ学習 ・平常試験	<p>【準備学習項目】 ・第12回から第13回および第15回から第18回までの講義内容を説明できる。</p> <p>【講義】 302教室</p> <p>【学習内容】 ・第12回から第13回および第15回から第18回までの講義内容について試験を行う。</p>	葛西一貴	

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
7月1日(月) 13:00 ~ 14:30	(実習)第16回 ・上顎前方牽引装置3	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上顎前方牽引装置の基本構造について説明できる。</li> </ul> <p>【実習】</p> <p>第5実習室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上顎前方牽引装置の使用目的および装置の構成を説明できる。</li> <li>・Nance 装置製作のための主線が屈曲できる。</li> <li>・Nance 装置製作のための主線が鑑着できる。</li> </ul> <p>&lt; E-4-1)- &gt; &lt; 各 -( )-4-I &gt;</p>	<p>葛西一貴 山口大 小野修一 榎本豊 根岸慎一 小堀理恵 栃木歌子</p> <p>齋藤勝彦 今村隆一 五関たけみ 弘松美紀 徳永理利 石井かおり</p>
7月1日(月) 14:40 ~ 16:10	(実習)第17回 ・上顎前方牽引装置4	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上顎前方牽引装置の基本構造について説明できる。</li> </ul> <p>【実習】</p> <p>第5実習室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上顎前方牽引装置の使用目的および装置の構成を説明できる。</li> <li>・牽引用アームの屈曲ができる。</li> <li>・牽引用アームの鑑着ができる。</li> <li>・Nance 装置の口蓋部にレジンボタンを製作できる。</li> </ul> <p>&lt; E-4-1)- &gt; &lt; 各 -( )-4-I &gt;</p>	<p>葛西一貴 山口大 小野修一 榎本豊 根岸慎一 小堀理恵 栃木歌子</p> <p>齋藤勝彦 今村隆一 五関たけみ 弘松美紀 徳永理利 石井かおり</p>
7月8日(月) 10:40 ~ 12:10	(講義)第20回 ・永久歯列期の治療	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Edgewise 装置の概略について説明できる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>302教室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マルチブラケット装置(Edgewise 装置)の構成および特徴について説明できる。</li> <li>・Edgewise 装置のメカニズムについて説明できる。</li> <li>・Edgewise 法による治療の流れを説明できる。</li> <li>・アーチワイヤーの屈曲について説明できる。</li> <li>・Begg 法の特徴について説明できる。</li> <li>・各種不正咬合の治療を説明できる。</li> </ul> <p>&lt; E-2-3)- , E-4-1)- , E-4-2)-(10)- &gt; &lt; 総 -1, 各 -( )-2,4,5 &gt;</p>	小野修一
7月8日(月) 13:00 ~ 14:30	(講義)第21回 ・他科との共同による治療1	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口蓋裂の原因について説明できる。</li> <li>・顎顔面領域の成長発育を説明できる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>302教室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口蓋裂の治療法について説明できる。</li> <li>・唇顎口蓋裂患者の顎骨および咬合の特徴について説明できる。</li> <li>・唇顎口蓋裂患者の治療の流れについてその概略を説明できる。</li> <li>・口腔領域の奇形について述べる事ができる。</li> <li>・顎変形症の原因、治療法について説明できる。</li> <li>・外科矯正治療の目的および適応症について述べる事ができる。</li> </ul> <p>&lt; C-2-4)- , E-2-3)- , E-4-1)- , E-2-4)-(1)- , E-4-2)-(10)- &gt; &lt; 必 16-A, 総 -1, 各 -( )-1, 各 -( )-2,4,5 &gt;</p>	今村隆一



日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
7月8日(月) 14:40 ~ 16:10	(実習)第18回 ・上顎前方牽引装置5	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上顎前方牽引装置の作用機序について説明できる。</li> </ul> <p>【実習】</p> <p>第5実習室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Nance装置の口蓋部にレジンボタンを製作できる。</li> <li>・上顎前方牽引装置の作用機序について説明できる。</li> </ul> <p>&lt; E-4-1)- &gt; &lt; 各 -( )-4-I &gt;</p>	<p>葛西一貴 山口大 小野修一 榎本豊 根岸慎一 小堀理恵 栃木歌子</p> <p>齋藤勝彦 今村隆一 五関たけみ 弘松美紀 徳永理利 石井かおり</p>
7月22日(月) 10:40 ~ 12:10	(講義)第22回 ・他科との共同による治療2 ・矯正歯科治療中の口腔衛生管理 ・保定1	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・顎顔面領域の成長発育を説明できる。</li> <li>・矯正装置使用中の注意事項を列挙できる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>302教室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外科矯正治療の流れを他科との関連性を含め述べることができる。</li> <li>・成人矯正治療がかかえる諸問題を列挙できる。</li> <li>・口腔領域の奇形について述べるができる。</li> <li>・矯正治療中の口腔衛生管理について説明できる。</li> <li>・保定の定義、意義、および自然保定について説明できる。</li> </ul> <p>&lt; B-3-2)- ,C-2-4)- ,E-2-3)- , E-4-1)- , E-2-4)-(1)- ,E-4-2)-(10)- &gt; &lt; 必 16-A, 総 -1, 各 -( )-1, 各 -( )-2,4,5 &gt;</p>	今村隆一
7月22日(月) 13:00 ~ 14:30	(講義)第23回 ・保定2  (実習)第19回 ・矯正装置の説明1	<p>講義</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・矯正装置使用中の注意事項を列挙できる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>302教室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保定の定義、意義、および自然保定について説明できる。</li> </ul> <p>&lt; E-2-3)- ,E-2-4)-(10)- ,E-4-1)- &gt; &lt; 各 -( )-5 &gt;</p> <p>実習</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・固定式および可撤式装置を列挙できる。</li> </ul> <p>【実習】</p> <p>第5実習室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・固定式および可撤式装置の構成・適応症・作用機序を説明できる。</li> </ul> <p>&lt; E-4-1)- &gt; &lt; 各 -( )-2,4,5 &gt;</p>	<p>今村隆一 齋藤勝彦 小野修一 榎本豊 根岸慎一 小堀理恵 栃木歌子</p> <p>葛西一貴 山口大 五関たけみ 弘松美紀 徳永理利 石井かおり</p>
7月22日(月) 14:40 ~ 16:10	(実習)第20回 ・矯正装置の説明2 ・矯正用器材器具の説明1	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・固定式および可撤式装置を列挙できる。</li> <li>・基本的な矯正用器材器具を列挙できる。</li> </ul> <p>【実習】</p> <p>第5実習室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・固定式および可撤式装置の構成・適応症・作用機序を説明できる。</li> <li>・矯正用器材器具の使用法を説明できる。</li> </ul> <p>&lt; E-4-1)- &gt; &lt; 総 -15, 各 -( )-2,4,5 &gt;</p>	<p>葛西一貴 山口大 小野修一 榎本豊 根岸慎一 小堀理恵 栃木歌子</p> <p>齋藤勝彦 今村隆一 五関たけみ 弘松美紀 徳永理利 石井かおり</p>

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
7月23日(火) 10:40 ~ 12:10	〔講義〕第24回 ・口腔筋機能療法	【準備学習項目】 ・矯正治療に障害となる口腔習癖を列挙できる。  【講義】 302教室  【学習内容】 ・口腔筋機能療法について説明できる。  < E-2-3)- ,E-2-4)-(10)- ,E-4-1)- > < 必 14-B, 各 -( )-1,2,5 >	高橋治
7月23日(火) 13:00 ~ 14:30	〔講義〕第25回 矯正歯科治療に伴う偶発症  (実習)第21回 ・矯正用器材器具の説明2	講義 【準備学習項目】 ・矯正治療時に生じる偶発症を列挙できる。  【講義】 302教室  【学習内容】 ・矯正治療時に生じる偶発症について説明できる。  < E-3-3)-(2)- ,E-4-1)- > < 各 -( )-5 >  実習 【準備学習項目】 ・基本的な矯正用器材器具を列挙できる。  【実習】 第5実習室  【学習内容】 ・矯正用器材器具の使用法を説明できる。  < E-4-1)- > < 総 -15 >	今村隆一 齋藤勝彦 小野修一 榎本豊 根岸慎一 小堀理恵 栃木歌子  葛西一貴 山口大 五関たけみ 弘松美紀 徳永理利 石井かおり
7月23日(火) 14:40 ~ 16:10	(実習)第22回 ・貸与器具の点検、返却	貸与器具器具返却  【実習】 第5実習室	同上
9月9日(月) 10:40 ~ 12:10	〔講義〕第26回 ・グループ学習 ・平常試験	【準備学習項目】 ・第20回から第25回までの講義内容を説明できる。  【講義】 302教室  【学習内容】 ・第20回から第25回までの講義内容について試験を行う。	葛西一貴
9月9日(月) 13:00 ~ 14:30	〔講義〕第27回 ・平常試験*	平常試験*の内容については別途連絡します。	
9月9日(月) 14:40 ~ 16:10	〔講義〕第28回 ・平常試験*	平常試験*の内容については別途連絡します。	

## 歯科保存学2

4年次前期

授業科目責任者:小方 頼昌(歯周治療学)

学習の目標 (GIO)	<p>歯科保存学は、う蝕、歯髄炎または歯周病などの疾患に陥った歯および歯を支える歯周組織を歯を抜かずに本来有している口腔の機能を維持・回復するための治療学であり、また、それらの疾患に罹患しないよう予防する学問である。歯科保存学は、<b>保存修復学、歯内療法学および歯周治療学</b>の3つの学問からなり、これらの学問が有機的に連携することで、歯および歯周組織の機能の維持を図ることができる。歯科保存学は日常臨床で、高頻度に遭遇する疾患であり、歯、歯周組織の機能を維持するためには、3つの学問を連携して学ぶ必要がある。</p> <p>臨床では、患者の訴え(疼痛、腫脹、動揺など)を聞き取る医療面接から始まり、訴えの原因や病態を探る検査を経て診断および処置方針の決定し、処置がされ、さらに経過の観察、機能の維持へと進行する。これらの進行が適切に行えるようになるために、歯科保存学の知識、技能を習得する。</p> <p>臨床学科目である歯科保存学を習得するための正常な組織の形態と機能、原因に対する生体の反応などまた、治療に用いる材料など今までに学んだ事項と臨床を連携する歯科保存学の総論領域と、保存修復学、歯内療法学、歯周治療学の各論領域から構成される。歯科保存学の3学科目の概要を次にあげる。</p> <p><b>保存修復学:</b> 歯の硬組織に生じた部分的な欠損や病変の診断と治療法を学び、修復した歯をできるだけ長期間、機能的且つ審美的に良好な状態で口腔内に保たせることを目的とする学問である。4年次では、次年度の充実した臨床実習に向け、知識や問題解決について理解することを目的とする。</p> <p><b>歯内療法学:</b> 歯の痛みや腫れを伴い、患者にとって非常に辛い疾患を適応とする分野であるため、適切な診断と処置を要求される。迅速に、的確に診断し、処置を行えるようになるために、歯内療法の知識、技能を習得する。4年次では、次年度の充実した臨床実習に向け、知識や問題解決について理解することを目的とする。</p> <p><b>歯周治療学:</b> 日本の全年齢層において、歯肉炎は約43%、歯周炎は約30%の人が罹患しており、その罹患率を年齢別にみると20歳前後で65%、50歳前後では90%以上にもなる。さらに歯周病は、糖尿病を含む様々な全身疾患と関連する生活習慣病であることから、その予防と治療の社会的意義はきわめて大きい。そのため、一生自分の歯で美味しく食事ができるような良好な口腔環境が維持できるように歯周病を予防または治療することを目的とする学問である。重度歯周炎では、歯の動揺や移動、歯肉の腫れや痛みを伴うことから、適切な診断と治療計画に則った治療が要求される。的確な検査と診断、歯周治療が行えるようになるために、歯周治療学の知識、技能を習得する。</p>
授業担当者	<p>保存修復学講座:池見宅司、平山聡司、鈴木英明、神谷直孝、岡田珠美、森 俊幸、中島 光、岩井啓寿、齋藤千春、壹岐宏二、関根哲子、※木村 寿、※伊東哲明、※須原秀宜、※大村基守、※岩佐俊夫、※手代木一人、※並木泰次、※富田行秀、※金杉紀明、※山本憲廣、※杉山道紀、※宮崎珠江、※深澤正幹、※藤川謙次、※熱田 互、※塩 秀明、※渡邊康夫、※常田幸斉、※飯田浩雅、※木村 大、※田川剛士、※若松尚吾、※小西美徳、※富久田梢、※笹本恭子、※高鹿志保、※飯泉 淳、※細野隆也、※根本章吾</p> <p>歯内療法学講座:松島 潔、辻本恭久、川島 正、岡部 達、神尾直人、室町幸一郎、和田陽子、小峯千明、安達泰佑、諸橋利朗、※相浦誠一郎、※上田幾大、※大林英美、※喜多詰規雄、※五味博之、※齋藤一央、※酒井きよ美、※塩沢 督、※高瀬俊彦、※高橋知多香、※田中みどり、※塚田典功、※寺澤秀朗、※富田 敬、※中嶋真樹、※長島 潔、※中沼邦欣、※細谷史規、※三浦孝司、※村上芳弘、※本木平和、※山浦賀弘</p> <p>歯周治療学講座:小方頼昌、中山洋平、吉野祥一、高井英樹、目澤優、鈴木桃子、大橋頭二郎、岡野千春、武井美佑紀、廣松勇樹、豊嶋泉、井上英子、蔦森麻衣、松村浩禎、加藤彩子、松井沙莉、鈴木真名、若林健史</p>

教科書	<p>保存修復学 第6版:千田 彰、寺下正道、寺中敏夫、宮崎真至 [編]:医歯薬出版  Operative Dentistry Laboratory Manual 2013: 池見宅司他  エンドドンティクス・須田英明・戸田忠夫(編集主幹)永末書店  歯内療法マニュアル(Endodontics Manual)  臨床歯周病学(医歯薬出版)第2版  歯周治療学実習帳(歯周治療学講座編)  失敗しない歯周外科 キュレタージから再生療法まで(クインテッセンス出版)</p>
参考図書	<p>保存修復学21 第4版:田上順次、千田 彰、奈良陽一郎、桃井保子 [監修]:永末書店  バイオロジーに基づいた実践歯内療法学・須田英明(総監訳)・クインテッセンス出版(株)  歯内治療学 第4版:中村洋、須田英明、勝海一郎、興地隆史:医歯薬出版  ユーエン審美再建歯周外科カラーアトラス(西村書店)  プリベンティブペリオドントロジー(医歯薬出版)  カラーアトラスハンドブック歯周治療臨床ヒント集(クインテッセンス出版)  ラタイチャークカラーアトラス歯周病学第3版(永末書店)</p>
実習器材	<p>顎歯模型、歯周外科治療用器具一式</p>
評価方法 (EV)	<p>平常試験:60%  実習内容の評価(実習作製、実技試験、実習中に行う試験等)40%</p>
学生への メッセージ オフィスア ワー	<p>歯科保存学は歯科臨床の基礎であり、日常臨床では高頻度で行われている処置である。適切な診断、処置が行えるようになるために、基礎医学から臨床まで系統だった知識の整理が必要です。試験間際のための学習ではなく、日頃から授業終了後のまとめを欠かさずしておくことが不可欠です。</p> <p>実習では、臨床の場を想定して主にファントム(マネキン)実習を行う。したがって、頭髪、爪、服装など歯科医療人として清潔な身だしなみを常に心がけて実習に臨むこと。</p> <p>講義、実習で、不明なところはそのままにせず積極的に質問すること。</p> <p>また、e-mail 池見:ikemi.takuji@nihon-u.ac.jp、松島:matsushima.kiyoshi@nihon-u.ac.jp、小方:ogata.yorimasa@nihon-u.ac.jp による質問を受け付ける。</p>

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月2日 90分 10:40～12:10	歯内講義① 患者の主訴と検査法	【準備学習項目】 ・歯髄炎・根尖性歯周炎の症状を説明できる。 【講義】302教室 ・患者の訴えを説明できる。 ・患者の訴えから、適切な検査を選択できる。 〈E-3-2)-③,E-3-3)-(4),E-3-3)-(2)-① / 各論Ⅲ-Ⅱ-2-A、各論Ⅲ-Ⅱ-4-A〉	松島潔
4月2日 240分 13:00～17:00	歯周実習1-⑦ 歯周外科総論 歯周ポケット搔爬術 歯肉切除術	【準備学習項目】 歯周外科治療の種類とそれぞれの適応を説明できる。 歯周ポケット搔爬術と歯肉切除術の術式を説明できる。 【講義】302教室 【実習】第4実習室 歯周外科治療の種類を説明できる。 歯周ポケット搔爬術と歯肉切除術の術式と適応を理解する。 F-7-3)-①,②,③,④,⑤ 各論-Ⅲ-(Ⅲ)-2-A,B,C,D,E,F,G,H 各論-Ⅲ-(Ⅲ)-4-B,C,D,E,F	小方頼昌 中山洋平 吉野祥一 高井英樹 目澤優 鈴木桃子 大橋頭二郎 岡野千春 武井美佐紀 廣松勇樹 豊嶋泉 井上英子 葛森麻衣
4月9日 90分 10:40～12:10	歯内講義② 処置の選択	【準備学習項目】 ・歯髄炎・根尖性歯周炎の症状を説明できる。 【講義】302教室 ・歯内療法 of 適切な処置法を選択できる。 〈E-3-2)-③,E-3-3)-(4),E-3-3)-(2)-① / 各論Ⅲ-Ⅱ-2-A、各論Ⅲ-Ⅱ-4-A〉	松島潔
4月9日 240分 13:00～17:00	歯周実習2-⑧ 新付着術 縫合	【準備学習項目】 新付着術(ENAP)の術式を説明できる。 【講義】302教室 【実習】第4実習室 新付着術(ENAP)の術式と適応を理解する。 縫合法の種類および方法を理解する。 F-7-3)-①,②,③,④,⑤ 各論-Ⅲ-(Ⅲ)-2-A,B,C,D,E,F,G,H 各論-Ⅲ-(Ⅲ)-4-B,C,D,E,F	小方頼昌 中山洋平 吉野祥一 高井英樹 目澤優 鈴木桃子 大橋頭二郎 岡野千春 武井美佐紀 廣松勇樹 豊嶋泉 井上英子 葛森麻衣
4月16日 90分 10:40～12:10	歯内中間試験①	【筆記試験】 歯内講義①～②の範囲	松島潔
4月16日 240分 13:00～17:00	歯周実習3-⑨ 暫間固定 根分岐部病変の処置歯 肉剥離搔爬手術(1) 切開線の記入	【準備学習項目】 暫間固定の目的を説明できる。歯肉剥離搔爬手術の術式を説明できる。 【講義】302教室 【実習】第4実習室 暫間固定の種類を説明できる。 根分岐部病変に対する処置法を説明できる。 歯肉剥離搔爬手術の適応と禁忌、術式を説明できる。 歯肉剥離搔爬手術に使用する器具の名称および使用法を説明できる。 切開、剥離および肉芽除去を習得する。 F-7-3)-①,②,③,④,⑤ 各論-Ⅲ-(Ⅲ)-2-A,B,C,D,E,F,G,H 各論-Ⅲ-(Ⅲ)-4-B,C,D,E,F	小方頼昌 中山洋平 吉野祥一 高井英樹 目澤優 鈴木桃子 大橋頭二郎 岡野千春 武井美佐紀 廣松勇樹 豊嶋泉 井上英子 葛森麻衣
4月23日 90分 10:40～12:10	歯周客員教授講義 歯周外科	【準備学習項目】 歯周外科治療の適応と禁忌を説明できる。 遊離歯肉移植術と結合組織移植術の術式を説明できる。 【講義】302教室 歯周形成外科手術の種類を説明できる。 歯周形成外科手術の適応と禁忌を理解する。 遊離歯肉移植術の適応および術式を説明できる。 結合組織移植術の適応および術式を説明できる。 E-3-3)-(3)-④,⑤ 総論-VI-11-B 各論-Ⅲ-(Ⅲ)-4-A,B,C,D,E,F	鈴木真名 小方頼昌
4月23日 240分 13:00～17:00	歯周実習4-⑩ 歯肉剥離搔爬手術(2) 剥離、搔爬、 ルートプレーニング、 骨整形、縫合	【準備学習項目】 歯肉剥離搔爬手術における骨整形、骨削除、骨移植および縫合法について説明できる。 【講義】302教室 【実習】第4実習室 歯肉剥離搔爬手術における歯槽骨に対する処置(骨整形、骨削除、骨移植)について学ぶ。 歯肉剥離搔爬手術の縫合法を習得する。 術後の注意点について説明できる。 F-7-3)-①,②,③,④,⑤ 各論-Ⅲ-(Ⅲ)-2-A,B,C,D,E,F,G,H 各論-Ⅲ-(Ⅲ)-4-B,C,D,E,F	小方頼昌 中山洋平 吉野祥一 高井英樹 目澤優 鈴木桃子 大橋頭二郎 岡野千春 武井美佐紀 廣松勇樹 豊嶋泉 井上英子 葛森麻衣

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月7日 90分 10:40～12:10	歯周講義① 歯周基礎 歯周基本治療	【準備学習項目】 歯周基本治療の進め方を説明できる。 【講義】302 教室 歯周基本治療の意義について理解する。 E-3-3)-(3)-②, ③ 必-3-J-a,b,c 必-15-R-a 各論-Ⅲ-(Ⅲ)-4-A	高井英樹
5月7日 240分 13:00～17:00	歯周実習5-⑪ 歯周形成外科手術(1) 遊離歯肉移植術	【準備学習項目】 歯周形成外科手術の種類と術式を説明できる。 【講義】302教室 【実習】第4 実習室 歯周形成外科手術の種類と適応を説明できる。 遊離歯肉移植術の適応が説明できる。 遊離歯肉移植術の術式を理解する。 遊離歯肉移植術の縫合法を理解し、実施できる。 F-7-3)-①, ②, ③, ④, ⑤ 各論-Ⅲ-(Ⅲ)-2-A,B,C,D,E,F,G,H 各論-Ⅲ-(Ⅲ)-4-B,C,D,E,F	小方頼昌 中山洋平 吉野祥一 高井英樹 目澤優 鈴木桃子 大橋頭二郎 岡野千春 武井美佐紀 廣松勇樹 豊嶋泉 井上英子 葛森麻衣
5月14日 90分 10:40～12:10	歯周講義② 歯周基本治療	【準備学習項目】 歯周基本治療の進め方を説明できる。 【講義】302 教室 歯周基本治療の意義について理解する。 E-3-3)-(3)-②, ③ 必-3-J-a,b,c 必-15-R-a 各論-Ⅲ-(Ⅲ)-4-A	目澤優
5月14日 240分 13:00～17:00	歯周実習6-⑫ 歯周形成外科手術(2) 結合組織移植術	【準備学習項目】 歯周形成外科手術の種類と術式を説明できる。 【講義】302教室 【実習】第4 実習室 歯周形成外科手術の種類と適応を説明できる。 結合組織移植術の適応が説明できる。 結合組織移植術の術式を理解する。 結合組織移植術の縫合法を理解し、実施できる。 F-7-3)-①, ②, ③, ④, ⑤ 各論-Ⅲ-(Ⅲ)-2-A,B,C,D,E,F,G,H 各論-Ⅲ-(Ⅲ)-4-B,C,D,E,F	小方頼昌 中山洋平 吉野祥一 高井英樹 目澤優 鈴木桃子 大橋頭二郎 岡野千春 武井美佐紀 廣松勇樹 豊嶋泉 井上英子 葛森麻衣
5月21日 90分 10:40～12:10	歯周講義③ 歯周基本治療 歯周外科治療	【準備学習項目】 歯周治療全般の治療の流れを説明できる。 メンテナンスとサポータティブペリオドンタルセラピーの違いを説明できる。 【講義】302 教室 歯周基本治療と歯周外科治療について理解する。 歯周外科治療の種類と適応の違いを説明できる。 E-3-3)-(3)-④, ⑤ E-3-3)-(3)-⑨ 総論-Ⅵ-11-B 総論-X-2-G 各論-Ⅲ-(Ⅲ)-4-A,B,C,D,E,F	中山洋平
5月21日 240分 13:00～17:00	歯周実習7-⑬ 歯周組織再生誘導法 画像診断	【準備学習項目】 組織再生誘導法について説明できる。 SPTとメンテナンスの違いを理解する。 【講義】302教室 【実習】第4 実習室 組織再生誘導法について説明できる。 歯周治療における画像診断の意義を説明できる。 歯周外科治療における再生療法の位置付けについて説明できる。 歯周治療の全体の流れを理解し、説明することができる。 歯周治療におけるSPTとメンテナンスの重要性について理解する。 F-7-3)-①, ②, ③, ④, ⑤ 各論-Ⅲ-(Ⅲ)-2-A,B,C,D,E,F,G,H 各論-Ⅲ-(Ⅲ)-4-B,C,D,E,F 各論-Ⅲ-(Ⅲ)-4-G,H	小方頼昌 中山洋平 吉野祥一 高井英樹 目澤優 鈴木桃子 大橋頭二郎 岡野千春 武井美佐紀 廣松勇樹 豊嶋泉 井上英子 葛森麻衣

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月28日 90分 10:40～12:10	歯周まとめ試験	【準備学習項目】 歯周治療全般の治療の流れを説明できる。 【講義】302教室 歯周基本治療と歯周外科治療について理解する。 まとめ試験 E-3-3)-(3)-④,⑤ E-3-3)-(3)-⑨ 総論- VI -11-B 総論- X -2-G 各論- III -( III )-4-A,B,C,D,E,F	小方頼昌
5月28日 240分 13:00～17:00	歯周実習8-⑭ 歯周治療総括講義 実技試験	【準備学習項目】 歯周治療の流れの中で、歯周基本治療と歯周外科治療の役割を説明できる。 【講義】302教室 【実習】第4実習室 歯周基本治療および歯周外科治療の実習試験 F-7-3)-①,②,③,④,⑤ 各論- III -( III )-2-A,B,C,D,E,F,G,H 各論- III -( III )-4-B,C,D,E,F 各論- III -( III )-4-G,H	小方頼昌 中山洋平 吉野祥一 高井英樹 目澤優 鈴木桃子 大橋頭二郎 岡野千春 武井美佑紀 廣松勇樹 豊嶋泉 井上英子 鳥森麻衣
6月4日 90分 10:40～12:10	保存修復講義① 歯の硬組織疾患 齶蝕の病因病態	【講義】302教室 歯の硬組織疾患を列挙し、その特徴について説明できる。 歯の硬組織疾患の原因について説明できる。 歯の硬組織疾患の治療方針について説明できる。 齶蝕の発症メカニズムについて説明できる。 エナメル質齶蝕の特徴について説明できる。 象牙質齶蝕の特徴について説明できる。 セメント質齶蝕の特徴について説明できる。 E-3-3)-(1)-①②③、E-3-4)-(1)-⑥、E-3-4)-(1)-①	平山聡司
6月4日 180分 13:00～14:30	歯内講義③ エックス線検査	【準備学習項目】 ・歯髄・根尖歯周組織疾患の成り立ちを説明できる。 【講義】 ・エックス線写真から、知ることを説明できる。 < F-3-2)-③,F-3-3)-(2)-① / 各論III - II -2-C、各論III - II -4-C >	松島潔 岡部達
6月4日 90分 14:40～16:10	歯内講義④ 歯内歯周疾患	【準備学習項目】 ・歯内療法のエックス線検査を説明できる。 ・根尖性歯周炎の成り立ちを説明できる。 【講義】301教室 ・歯内一歯周疾患を説明できる。 ・歯内一歯周疾患の分類を述べられる。 ・歯内一歯周疾患の成り立ちを述べられる。 < E-3-2)-③,④ / 各論III - II -2-C、各論III - II -4-C >	松島潔 神尾直人
6月11日 90分 10:40～12:10	保存修復講義② 硬組織疾患の検査法 修復前準備 診療の基本と使用する器材	【講義】302教室 修復治療の診断に必要な検査法を説明できる。 検査に必要な器具の名称と使用法について説明できる。 修復前準備の種類とその目的について説明できる。 修復前準備に用いる器具とその用途について説明できる。 適切な診療姿勢について説明できる。 診療に必要な器材について説明できる。 E-3-4)-(1)-⑬、E-3-4)-(1)-⑧、	平山聡司
6月11日 90分 13:00～14:30	歯内講義⑤ 再根管治療	【準備学習項目】 ・根管治療の治癒を説明できる。 【講義】301教室 ・再根管治療の適応を説明できる。 ・再根管治療に至る原因を説明できる。 ・再根管治療の問題点を説明できる。 < E-3-3)-(2)-①,②,③,⑤ / 各論III - II -2-C、各論III - II -4-C >	松島潔 岡部達
6月11日 90分 14:40～16:10	歯内講義⑥ 歯根吸収	【準備学習項目】 ・骨のリモデリングを説明できる。 ・破骨細胞の機能を説明できる。 【講義】302教室 ・歯根吸収の原因を述べられる。 ・歯根吸収のメカニズムを述べられる。 < F-3-3)-(2)-③,⑦,各論III - II -2-C、各論III - II -4-C >	松島潔 岡部達

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月18日 90分 10:40～12:10	保存修復講義③ 窩洞の名称と分類 窩洞の具備条件	【講義】302教室 窩洞の分類について説明できる。 窩洞の構成と各部の名称について説明できる。 窩洞の具備条件を列挙できる。 窩洞外形の規定因子について説明できる。 保持形態について説明できる。 抵抗形態について説明できる。 便宜形態について説明できる。 窩縁形態について説明できる。  E-3-4)-(1)-⑩	平山聡司
6月18日 180分 13:00～16:10	歯内講義⑦ 根尖未完成歯の歯内療法	【準備学習項目】 ・根尖未完成歯を説明できる。 ・歯髄の機能を説明できる。 ・セメント質、歯根膜の機能を説明できる。 【講義】302教室 ・歯根未完成歯の抜髄を説明できる。 ・歯根未完成歯の感染根管治療を説明できる。 ・アペキシゲネーシス、アペキソフィケーションの治癒機転を説明できる。 〈F-3-3)-(2)-③, ⑦, 各論Ⅲ - Ⅱ -2-C、各論Ⅲ - Ⅱ-4-C〉	松島潔 神尾直人
6月25日 90分 10:40～12:10	保存修復講義④ 直接修復法	【講義】302教室 Minimal Intervention Dentistry(MI)について説明できる。 コンポジットレジン修復の特徴について説明できる。 コンポジットレジンの種類と組成について説明できる。 コンポジットレジン修復法の術式について説明できる。 コンポジットレジン修復窩洞の特徴について説明できる。 コンポジットレジン修復の適応症について説明できる。 コンポジットレジンの研磨について説明できる。 コントラクションギャップについて説明できる。 ホワイトマージンについて説明できる。 重合収縮応力の緩和方法について説明できる。 フロワブルコンポジットレジンについて説明できる。 コンポジットレジン修復の予後について説明できる。 グラスアイオノマーセメント修復の特徴について説明できる。・従来型とレジン添加型の特徴について説明できる。 グラスアイオノマーセメント修復の術式について説明できる。  E-3-4)-(1)-⑩	平山聡司
6月25日 90分 13:00～14:30	歯内療法講義⑧ 歯内療法の診療の流れ	【準備学習項目】 歯内療法の基本的な術式および操作法を説明できる。 【講義】302教室 1)患者の訴えを理解することができる。 2)適切な診査法を選択できる。 3)適切な診断をすることができる。 4)器具、薬剤の選択することができる。 5)歯内療法の術式を説明できる。 6)予後の評価ができる。 〈F-3-3)-(2)-①, ②, ⑧, 各論Ⅱ -V-9,10〉	松島潔 神尾直人
6月25日 90分 14:40～16:10	歯内療法講義⑨ 歯内療法と基礎医学との関わり	【準備学習項目】 ・歯内疾患の原因となる微生物を説明できる。 ・炎症における病理変化を説明できる。 ・炎症における生化学的変化を説明できる。 ・痛みの伝達を説明できる。 【講義】302教室 ・歯内疾患の原因を説明できる。 ・歯髄炎、根尖性歯周炎の病理を説明できる。 ・歯髄炎、根尖性歯周炎の組織内変化を説明できる。 ・歯髄炎、根尖性歯周炎の痛みの伝達を説明できる。 〈E-3-3)-(1)-②, E-3-3)-(2)-①, E-3-4)-(1)-⑩ / 総論Ⅸ -1-A,B、各論Ⅲ - Ⅱ -4-A〉	松島潔 岡部達



日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
7月2日 90分 10:40～12:10	保存修復講義⑤ 間接修復法	【講義】302教室 メタルインレー法の特徴について説明できる。 メタルインレー法の適応症について説明できる。 メタルインレー法の術式について説明できる。 メタルインレー修復窩洞の特徴について説明できる。 セラミックインレー法の特徴について説明できる。 セラミックインレー法の適応症について説明できる。 セラミックインレー法の術式について説明できる。 セラミックインレー修復窩洞の特徴について説明できる。 歯科用合着用セメントを列挙し、その特徴を説明できる。  E-3-4)-(1)-⑩	平山聡司
7月2日 180分 13:00～16:10	歯内療法平常試験	【筆記試験】 歯内講義③～⑨の範囲	松島潔 岡部達 神尾直人
7月9日 90分 13:00～14:30	保存修復講義⑥ 歯の変色 歯の破折 象牙質知覚過敏症	【講義】302教室 生活歯の漂白法の種類とその特徴について説明できる。 漂白法に用いる薬剤の組成について説明できる。 漂白法の適応症について説明できる。 生活歯漂白の術式を説明できる。 歯の破折とその処置法について説明できる。 象牙質知覚過敏症の特徴について説明できる。 象牙質知覚過敏症の治療方針を立案できる。  E-3-3)-(1)-⑤、E-3-3)-(4)-①	平山聡司
7月9日 180分 13:00～16:10	歯内【実習】 歯内療法の治療の流れ	【準備学習項目】 歯内療法の無菌的処置を説明できる。 【実習】第4実習室 1) 歯内療法の無菌的処置を説明できる。 2) ラバーダム防湿の意義、目的を説明できる。 3) 適切なラバーダム防湿の装着ができる。 4) ラバーダム防湿の適切な評価ができる。 <F-3-3)-(2)- ①, ②, ⑧, 各論Ⅱ -V-9,10>	松島潔 辻本恭久 川島正 岡部達 神尾直人 室町幸一郎 和田陽子 小峯千明 安達泰佑 諸橋利朗 酒井きよ美 五味博之 喜多詔規雄 本木平和 上田幾大 富田敬 三浦孝司 長島潔 塚田典功 山浦賀弘 高瀬俊彦 高橋知多香 村上芳弘 中沼邦欣 相浦誠一郎 斎藤一央 細谷史規 塩沢督 寺澤秀朗 田中みどり 大林英美 中嶋真樹
7月16日 90分 10:40～12:10	保存修復平常試験 解説講義	【筆記試験】 保存修復講義①～⑥の範囲	平山聡司
7月16日 180分 13:00～16:10	歯内【実習】 歯内療法の治療の流れ	【準備学習項目】 歯内療法の基本的な術式および操作法を説明できる。 【実習】第4実習室 1) 感染根管治療時の仮封剤を除去できる。 2) 感染根管治療時の根管内の診査ができる。 3) 適切な根管洗浄ができる。 4) ペーパーポイントを用いた根管乾燥ができる。 5) 適切なサイズのポイント試適が行える。 6) 適切な根管充填を行うことができる。 <F-3-3)-(2)- ①, ②, ⑧, 各論Ⅱ -V-9,10>	松島潔 辻本恭久 川島正 岡部達 神尾直人 室町幸一郎 和田陽子 小峯千明 安達泰佑 諸橋利朗 酒井きよ美 五味博之 喜多詔規雄 本木平和 上田幾大 富田敬 三浦孝司 長島潔 塚田典功 山浦賀弘 高瀬俊彦 高橋知多香 村上芳弘 中沼邦欣 相浦誠一郎 斎藤一央 細谷史規 塩沢督 寺澤秀朗 田中みどり 大林英美 中嶋真樹
9月10日 90分 10:40～12:10	歯科保存学-2 まとめ平常試験 保存修復・歯内療法・歯周治療	【筆記試験】 歯科保存学-2の範囲	
9月10日 180分 13:00～16:10	歯科保存学-2 まとめ平常試験 保存修復・歯内療法・歯周治療	【筆記試験】 歯科保存学-2の範囲	

## 歯科補綴学2

4年次 前期	授業科目責任者:河相安彦
--------	--------------

学習の目標	GIO: 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。
授業担当者	【クラウンブリッジ補綴学】 會田雅啓, 小林 平, 若見昌信, 大村祐史, 田中孝明, 後藤治彦, 齋藤美佳, 青木直子, 金子珠美, 内堀聡史, ※増田美樹子, ※桜田俊彦
教科書	クラウンブリッジ補綴学 第4版 石橋寛二ほか編・医歯薬出版 クラウンブリッジ補綴学実習指針 クラウン・ブリッジ補綴学編
参考図書	スタンダード歯科理工学 第4版 鈴木一臣ほか編・学建書院 クラウンブリッジテクニック石橋寛二ほか編・医歯薬出版 続最新歯科補綴アトラス 三谷春保ほか・医歯薬出版 歯科補綴学専門用語集 第3版 (社)日本補綴歯科学会編・医歯薬出版
実習器材	【保証人宛てに通知済み】
評価方法 (EV)	平常試験(平常試験①～②の平均:50%), および実習(5回の実習評価:50%)の合計。 講義・実習それぞれ1/5以上欠席した場合, 評価点は0-60点とする。また, 講義・実習いずれかが合格点に達しない場合, 評価点は60点未満とする。なお, 平常試験の再試験は行わない。
学生へのメッセージ ジオフィスアワー	【ブリッジ補綴学講義】 歯冠架工義歯補綴は臨床で最も多く行われる治療の1つである。講義内容も非常に多いので復習を十分に行うこと。また, 不明な点があれば必ず質問し, 疑問をもったまま次回の講義に臨まないように心がけて欲しい。ブリッジの製作法を通じて, 適合の良いブリッジを製作するための理論を学び, さらに生体に調和した補綴物とはいかなるものであるかを習得する。これらを習得するためには口腔内のみならず, 口腔周囲組織の生理学的および解剖学的知識ならびに歯科用材料の諸性質を理解する必要がある。 【ブリッジ補綴学実習】 講義を基に, 歯冠架工義歯補綴学の実習を通して歯科材料の基礎理論を背景とした材料の応用, 正しいインストルメントの取り扱い方法および臨床に応用できる技術を習得することを目標に段階的に実習を行う。ブリッジの作製過程および手技を学習し, 臨床に応用可能な製作物を作製できる能力を養う。実習で身につけた技術は, 歯科医として将来必ず役立つものであるため, 進んで学習し実習を行うこと。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備 学習(予習) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月5日(金) 1時間 10:40～12:10	講義(1): クラウンブリッジ補綴学の定義 ブリッジの診療の流れ ブリッジの種類と特徴	【準備学習項目】 ・ブリッジの診査・診断から装着までの治療の流れを理解しておく。 ・ブリッジの種類と特徴ならびに適応症を理解しておく。 【講義】 LS:302 教室, マルチメディア ・ブリッジの診断から装着にいたる診療の流れを理解する。 ・ブリッジの臨床的意義と重要性を理解する。 ・ブリッジの種類と特徴を述べるができる。 ・ブリッジの適応および適応症を述べるができる。 ・支台装置の種類と特徴を述べるができる。 <F-3-4-(2)-①,②,⑩ / 各-V-4-A～N>	會田雅啓
4月5日(金) 2時間 13:00～14:30 14:40～16:10	実習(1): 個人トレーの作製	【準備学習項目】 ・授業項目に該当する実習書の範囲を良く予習しておくこと。 【実習】 LS:第5 実習室 ・個人トレーの必要条件を理解する。 ・正確な個人トレーを製作するための技術を習得する。 <F-3-4-(2)-⑥ / 各-V-4-F>	會田雅啓 小林 平 若見昌信 大村祐史 田中孝明 後藤治彦 齋藤美佳 青木直子 金子珠美 内堀聡史 増田美樹子 桜田俊彦
4月12日(金) 1時間 10:40～12:10	講義(2): ブリッジの支台歯形成	【準備学習項目】 ・ブリッジの支台歯形成において必要な麻酔の知識と生活歯形成の手順を理解しておく。 【講義】 LS:302 教室, マルチメディア ・有髄歯の特徴を理解する。 ・麻酔に対する注意を述べるができる。 ・支台歯形成の手順, 注意事項を述べるができる。 ・歯肉圧排について述べるができる。 <F-3-4-(2)-④ / 各-V-4-C>	小林 平

4月12日(金) 2時間 13:00～14:30 14:40～16:10	実習(2): ブリッジ支台歯形成	【準備学習項目】 ・授業項目に該当する実習書の範囲を良く予習しておくこと。 【実習】 LS:第5実習室 ・小白歯全部鑄造冠の支台歯形態を理解する。 ・小白歯全部鑄造冠の支台歯形成ができる。 ・形成時の平行測定の必要性和方法を理解する。 ・平行測定ができる。 ・大白歯全部鑄造冠の支台歯形成ができる。 <F-3-4)-(2)-④ / 各-V-4-C>	會田雅啓 若見昌信 田中孝明 齋藤美佳 金子珠美 増田美樹子	小林 平 大村祐史 後藤治彦 青木直子 内堀聡史 桜田俊彦
4月19日(金) 1時間 10:40～12:10	講義(3): プロビジョナルレストレーション	【準備学習項目】 ・プロビジョナルレストレーションの目的,種類,作製方法を理解しておく。 【講義】 LS:302教室,マルチメディア ・暫間被覆冠の目的を述べるができる。 ・暫間被覆冠の種類と製作法を述べるができる。 <F-3-4)-(2)-⑩ / 各-V-4-E>	増田美樹子	
4月19日(金) 2時間 13:00～14:30 14:40～16:10	実習(3): プロビジョナルレストレーションの製作	【準備学習項目】 ・授業項目に該当する実習書の範囲を良く予習しておくこと。 【実習】 LS:第5実習室 ・プロビジョナルレストレーションの必要性を理解する。 ・ブリッジのプロビジョナルレストレーションを製作するための方法と技術を習得する。 <F-3-4)-(1)-⑧, F-3-4)-(2)-⑩ / 各-V-4-E>	會田雅啓 若見昌信 田中孝明 齋藤美佳 金子珠美 増田美樹子	小林 平 大村祐史 後藤治彦 青木直子 内堀聡史 桜田俊彦
4月26日(金) 1時間 10:40～12:10	講義(4): ブリッジの印象採得	【準備学習項目】 ・ブリッジの印象採得に使用する精密印象材の特徴と,正確に印象採得するための方法と理論を理解しておく。 【講義】 LS:302教室,マルチメディア ・ブリッジに用いる印象材の種類について述べるができる。 ・各種印象材および印象法の特徴を述べるができる。 ・正確な印象採得を行うための理論を理解する。 <F-3-4)-(2)-⑥ / 各-V-4-F>	大村祐史	
4月26日(金) 2時間 13:00～14:30 14:40～16:10	実習(4): ブリッジの最終印象採得 咬合採得 作業模型の製作	【準備学習項目】 ・授業項目に該当する実習書の範囲を良く予習しておくこと。 【実習】 LS:第5実習室 ・印象材の操作ができる。 ・個人トレーを用いた正確な印象採得法を習得する。 ・軟化したワックスによる中心咬合位の採得ができる。 ・正確な作業模型を製作するための技術を習得する。 <F-3-4)-(2)-⑥, ⑦ / 各-V-4-F,G>	會田雅啓 若見昌信 田中孝明 齋藤美佳 金子珠美 増田美樹子	小林 平 大村祐史 後藤治彦 青木直子 内堀聡史 桜田俊彦
5月10日(金) 1時間 10:40～12:10	講義(5): ブリッジの咬合採得	【準備学習項目】 ・欠損歯数の違いによる咬合採得の方法を理解し,フェイスボウトランスファーとチェックバイト法の意義を整理しておく。 【講義】 LS:302教室,マルチメディア ・少数歯欠損の場合の咬合採得法を述べるができる。 ・多数歯欠損の場合の呼号採得法を述べるができる。 ・フェイスボウトランスファーの方法と意義を理解する。 ・チェックバイト法と意義を理解する。 <F-3-4)-(2)-⑦, ⑨ / 各-V-4-H>	大村祐史	
5月10日(金) 2時間 13:00～14:30 14:40～16:10	実習(5): ブリッジの最終印象採得 咬合採得 作業模型の製作	【準備学習項目】 ・授業項目に該当する実習書の範囲を良く予習しておくこと。 【実習】 LS:第5実習室 ・印象材の操作ができる。 ・個人トレーを用いた正確な印象採得法を習得する。 ・軟化したワックスによる中心咬合位の採得ができる。 ・正確な作業模型を製作するための技術を習得する。 <F-3-4)-(2)-⑥, ⑦ / 各-V-4-F,G>	會田雅啓 若見昌信 田中孝明 齋藤美佳 金子珠美 増田美樹子	小林 平 大村祐史 後藤治彦 青木直子 内堀聡史 桜田俊彦
5月17日(金) 1時間 10:40～12:10	講義(6): 作業模型	【準備学習項目】 ・作業模型の重要性と具備条件,種類とその特徴を理解しておく。 【講義】 LS:302教室,マルチメディア ・作業模型の重要性を理解する。 ・ブリッジの作業模型の種類と特徴を理解する。 ・作業模型の具備条件を述べるができる。 <F-3-4)-(2)-⑥ / 各-V-4-G>	若見昌信	
5月17日(金) 2時間 13:00～14:30 14:40～16:10	実習(6): 作業模型の製作 作業模型の咬合器付着	【準備学習項目】 ・授業項目に該当する実習書の範囲を良く予習しておくこと。 【実習】 LS:第5実習室 ・正確な作業模型を製作するための技術を習得する。 ・作業模型を正確に咬合器に付着できる。 ・作業模型を正確に咬合器に付着するための要領を習得する。 <F-3-4)-(2)-⑥, ⑨ / 各-V-4-G～I>	會田雅啓 若見昌信 田中孝明 齋藤美佳 金子珠美 増田美樹子	小林 平 大村祐史 後藤治彦 青木直子 内堀聡史 桜田俊彦

5月24日(金) 1時間 10:40～12:10	講義(7): 作業模型の咬合器付着	【準備学習項目】 ・作業模型の咬合器付着についての諸操作を理解する。 【講義】 LS:302 教室, マルチメディア ・フェイスボウトランスファーによる上顎模型の付着ができる。 ・チェックバイトによって下顎模型の付着ができる。 ・咬頭嵌合位での咬合器付着ができる。 <F-3-4-(2)-⑨ / 各-V-4-G～I>	若見昌信
5月24日(金) 2時間 13:00～14:30 14:40～16:10	実習(7): 歯型の分割・調整	【準備学習項目】 ・授業項目に該当する実習書の範囲を良く予習しておくこと。 【実習】 LS:第5実習室 ・正確な作業模型を製作するための技術を習得する。 ・作業模型を正確に咬合器に付着できる。 ・作業模型を正確に咬合器に付着するための要領を習得する。 ・正確な歯型の必要性を理解し,調整ができる。 <F-3-4-(2)-⑥,⑨ / 各-V-4-G～J>	會田雅啓 若見昌信 田中孝明 齋藤美佳 金子珠美 増田美樹子 小林 平 大村祐史 後藤治彦 青木直子 内堀聡史 桜田俊彦
5月31日(金) 1時間 10:40～12:10	講義(8): ワックスアップ	【準備学習項目】 ・ワックスアップの技工操作の手順を理解し,正確な歯冠補綴物を製作するための理論を学んでおく。 【講義】 LS:302 教室, マルチメディア ・ワックスの性質を学び,変形の少ない蝋型採得ができる。 <F-3-4-(2)-⑥ / 各-V-4-J～L>	増田美樹子
5月31日(金) 2時間 13:00～14:30 14:40～16:10	実習(8): ワックスアップ	【準備学習項目】 ・授業項目に該当する実習書の範囲を良く予習しておくこと。 【実習】 LS:第5実習室 ・正しいワックスアップおよびインスツルメントの取扱い法を習得する。 ・ワックスアップ法とその特徴を理解し,正確なワックスアップができる。 ・歯列に調和するワックスアップができる。 <F-3-4-(2)-⑥ / 各-V-4-J>	會田雅啓 若見昌信 田中孝明 齋藤美佳 金子珠美 増田美樹子 小林 平 大村祐史 後藤治彦 青木直子 内堀聡史 桜田俊彦
6月7日(金) 1時間 10:40～12:10	平常試験①	平常試験 LS:302 教室	
6月7日(金) 2時間 13:00～14:30 14:40～16:10	実習(9): ワックスアップ	【準備学習項目】 ・授業項目に該当する実習書の範囲を良く予習しておくこと。 【実習】 LS:第5実習室 ・正しいワックスアップおよびインスツルメントの取扱い法を習得する。 ・ワックスアップ法とその特徴を理解し,正確なワックスアップができる。 ・歯列に調和するワックスアップができる。 <F-3-4-(2)-⑥ / 各-V-4-J>	會田雅啓 若見昌信 田中孝明 齋藤美佳 金子珠美 増田美樹子 小林 平 大村祐史 後藤治彦 青木直子 内堀聡史 桜田俊彦
6月14日(金) 1時間 10:40～12:10	講義(9): 埋没 鋳造 ろう着 研磨	【準備学習項目】 ・埋没,鋳造等の一連の技工操作の手順を理解し,正確な歯冠補綴物を製作するための理論を学んでおく。 【講義】 LS:302 教室, マルチメディア ・埋没材および埋没法の種類を述べることができる。 ・鋳造法の種類を述べることができる。 ・一塊鋳造法とろう着法の違いを理解する。 ・ろう着の手順を述べることができる。 ・「ろう」の性質・具備条件を述べることができる。 ・研磨の手順を知る。 <F-3-4-(2)-⑥ / 各-V-4-J～L>	増田美樹子
6月14日(金) 2時間 13:00～14:30 14:40～16:10	実習(10): ワックスアップ	【準備学習項目】 ・授業項目に該当する実習書の範囲を良く予習しておくこと。 【実習】 LS:第5実習室 ・正しいワックスアップおよびインスツルメントの取扱い法を習得する。 ・ワックスアップ法とその特徴を理解し,正確なワックスアップができる。 ・歯列に調和するワックスアップができる。 <F-3-4-(2)-⑥ / 各-V-4-J>	會田雅啓 若見昌信 田中孝明 齋藤美佳 金子珠美 増田美樹子 小林 平 大村祐史 後藤治彦 青木直子 内堀聡史 桜田俊彦
6月21日(金) 1時間 10:40～12:10	講義(10): 顎運動	【準備学習項目】 ・顎関節の構造と顎路傾斜角について理解しておく。 【講義】 LS:302 教室, マルチメディア ・顎関節の構造を知る。 ・咀嚼筋,下顎運動を理解する。 ・顎路,顎路傾斜角を理解する。 <F-2-1)-⑤～⑥, F-3-4-(2)-⑨ / 各-V-3-F>	田中孝明

6月21日(金) 2時間 13:00～14:30 14:40～16:10	実習(11): 埋没 鋳造	【準備学習項目】 ・授業項目に該当する実習書の範囲を良く予習しておくこと。 【実習】 LS:第5実習室 ・正確な鋳造物を得るための埋没法を習得する。 ・鋳造リングの加熱操作の意味を理解する。 ・遠心鋳造法による鋳造操作を習得する。 <F-3-4-(2)-⑥ / 各-V-4-J～L>	會田雅啓 若見昌信 田中孝明 齋藤美佳 金子珠美 増田美樹子	小林 平 大村祐史 後藤治彦 青木直子 内堀聡史 桜田俊彦
6月28日(金) 1時間 10:40～12:10	講義(11): 下顎運動と咬合器	【準備学習項目】 ・咬合器の種類と特徴を理解し、顎運動を咬合器に再現する手順について整理しておく。 【講義】 LS:302 教室, マルチメディア ・咬合器の意義を述べるができる。 ・咬合器の種類と特徴を理解する。 ・下顎運動と咬合器の関係を理解する。 ・顎路傾斜角を調整し、顎運動を咬合器に再現できる。 <F-3-4-(2)-⑨ / 各-V-4-H～I>	田中孝明	
6月28日(金) 2時間 13:00～14:30 14:40～16:10	実習(12): 埋没 鋳造	【準備学習項目】 ・授業項目に該当する実習書の範囲を良く予習しておくこと。 【実習】 LS:第5実習室 ・正確な鋳造物を得るための埋没法を習得する。 ・鋳造リングの加熱操作の意味を理解する。 ・遠心鋳造法による鋳造操作を習得する。 <F-3-4-(2)-⑥ / 各-V-4-J～L>	會田雅啓 若見昌信 田中孝明 齋藤美佳 金子珠美 増田美樹子	小林 平 大村祐史 後藤治彦 青木直子 内堀聡史 桜田俊彦
7月5日(金) 1時間 10:40～12:10	講義(12): ブリッジのための診査, 診断, 治療計画, 前処置	【準備学習項目】 ・ブリッジ治療の際の診査項目を理解し、ブリッジの種類と支台装置の選択をできるようにする。 【講義】 LS:302 教室, マルチメディア ・ブリッジに必要な診査項目を述べるができる。 ・診査の結果, ブリッジの種類, 支台装置の選択ができる。 <F-3-4-(2)-③, ⑩ / 各-V-4-A～B>	小林 平	
7月5日(金) 2時間 13:00～14:30 14:40～16:10	実習(13): 鑲着用コアー採得 鑲着用埋没 鑲着	【準備学習項目】 ・授業項目に該当する実習書の範囲を良く予習しておくこと。 【実習】 LS:第5実習室 ・鑲着法の意味を理解し、正確なコアー採得ができる。 ・適切な鑲着間隙を確保できる。 ・鑲の性質を理解し、鑲着の技術を習得する。 <F-3-4-(2)-⑥ / 各-V-4-L>	會田雅啓 若見昌信 田中孝明 齋藤美佳 金子珠美 増田美樹子	小林 平 大村祐史 後藤治彦 青木直子 内堀聡史 桜田俊彦
7月12日(金) 1時間 10:40～12:10	講義(13): 仮着 合着 アフターケア	【準備学習項目】 ・仮着の意義と術後の管理について理解しておく。 【講義】 ・仮着の意義を理解する。 ・仮着材および合着材の種類と特徴を述べるができる。 ・無髄歯の特徴を理解する。 ・装着後の指導ができる。 LS:302 教室, マルチメディア <F-3-4-(2)-⑬ / 各-V-4-M～N, 各-V-9-B>	會田雅啓	
7月12日(金) 2時間 13:00～14:30 14:40～16:10	実習(14): 鑲着用コアー採得 鑲着用埋没 鑲着	【準備学習項目】 ・授業項目に該当する実習書の範囲を良く予習しておくこと。 【実習】 LS:第5実習室 ・鑲着法の意味を理解し、正確なコアー採得ができる。 ・適切な鑲着間隙を確保できる。 ・鑲の性質を理解し、鑲着の技術を習得する。 <F-3-4-(2)-⑥ / 各-V-4-L>	會田雅啓 若見昌信 田中孝明 齋藤美佳 金子珠美 増田美樹子	小林 平 大村祐史 後藤治彦 青木直子 内堀聡史 桜田俊彦
7月19日(金) 1時間 10:40～12:10	講義(14): 築造 歯冠補綴物の予後 不良補綴物	【準備学習項目】 ・各種築造の方法と分類とその意義を理解しておく。 ・クラウンブリッジ装着後における定期検診の重要性を理解する。 【講義】 LS:302 教室, マルチメディア ・築造の意義を述べるができる。 ・各種築造法を述べるができる。 ・クラウンブリッジ装着後の管理について理解する。 ・不良補綴物を原因とする症状について理解する。 ・歯冠補綴物装着後のトラブルの種類と対処法について述べることができる。 <F-3-4-(1)-⑥, ⑩, ⑮ / 各-V-4-D>	會田雅啓	
7月19日(金) 2時間 13:00～14:30 14:40～16:10	実習(15): ブリッジの調整 研磨 完成	【準備学習項目】 ・授業項目に該当する実習書の範囲を良く予習しておくこと。 【実習】 LS:第5実習室 ・咬合器上およびエゴキシ模型上での咬合調整ができる。 ・研磨の意義を理解し、研磨の技術を習得する。 <F-3-4-(2)-⑥ / 各-V-4-L,N>	會田雅啓 若見昌信 田中孝明 齋藤美佳 金子珠美 増田美樹子	小林 平 大村祐史 後藤治彦 青木直子 内堀聡史 桜田俊彦
9月13日(金)	平常試験②	平常試験 LS:302 教室		

# 障害者歯科学

4 年次 前学期	授業科目責任者：野本 たかと（障害者歯科学）
学習の目標（GIO）	障害者歯科の基本理念，障害に関する医学的基礎知識と歯科診療上の配慮および障害者地域歯科医療に必要な社会歯科学的背景について解説する。将来，障害者地域歯科保健・医療に関与した時，その課題を解決するための基本的な能力を修得することが，本講義の目的である。
授業担当者	野本たかと，伊藤政之，梅澤幸司，林 佐智代，田中陽子
教科書	スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科学 / 医歯薬出版
参考図書	障害者歯科ガイドブック・森崎市治郎ら編・医歯薬出版，有病者 高齢者歯科治療マニュアル・上田 裕ら編・医歯薬出版，障害者の歯科医療・酒井信明ら編・医学情報社，Disability and Oral Care・June Nunn et al・FDI World Dental Press
実習器材	なし
評価方法（EV）	原則として授業時間内に行う平常試験（100%）によって評価点とする。平常試験は授業時間内に2回行い，各講義担当教員が出題し，その総合評価とする。なお，配点の比重は各講義担当の講義回数に比例する。授業時間数の1/5以上を欠席した場合，成績評価は0-60点とする。また，再試験の受験資格は与えない。
学生へのメッセージ オフィスアワー	障害のある人を対象とした歯科医療の提供は，経験がある一部の歯科医だけが行うものではありません。歯科医師は，その地域における医療連携の中で，障害のある人が適切な医療を受けられるよう配慮する義務があります。このことを念頭に置き，受講して下さい。 オフィスアワー：月曜日～金曜日：8：30～17：30

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略（SBOs）（LS）・準備学習（予習）内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月1日（月） 9:00～10:30	1. 社会と障害者 2. 障害者歯科の基本理念	【準備学習項目】 障害の意味を説明できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 1. 障害の概念を説明できる。 2. 国際障害分類を説明できる。 3. 障害者基本法における障害者について説明できる。 4. ノーマライゼーションの概念について説明できる。 5. パリアフリーの意味を説明できる。 6. 障害者歯科の歯科的特性を説明できる。 <B-2-2)- , B-2-2)- > <総 -I-1-E, 総 -I-8-B, 総 VIII-3-A,B>	野本たかと
4月8日（月） 9:00～10:30	1. 障害者歯科の歴史 2. 福祉からみた障害	【準備学習項目】 社会福祉の概念を説明できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 障害者歯科の歴史を説明できる。 障害者に関わる医療統計と社会福祉を説明できる。 1. 福祉における障害の認定について説明できる。 2. 障害者の人口動態を説明できる。 3. 障害者に関わる法律を説明できる。 <B-2-2)- , > <総 -I-5-A, 総 -I-8-A,C,D>	伊藤政之
4月15日（月） 9:00～10:30	障害の理解	【準備学習項目】 障害者基本法に定められた障害者について説明できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 障害と疾患の種類を説明できる。 1. 身体障害の概要と原因疾患を説明できる。 脳性麻痺，筋ジストロフィー，中途障害等 2. 知的障害の概要と原因疾患を説明できる。 精神発達遅滞，広汎性発達障害，学習障害等 3. 精神障害の概要と原因疾患を説明できる。 統合失調症，うつ病等 4. その他能力障害の原因となる疾患について説明できる。 <E-1-3)-(1)- , E-4-4)- , E-4-6)- > <総 -I-7-A,B,E, 総 -VIII-6,A,B,C, 総 -VI-1-A,B, >	野本たかと

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月22日(月) 9:00～10:30	1. 障害と外表奇形 2. Four Handed Dentistry	【準備学習項目】 口腔・顎・顔面の正常発達を説明できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 1. 先天異常と先天奇形について説明できる。 2. 発達期障害と先天異常・奇形について説明できる。 3. 顎顔面形態異常と外表奇形について説明できる。 4. 障害者歯科に関連の深い症候群を説明できる。 5. Four Handed Dentistry の意義と実際について説明できる。 <E-1-1)- , E-1-3)- , E-2-3)- , E-2-4)-(1) > <総 -VI-11,I, 各 -II-I-1, 各 -IV-I-1, 各 -I-IV-1>	野本たかと
5月13日(月) 9:00～10:30	1. 初診時の診査項目 2. 行動観察法	【準備学習項目】 小児の正常な行動発達の特徴を説明できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 1. 障害と身体発達について説明できる。 2. 初診時に必要な診査項目について説明できる。 3. 初診時の情報収集について説明できる。 4. 発達レベルの診断について説明できる 5. 行動観察法について説明できる 6. 障害児・者の行動の特性について説明できる。 <A-7-2), E-1-1)- , E-4-6)- > <総 -V-2,A,B,C,D, 総 -VIII-1-A,B,C, 総 -VIII-2-B, 総 -VIII-3-c,d,E, 総 -IX-5-C>	田中陽子
5月20日(月) 9:00～10:30	障害と心理	【準備学習項目】 行動の心理学的特性を説明できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 障害児・者にみられる行動特性に与える心理学的背景について説明できる。 1. 心理発達について説明できる。 2. 障害児・者の心理発達と障害受容の関係について説明できる。 3. 歯科診療に関わる障害児・者の心理特性について説明できる。 <E-1-1)- , E-4-4)- >	同上
5月27日(月) 9:00～10:30	行動調整と歯科治療 その1 行動調整の基本	【準備学習項目】 障害と心理特性について説明できる。 【講義】 302 教室 【講義内容】 歯科治療における行動調整法について説明できる。 1. 学習理論について説明できる 2. 行動調整の基本的な考え方を説明できる。 <E-4-4)- > <総 -X-2-J>	伊藤政之
6月3日(月) 9:00～10:30	行動調整と歯科治療 その2 行動調整の実際	【準備学習項目】 障害者の歯科受診行動について説明できる。 障害者の歯科受診行動に与える心理学的背景と環境因子について説明できる。 【講義】 302 教室 【講義内容】 1. 薬物を用いない行動調整について説明できる。 2. 薬物を用いた行動調整について説明できる。 <E-1-3)-(2),E-1-3)-(4)- >	同上
6月10日(月) 9:00～10:30	障害者のための予防歯科	【準備学習項目】 口腔疾患のセルフケアを説明できる。 【講義】 302 教室 【講義内容】 障害者における口腔疾患の予防法を説明できる。 1. 障害者にみられる口腔疾患の特徴について説明できる。 2. 口腔疾患と全身疾患の関連性について説明できる。 3. 障害者における口腔疾患予防の重要性について説明できる。 4. 障害者における口腔ケアの概念と実際について説明できる。 <B-3-2)- , E-1-6)-(2)- , E-4-4)- >	田中陽子

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月17日(月) 9:00～10:30	平常試験1 解説	【準備学習項目】 今までの講義内容を理解できる。 【平常試験】 302教室 【講義内容】 平常試験1の解説	野本たかと 田中陽子 伊藤政之
6月24日(月) 9:00～10:30	中途障害者の歯科治療	【準備学習項目】 中途障害を引き起こす疾患について説明できる；特に心疾患，神経疾患，精神障害等 【講義】 302教室 1. 心疾患患者の歯科治療上の注意事項を説明できる。 2. 神経疾患患者の歯科治療上の注意事項を説明できる。 3. 精神障害者の歯科治療上の注意事項を説明できる。 <E-1-3)- , E-4-6)- > <総 -I-7-E, 総 -VIII-A,B,D, 各 -I-II-4-G, III-4-H, 各 -IV-IV-2-H, 各 -IV-IV-3>	梅澤幸司
7月1日(月) 9:00～10:30	高齢障害者の歯科治療	【準備学習項目】 生物学的加齢変化および病的加齢変化について説明できる。 【講義】 302教室 【講義内容】 1. 加齢に伴い発症頻度が高くなる疾患を説明できる。 2. 要介護の原因疾患を説明できる。 3. 高齢障害者に特有な口腔疾患を説明できる。 4. 高齢者における歯科治療上の注意事項を説明できる。 <E-2-3)- , E-2-3)- , E-3-2)- , E-4-3)- ~ > <総 -V-6-A,B, 総 -VIII-A,B,C,F,G, 各 -IV-II-1-C, 各 -III-I-A,B,C, II-3-A,B,III-B >	梅澤幸司
7月8日(月) 9:00～10:30	摂食・嚥下機能障害のリハビリテーション その1	【準備学習項目】 心身機能の正常な成長・発達について説明できる。 【講義】 302教室 【講義内容】 1. 食べることの意義を説明できる。 2. 哺乳動作を説明できる。 3. 摂食機能の発達とその獲得順序・段階を説明できる。 4. 摂食・嚥下動作時の各器官の役割を説明できる。 <E-4-2)- , E-4-4)- , E-2-1)- > <総 -V-5-B, 総 -X-7-A,B,C,D>	林佐智代
7月22日(月) 9:00～10:30	摂食・嚥下機能障害のリハビリテーション その2	【準備学習項目】 頭頸部の解剖について説明できる。 【講義】 302教室 【講義内容】 1. 嚥下障害と誤嚥性肺炎の関係を説明できる。 2. 加齢による摂食・嚥下機能の減退を説明できる。 3. 中途障害および高齢障害者に対する摂食・嚥下リハビリテーションを説明できる。 <E-2-4)-(10)- , E-4-3)- , > <総 -VII-2-I, 総 -VIII-5-H,I, 各 -V-1-B,E>	林佐智代
7月23日(火) 9:00～10:30	障害者のための地域歯科医療システム	【準備学習項目】 障害者歯科医療に携わる医療機関について説明できる。 【講義】 302教室 【講義内容】 1. 介護保険および介護予防の概要を説明できる。 2. 病診連携，診診連携およびチーム医療について説明できる。 3. 訪問歯科診療を説明できる。 4. 障害者地域歯科医療の在り方を説明できる。 <A-7-3), B-2-2)- , B-2-2)- , B-2-2)- , B-2-2)- , F-5- , E-4-3)- ~ > <総 -I-3-C,D,E,F,G,H, 総 -I-4-H, 総 -I-II-8-D,E,F,G>	梅澤幸司
9月9日(月) 9:00～10:30	平常試験2 解説	【準備学習項目】 平常試験1以降の講義内容について理解できる。 【平常試験】 302教室 【講義内容】 平常試験2の解説	梅澤幸司 林佐智代 田中陽子



## 医療行動科学 8

4 年次 後学期	授業科目責任者：伊藤 孝訓（歯科総合診療学）		
学習の目標 (GIO)	良質な医療の提供を目的とした P O S 医療，全人的医療の展開に向けて，基本的臨床技能，特にコミュニケーション技法の習得など情意領域の教養獲得を理解する。 ・信頼関係を確立するために，コミュニケーションの重要性を理解し，その能力を身につける。 ・良好な患者 - 歯科医師関係の確立に要する臨床能力の基本的な態度，知識及び技能を身につける。 ・歯科医療におけるチームワークの重要性を理解し，目的達成のための相互連携を身につける。		
授業担当者	伊藤孝訓，多田充裕，青木伸一郎，内田貴之，遠藤弘康，岡本康裕，大沢聖子，梶本真澄，李 潤喜，石井広志，井田聡子，市川喜之，井出壺也，梅田宜承，大川将彦，多田浩三，大山和次，岡本 茂，金尾好章，北本 厚，酒井 淳，佐藤 繁，鈴木義孝，須永 亨，関 真之，野崎勝也，堀内 一，神濱 敦，五十嵐仁志（歯科総合診療学）		
教科書	「患者ニーズにマッチした歯科医療面接の実際」伊藤孝訓，寺中敏夫編著，クインテッセンス出版 「医療コミュニケーション実習書」日本大学松戸歯学部歯科総合診療学講座編（無償配布）		
参考図書	「歯科医療面接アートとサイエンス」伊藤孝訓編著，砂書房（第2版） 「イラストレイテッド・クリニカルデンティストリー 患者の診かたと歯科診療」黒崎紀正他編集，医歯薬出版 「臨床医になるための必修アイテム」医療面接から臨床判断学まで，竹村洋典，南江堂 「臨床入門 臨床実習の手引き」福井次矢，医学書院 「口腔診断学」下里常弘他，医学書院 「P O S 医療と医学教育の革新のための新しいシステム」日野原重明，医学書院 「歯科医のための医療コーチング」岸 英光著，砂書房		
実習器材	なし		
評価方法 (EV)	演習：授業時間内に行う平常試験及び毎回行う小テスト（60%） 制作物・体験学習レポート（30%） 受講態度（10%）をもって総合評価（最終評価）する。 平常試験の結果に応じて、補講または再試験等の措置を講じることがある。 受講態度は出席することが前提として与えられ、講義・演習参加への積極性を評価対象とする。 授業時間数の 1/5 以上を欠席した場合、成績評価は 0 ～ 60 点とする。		
学生への メッセージ オフィスアワー	臨床場面を設定した医療面接のロールプレイ演習やその他の基本的臨床技能は，臨床実習において患者に対応する際に即役立つことなので，真摯な思いと意気込みを持って演習に参加していただきたい。 1．実習場所は，第2実習室を基本とする。 2．集合時間を厳守すること。遅刻は認めない。 3．実習にふさわしい態度と身なりで取り組むこと。清潔な白衣を着用し，マニキュア，指輪，ピアス，イヤリングは禁止する。茶髪，髭は認めない。長い髪は束ね，帽子の中に入れて垂れないようにすること。また携帯電話の持ち込み及び使用は禁止する。 4．実習中は私語に慎み，真摯な気持ちで行うこと。 5．事前に実習書を熟読し，十分な予習を行った上で実習に望むこと。 6．WedClass 上に解説や課題を提示するので必ず確認を行うこと。 7．集団を対象としたワークショップ形式の演習であるため，各個人が意欲を持った自立的な態度を望む（成人学習）。E-mail(shindan.md.ml. @ nihon-u.ac.jp) による質問を受け付ける。		
日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月1日(火) 9:00～10:30	ガイダンス	【準備学習項目】 ・コミュニケーションスキルについて説明できる。 【SBOs】 ・実習のねらい(学習目標)を説明できる。 ・「成人学習」について概説できる。 ・TBLについて説明できる。 ・ポートフォリオについて説明できる。 ・言語的コミュニケーションを説明できる。 ・非言語的コミュニケーションを説明できる。 ・情報を自ら収集，分析し問題点を探することができる。 ・問題点を論理的に整理し，解決方法を自ら見いだすことができる。 ・他の学習者と協力して，最適な解決方法を見いだすことができる。 ・チームワーク技術を実施できる。 ・発表のための技術を実施できる。 ・問題解決のプロセスを概説できる。 【LS】：講義，スモールグループ討議 < B -2-1)- / 必 -2-B-a,b > 教室：第2実習室	伊藤孝訓 多田充裕 青木伸一郎 内田貴之 遠藤弘康 岡本康裕 大沢聖子 梶本真澄 李潤喜 石井広志 井田聡子 市川喜之 井出壺也 梅田宜承 大川将彦 多田浩三 大山和次 岡本茂 金尾好章 北本厚 酒井淳 佐藤繁 鈴木義孝 須永亨 関真之 野崎勝也 堀内一 神濱敦 五十嵐仁志
10月1日(火) 10:40～12:10	同上	同上	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月8日(火) 9:00 ~ 10:30	問題志向型診療録(1) 「問題点の抽出、整理」	【準備学習項目】 ・問題志向型医療(POS)の定義を説明できる。 【SBOs】 ・POMR(問題志向型診療録)の記載項目をあげて、各々の意義を説明できる。 ・POSの形式に則った情報を整理できる。 ・問題点の抽出を行い、問題リストをまとめることができる。 ・歯科治療と全身疾患との関連を理解し説明できる。 ・現症所見から正常、異常を判断できる。 ・臨床診断名を決定した理由を述べるができる。 【LS】: 講義, スモールグループ討議, ケーススタディ < F-1-1)- / 必-4-A-a, 必-8-C-a~e > 教室: 第2実習室	伊藤孝訓 多田充裕 青木伸一郎 内田貴之 遠藤弘康 岡本康裕 大沢聖子 梶本真澄 李潤喜 石井広志 井田聡子 市川喜之 井出壺也 梅田宜承 大川将彦 多田浩三 大山和次 岡本茂 金尾好章 北本厚 酒井淳 佐藤繁 鈴木義孝 須永亨 関真之 野崎勝也 堀内一 神濱敦 五十嵐仁志
10月8日(火) 10:40 ~ 12:10	同上	同上	同上
10月15日(火) 9:00 ~ 10:30	問題指向型診療録(2) 「発表」	【準備学習項目】 ・問題志向型医療(POS)の定義, 歯科疾患と各種治療法の関連を説明できる。 【SBOs】 ・発表のための技術を実施できる。 ・他の学習者と協力して, 最適な解決方法を見いだすことができる。 ・チームワーク技術を実施できる。 【LS】: 全体討議, TBL < B -1-1)- ~ , B -1-2)- ~ / 必-8-B-a~f > 教室: 第2実習室	伊藤孝訓 多田充裕 青木伸一郎 内田貴之 遠藤弘康 岡本康裕 大沢聖子 梶本真澄 李潤喜 石井広志 井田聡子 市川喜之 井出壺也 梅田宜承 大川将彦 多田浩三 大山和次 岡本茂 金尾好章 北本厚 酒井淳 佐藤繁 鈴木義孝 須永亨 関真之 野崎勝也 堀内一 神濱敦 五十嵐仁志
10月15日(火) 10:40 ~ 12:10	同上	同上	同上
10月22日(火) 9:00 ~ 10:30	問題志向型診療録(3) 「治療方針の立案」	【準備学習項目】 ・クリティカルシンキングを概説できる。 【準備学習項目】 ・歯科疾患と各種治療法の関連を説明できる。 【SBOs】 ・各疾患に対して適切な治療方針を立案できる。 ・口腔一単位を考慮した治療方針を立案できる。 ・治療方針の立案の根拠を説明できる。 ・診断名を決定した根拠を説明できる。 ・治療方針に従った治療順序を列举できる。 ・基本的な患者教育の内容を立案できる。 【LS】: 講義, スモールグループ討議, ケーススタディ < F-1-1)- / 必-4-A-a, 必-8-C-a~e > 教室: 第2実習室	伊藤孝訓 多田充裕 青木伸一郎 内田貴之 遠藤弘康 岡本康裕 大沢聖子 梶本真澄 李潤喜 石井広志 井田聡子 市川喜之 井出壺也 梅田宜承 大川将彦 多田浩三 大山和次 岡本茂 金尾好章 北本厚 酒井淳 佐藤繁 鈴木義孝 須永亨 関真之 野崎勝也 堀内一 神濱敦 五十嵐仁志
10月22日(火) 10:40 ~ 12:10	同上	同上	同上
10月29日(火) 9:00 ~ 10:30	問題指向型診療録(4) 「発表」	【準備学習項目】 ・問題志向型医療(POS)の定義, 歯科疾患と各種治療法の関連を説明できる。 【SBOs】 ・発表のための技術を実施できる。 ・他の学習者と協力して, 最適な解決方法を見いだすことができる。 ・チームワーク技術を実施できる。 【LS】: 全体討議, TBL < B -1-1)- ~ , B -1-2)- ~ / 必-8-B-a~f > 教室: 第2実習室	伊藤孝訓 多田充裕 青木伸一郎 内田貴之 遠藤弘康 岡本康裕 大沢聖子 梶本真澄 李潤喜 石井広志 井田聡子 市川喜之 井出壺也 梅田宜承 大川将彦 多田浩三 大山和次 岡本茂 金尾好章 北本厚 酒井淳 佐藤繁 鈴木義孝 須永亨 関真之 野崎勝也 堀内一 神濱敦 五十嵐仁志
10月29日(火) 10:40 ~ 12:10	同上	同上	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月5日(火) 9:00 ~ 10:30	医療面接(1) 「評価シート、評価マニュアルの作成」 「評価基準」	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問診と医療面接の違い，医療面接の評価の概要を説明できる。</li> </ul> <p>【SBOs】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療面接の目的を説明できる。</li> <li>・医療面接の流れを説明できる。</li> <li>・医療面接に必要な態度，マナーを説明できる。</li> <li>・コミュニケーションスキルを実施できる。</li> <li>・医療面接のコミュニケーションスキルを実施できる。</li> <li>・患者本位な歯科医療を説明できる。</li> <li>・医療面接におけるコンテンツの評価項目を説明できる。</li> <li>・医療面接におけるコンテンツの評価基準を説明できる。</li> <li>・医療面接におけるプロセスの評価項目を説明できる。</li> <li>・医療面接におけるプロセスの評価基準を説明できる。</li> <li>・急性期と慢性期の医療面接の違いを説明できる。</li> </ul> <p>【LS】：講義，スモールグループ討議，ケーススタディ &lt; B-2-1)- ,B-2-2)- ~ /必 -8-A-a-c, 必 -8-B-a-f &gt; 教室：第2実習室</p>	伊藤孝訓 青木伸一郎 遠藤弘康 大沢聖子 李潤喜 井田聡子 井出壺也 大川将彦 大山和次 金尾好章 酒井淳 鈴木義孝 関真之 堀内一 五十嵐仁志 多田充裕 内田貴之 岡本康裕 梶本真澄 石井広志 市川喜之 梅田宜承 多田浩三 岡本茂 北本厚 佐藤繁 須永亨 野崎勝也 神濱敦
11月5日(火) 10:40 ~ 12:10	同上	同上	同上
11月12日(火) 9:00 ~ 10:30	医療面接(2) 「発表」	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問診と医療面接の違い，医療面接の評価の概要を説明できる。</li> </ul> <p>【SBOs】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表のための技術を実施できる。</li> <li>・他の学習者と協力して，最適な解決方法を見いだすことができる。</li> <li>・チームワーク技術を実施できる。</li> </ul> <p>【LS】：全体討議，TBL &lt; B -1-1)- ~ , B -1-2)- ~ /必 -8-B-a-f &gt; 教室：第2実習室</p>	伊藤孝訓 青木伸一郎 遠藤弘康 大沢聖子 李潤喜 井田聡子 井出壺也 大川将彦 大山和次 金尾好章 酒井淳 鈴木義孝 関真之 堀内一 五十嵐仁志 多田充裕 内田貴之 岡本康裕 梶本真澄 石井広志 市川喜之 梅田宜承 多田浩三 岡本茂 北本厚 佐藤繁 須永亨 野崎勝也 神濱敦
11月12日(火) 10:40 ~ 12:10	同上	同上	同上
11月19日(火) 9:00 ~ 10:30	医療面接(3) 「患者背景の設定/ロールプレイ用シナリオの作成(初診)」	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロールプレイの目的を説明できる。</li> </ul> <p>【SBOs】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・齲蝕，歯髄炎，歯周炎の自覚症状が説明できる。</li> <li>・患者の心理面や行動面を考慮した場面を設定できる。</li> <li>・模擬症例における医療面接の流れが説明できる。</li> <li>・主訴・現病歴など患者心理を配慮した訴え方を表現できる。</li> <li>・症例に基づいたシナリオを作成できる。</li> <li>・クリティカルシンキングを意識したシナリオのストーリーを考えることができる。</li> <li>・解釈モデルの重要性を理解し表現できる。</li> <li>・受療動機の重要性を理解し表現できる。</li> </ul> <p>【LS】：講義，シミュレーション演習(紙) &lt; B-2-1)- ,B-2-2)- ~ /必 -8-A-a-c, 必 -8-B-a-f &gt; 教室：第2実習室</p>	伊藤孝訓 青木伸一郎 遠藤弘康 大沢聖子 李潤喜 井田聡子 井出壺也 大川将彦 大山和次 金尾好章 酒井淳 鈴木義孝 関真之 堀内一 五十嵐仁志 多田充裕 内田貴之 岡本康裕 梶本真澄 石井広志 市川喜之 梅田宜承 多田浩三 岡本茂 北本厚 佐藤繁 須永亨 野崎勝也 神濱敦
11月19日(火) 10:40 ~ 12:10	同上	同上	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月26日(火) 9:00 ~ 10:30	医療面接(4) 「ビデオ収録1 ロールプレイ」	【準備学習項目】 ・ 主要な歯科疾患と症候の関連性を説明できる。 【SBOs】 ・ インフォームド・コンセントを模擬医療面接で表現できる。 ・ コミュニケーションスキルを理解し会話に用いることができる。 ・ シナリオに沿った演技ができる。 ・ 医療面接に適した態度を表現できる。 ・ 患者に対応した言語的コミュニケーションを表現できる。 ・ 患者に対応した非言語的コミュニケーションを表現できる。 ・ 患者心理に配慮したコミュニケーションスキルが表現できる。 【LS】: シミュレーション演習(モデル) < B-2-1)- ,B-2-2)- ~ /必-8-A-a-c,必-8-B-a-f > 教室: 第2実習室	伊藤孝訓 多田充裕 青木伸一郎 内田貴之 遠藤弘康 岡本康裕 大沢聖子 梶本真澄 李潤喜 石井広志 井田聡子 市川喜之 井出壱也 梅田宜承 大川将彦 多田浩三 大山和次 岡本茂 金尾好章 北本厚 酒井淳 佐藤繁 鈴木義孝 須永亨 関真之 野崎勝也 堀内一 神濱敦 五十嵐仁志
11月26日(火) 10:40 ~ 12:10	同上	同上	同上
12月3日(火) 9:00 ~ 10:30	医療面接(5) 「発表 ディスカッション」	【準備学習項目】 ・ 医療面接スキルを説明できる。 【SBOs】 ・ 初診患者に対応した医療面接ができる。 ・ 医療面接に適した態度ができる。 ・ 模擬医療面接で使用したコミュニケーションスキルができる。 ・ 模擬医療面接で使用された非言語的コミュニケーションができる。 ・ 模擬医療面接のクリティカルシンキングを実施できる。 ・ 他者の医療面接を評価し、適切なフィードバックができる。 【LS】: 講義、スモールグループ討議、ケーススタディ < B-2-1)- ,B-2-2)- ~ /必-8-A-a-c,必-8-B-a-f > 教室: 第2実習室	伊藤孝訓 多田充裕 青木伸一郎 内田貴之 遠藤弘康 岡本康裕 大沢聖子 梶本真澄 李潤喜 石井広志 井田聡子 市川喜之 井出壱也 梅田宜承 大川将彦 多田浩三 大山和次 岡本茂 金尾好章 北本厚 酒井淳 佐藤繁 鈴木義孝 須永亨 関真之 野崎勝也 堀内一 神濱敦 五十嵐仁志
12月3日(火) 10:40 ~ 12:10	同上	同上	同上
12月10日(火) 9:00 ~ 10:30	医療面接(6) 「ビデオ撮影 SP演習」	【準備学習項目】 ・ 医療面接スキルを説明できる。 【SBOs】 ・ 初診患者に対応した医療面接ができる。 ・ 医療面接に適した態度ができる。 ・ 模擬医療面接で使用したコミュニケーションスキルができる。 ・ 模擬医療面接で使用された非言語的コミュニケーションができる。 ・ 模擬患者さんに対する配慮ができる。 ・ 模擬医療面接のクリティカルシンキングを実施できる。 ・ 他者の医療面接を評価し、適切なフィードバックができる。 【LS】: 講義、スモールグループ討議、ケーススタディ < B-2-1)- ,B-2-2)- ~ /必-8-A-a-c,必-8-B-a-f > 教室: 第2実習室, セミナー室	伊藤孝訓 多田充裕 青木伸一郎 内田貴之 遠藤弘康 岡本康裕 大沢聖子 梶本真澄 李潤喜 石井広志 井田聡子 市川喜之 井出壱也 梅田宜承 大川将彦 多田浩三 大山和次 岡本茂 金尾好章 北本厚 酒井淳 佐藤繁 鈴木義孝 須永亨 関真之 野崎勝也 堀内一 神濱敦 五十嵐仁志
12月10日(火) 10:40 ~ 12:10	同上	同上	同上
12月17日(火) 9:00 ~ 10:30	医療面接(7) 「医療面接分析」 「トランスクリプト」	【準備学習項目】 ・ 医療面接スキルを説明できる。 【SBOs】 ・ 医療面接に適した態度を分析できる。 ・ 模擬医療面接で使用したコミュニケーションスキルを分析できる。 ・ 模擬医療面接で使用された非言語的コミュニケーションを分析できる。 ・ 模擬医療面接のクリティカルシンキングを実施できる。 ・ 他者の医療面接を評価し、適切なフィードバックができる。 【LS】: 講義、スモールグループ討議、ケーススタディ < B-2-1)- ,B-2-2)- ~ /必-8-A-a-c,必-8-B-a-f > 教室: 第2実習室	伊藤孝訓 多田充裕 青木伸一郎 内田貴之 遠藤弘康 岡本康裕 大沢聖子 梶本真澄 李潤喜 石井広志 井田聡子 市川喜之 井出壱也 梅田宜承 大川将彦 多田浩三 大山和次 岡本茂 金尾好章 北本厚 酒井淳 佐藤繁 鈴木義孝 須永亨 関真之 野崎勝也 堀内一 神濱敦 五十嵐仁志

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月17日(火) 10:40 ~ 12:10	同上	同上	同上
12月24日(火) 9:00 ~ 10:30	医療面接(8) 「ビデオ撮影 SP演習」	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療面接スキルを説明できる。</li> </ul> <p>【SBOs】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初診患者に対応した医療面接ができる。</li> <li>・医療面接に適した態度ができる。</li> <li>・模擬医療面接で使用したコミュニケーションスキルができる。</li> <li>・模擬医療面接で使用された非言語的コミュニケーションができる。</li> <li>・模擬患者さんに対する配慮ができる。</li> <li>・模擬医療面接のクリティカルシンキングを実施できる。</li> <li>・他者の医療面接を評価し、適切なフィードバックができる。</li> </ul> <p>【LS】: 講義、スモールグループ討議、ケーススタディ &lt; B-2-1)- ,B-2-2)- ~ /必-8-A-a-c,必-8-B-a-f &gt; 教室: 第2実習室, セミナー室</p>	伊藤孝訓 青木伸一郎 遠藤弘康 大沢聖子 李潤喜 井田聡子 井出脛也 大川将彦 大山和次 金尾好章 酒井淳 鈴木義孝 関真之 堀内一 五十嵐仁志 多田充裕 内田貴之 岡本康裕 梶本真澄 石井広志 市川喜之 梅田宜承 多田浩三 岡本茂 北本厚 佐藤繁 須永亨 野崎勝也 神濱敦
12月24日(火) 10:40 ~ 12:10	同上	同上	同上
1月14日(火) 9:00 ~ 10:30	医療面接(9) 「医療面接分析」 「トランスクリプト」	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療面接スキルを説明できる。</li> </ul> <p>【SBOs】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療面接に適した態度を分析できる。</li> <li>・模擬医療面接で使用したコミュニケーションスキルを分析できる。</li> <li>・模擬医療面接で使用された非言語的コミュニケーションを分析できる。</li> <li>・模擬医療面接のクリティカルシンキングを実施できる。</li> <li>・他者の医療面接を評価し、適切なフィードバックができる。</li> </ul> <p>【LS】: 講義、スモールグループ討議、ケーススタディ &lt; B-2-1)- ,B-2-2)- ~ /必-8-A-a-c,必-8-B-a-f &gt; 教室: 第2実習室</p>	伊藤孝訓 青木伸一郎 遠藤弘康 大沢聖子 李潤喜 井田聡子 井出脛也 大川将彦 大山和次 金尾好章 酒井淳 鈴木義孝 関真之 堀内一 五十嵐仁志 多田充裕 内田貴之 岡本康裕 梶本真澄 石井広志 市川喜之 梅田宜承 多田浩三 岡本茂 北本厚 佐藤繁 須永亨 野崎勝也 神濱敦
1月14日(火) 10:40 ~ 12:10	同上	同上	同上
1月21日(火) 9:00 ~ 10:30	医療面接(10) 「医療面接の分析の発表」	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問診と医療面接の違い、医療面接の評価の概要を説明できる。</li> </ul> <p>【SBOs】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表のための技術を実施できる。</li> <li>・他の学習者と協力して、最適な解決方法を見いだすことができる。</li> <li>・チームワーク技術を実施できる。</li> </ul> <p>【LS】: 全体討議, TBL &lt; B-1-1)- ~ , B-1-2)- ~ /必-8-B-a-f &gt; 教室: 第2実習室</p>	伊藤孝訓 青木伸一郎 遠藤弘康 大沢聖子 李潤喜 井田聡子 井出脛也 大川将彦 大山和次 金尾好章 酒井淳 鈴木義孝 関真之 堀内一 五十嵐仁志 多田充裕 内田貴之 岡本康裕 梶本真澄 石井広志 市川喜之 梅田宜承 多田浩三 岡本茂 北本厚 佐藤繁 須永亨 野崎勝也 神濱敦
1月21日(火) 10:40 ~ 12:10	同上	同上	同上
1月28日(火) 9:00 ~ 10:30	平常試験1	平常試験1	伊藤孝訓
1月28日(火) 10:40 ~ 12:10	同上	同上	同上

# 歯科麻酔学

4 年次 後学期	授業科目責任者：渋谷 鑛 (歯科麻酔学)
学習の目標 (GIO)	1. 全身麻酔法、局所麻酔法および精神鎮静法に必要な基礎知識 (生理学、薬理学、神経学、解剖学) を習得する。 2. 歯科治療中の全身管理学と偶発症発生時の対応について学ぶ。 3. 救急処置に必要な知識と技術を習得する。 4. 歯科・口腔領域の痛み治療の基礎知識と東洋医学的治療法について学ぶ。
授業担当者	歯科麻酔学講座：渋谷 鑛，山口秀紀，石橋 肇，卯田昭夫，下坂典立，鈴木正敏，米長悦也，郡家正彦，大橋一之，武田和久，吉村宅弘，金子守男，松本隆正，別部智司，橋本崇文，大熊一雄，西連寺央康
教科書	1) スタンダード全身管理・歯科麻酔学 第2版，学建書院 2) 痛みの診断・治療マニュアル，医歯薬出版 3) 臨床経穴図，医道の日本社
参考図書	1) シナリオで学ぶチュートリアル歯科麻酔・住友雅人，小谷順一郎，渋谷 鑛編，医歯薬出版 2) 臨床に役立つ麻酔読本，鈴木 太監修，日本醫事新報社
実習器材	麻酔・救急・針キット
評価方法 (EV)	講義：授業時間内に行う平常試験 (100%) によって評価点とする。平常試験の結果に応じて、補講などの措置を講じることがある。 実習：小テスト (50%)，実習評価 (50%)。実習態度も実習評価に加味する。 講義・実習それぞれ 1/5 以上を欠席した場合、成績評価は 0 ~ 60 点とする。 なお、講義について合格点 (60 点) に達しない者に対し、再試験を行うが、講義を 1/5 以上欠席した場合、再試験の受験資格を与えない。また、講義・実習のいずれかが合格点に達しない場合、評価点は 60 点未満とする。 最終評価は、講義 (70%)、実習 (30%) の割合とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	麻酔は怖いもの、奇異なものというイメージを払拭し、安全なもの、扱いやすいものというイメージを持ってほしい。 口腔内への侵襲だけではなく、いつも全身への影響を考える意識を持つことを実習から学んでほしい。 オフィスアワー：渋谷，山口，石橋，卯田，下坂，鈴木 月曜日 16:30 ~ 17:30

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略 (SBOs) (LS)・準備学習 (予習) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月2日 (水) 13:00 ~ 14:30	麻酔 (科) 学概論	【準備学習項目】 1. 麻酔の歴史の概略を述べるができる。 2. 歯科麻酔学の特徴を述べるができる。 【講義】 1. 麻酔学の発達と歴史上の史実・変遷について述べるができる。 2. 麻酔学の重要性と今日の歯科麻酔が担うべき役割を理解する。 < 必 17-A >	渋谷鑛
10月2日 (水) 14:40 ~ 16:10	全身管理の基本 ・全身管理に必要な生理学	【準備学習項目】 解剖学、生理学、生化学で学んだ当該項目について説明できる。 【講義】 1. 呼吸の基礎知識について説明できる。 2. 循環の基礎知識について説明できる。 3. 神経の基礎知識について説明できる。 4. 代謝・内分泌の基礎知識について説明できる。 < 必 -6-A-f >	卯田昭夫
10月9日 (水) 13:00 ~ 14:30	全身管理の基本 ・全身状態評価 ・管理上問題となる疾患の病態	【準備学習項目】 解剖学、生理学、臨床検査学で学んだ当該項目について説明できる。 【講義】 1. 術前診察について説明できる。 2. 臨床検査について説明できる。 < 必 -10-E、必 -11-C > 3. 手術危険度について説明できる。 4. 管理方法の選択について説明できる。 < 総 -(X)-4-B,D、各 -(IV)-5-A, B >	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月9日(水) 14:40 ~ 16:10	全身管理の基本 ・管理上問題となる疾患	【準備学習項目】 これまで歯科麻酔学で学んだ項目を列挙して説明できる。 【講義】 1.呼吸器系疾患について説明できる。 2.循環器系疾患について説明できる。 3.脳・神経系疾患について説明できる。 4.代謝・内分泌系疾患について説明できる。 5.肝疾患について説明できる。 6.腎疾患について説明できる。 7.妊婦について説明できる。 < 必-8, 10, 11, 総-(IX)-3, 4 >	同上
10月16日(水) 13:00 ~ 14:30	局所麻酔	【準備学習項目】 1.局所麻酔の始まりについて述べるができる。 2.痛みの伝達について説明できる。 【講義】 1.局所麻酔の歴史について学ぶ。 < E-1-3)-(3)/ 必-15-J-a, 総-(X)-6-A > 2.局所麻酔薬に関する神経生理学と薬剤の特徴について説明できる。 < E-1-3)-(3)/ 必-15-J-a, 総-(X)-6-B >	石橋肇
10月16日(水) 14:40 ~ 16:10	局所麻酔	【準備学習項目】 1.歯科用局所麻酔薬の特徴を述べるができる。 2.血管収縮薬の種類を述べるができる。 【講義】 1.歯科用局所麻酔薬の特徴と使用上の注意点について説明できる。 2.血管収縮薬の薬理について説明できる。 < E-1-3)-(3)/ 必-15-J-a, 総-(X)-6-B > 3.局所麻酔の偶発症について説明できる。 < E-1-3)-(3)/ 必-15-J-a, 総-(X)-6-F, 各-IV-(IV)-4-A, B, C, D, E >	同上
10月23日(水) 13:00 ~ 14:30	精神鎮静法	【準備学習項目】 精神鎮静法を説明できる。 【講義】 1.精神鎮静法の適応症、選択および管理方法について列挙できる。 2.静脈内鎮静法および吸入鎮静法の適応と使用薬剤、管理方法を具体的に説明できる。 < E-1-3)-(2)/ 必-15-J-c, 総-(X)-6-G, H >	同上
10月23日(水) 14:40 ~ 16:10	精神鎮静法	【準備学習項目】 精神鎮静法の種類を列挙し、説明できる。 【講義】 1.精神鎮静法の実際について述べるができる。 2.精神鎮静法後の帰宅許可の基準について述べるができる。 3.精神鎮静法後の患者への注意事項を述べるができる。 < E-1-3)-(2)/ 必-15-J-c, 総-(X)-6-G, H >	同上
10月30日(水) 13:00 ~ 14:30	患者管理の実際(その1) バイタルサインとモニタリングの実際 ・10月30日から11月20日の患者管理の実際(その1~4)は4班に分けてグループごとにローテーションで行う。	【準備学習項目】 1.医療面接について説明できる。 2.バイタルサインを列挙し、概要を述べるができる。 【講義】 1.歯科外来の一般的医療面接項目の列挙と医療面接の実際と合併症を有する患者の対診時の実際について説明できる。 < E-1-3)-(1)- / 必-8, 総-(VIII)-1 > 2.バイタルサインについて説明できる。 < E-1-3)-(1)- / 必-10-E-c >	渋谷鑛 石橋肇 下坂典立 大熊一雄 金子守男 西連寺央康 橋本崇文 松本隆正 米長悦也 山口秀紀 卯田昭夫 鈴木正敏 大橋一之 郡家正彦 武田和久 別部智司 吉村宅弘
10月30日(水) 14:40 ~ 16:10	患者管理の実際(その1) バイタルサインとモニタリングの実際	【準備学習項目】 バイタルサインを列挙し、説明ができる。 【実習】 1.各バイタルサインの的確な把握とその実際を行うことができる。 2.血圧測定を行うことができる。緊急時の測定ができる。 3.モニタリングを実際に行うことができる。 < E-1-3)-(1)- / 必-10-E-c > 4.血糖測定を行い数値の解釈ができる。 < E-1-3)-(1)- / 総-(IX)-4-F > 5.歯科麻酔学救急キットの器具の使用方法について理解する。	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月6日(水) 13:00 ~ 14:30	患者管理の実際(その2) 東洋医学的治療法と針・灸の 実技	【準備学習項目】 東洋医学を簡単に説明できる。 【講義】 1. 東洋医学療法の概略について学ぶ。 2. 東洋医学と西洋医学の違いについて説明できる。	同上
11月6日(水) 14:40 ~ 16:10	患者管理の実際(その2) 東洋医学的治療法と針・灸の 実技	【準備学習項目】 鍼灸を簡単に説明できる。 【実習】 1. 歯科口腔領域に用いられる経穴・経絡を列挙できる。 2. 鍼灸治療の実際を理解する。 3. 針の弾入、刺針、置針を含めた針の操作を行える。 4. 灸法について述べるができる。 5. 針麻酔(和痛)の概念を理解する。	同上
11月13日(水) 13:00 ~ 14:30	患者管理の実際(その3) 救急処置(1)	【準備学習項目】 1. 気道確保法を列挙できる。 2. 胸骨圧迫の重要性を述べるができる。 【講義】 1. 気道閉塞および気道確保法を説明できる。 2. 胸骨圧迫について説明できる。 < E-1-5/ 必-13-B-a, 総-(X)-3 >	同上
11月13日(水) 14:40 ~ 16:10	患者管理の実際(その3) 救急処置(1)	【準備学習項目】 心肺蘇生法の手順を述べるができる。 【実習】 1. 意識レベル、呼吸および脈拍の状態を把握できる。 < E-1-5/ 必-13-A, 総-(X)-3 > 2. 気道閉塞および気道確保法を説明できる。 3. 呼気吹き込み法による人工呼吸を行える。 4. 胸骨圧迫心臓マッサージを行える。 5. AEDを使用できる。 < E-1-5/ 必-13-B-a, 総-(X)-3 >	同上
11月20日(水) 13:00 ~ 14:30	患者管理の実際(その4) 救急処置(2)	【準備学習項目】 1. 除細動の適応を述べるができる。 2. 心停止時の対応法を述べるができる。 【講義】 1. 安全なAEDの使用法を説明できる。 2. 心肺蘇生法の手順を説明できる。 < E-1-5/ 必-13-B-a, 総-(X)-3 >	同上
11月20日(水) 14:40 ~ 16:10	患者管理の実際(その4) 救急処置(2)	【準備学習項目】 心停止時の患者に心肺蘇生法を行える。 【実習】 1. 傷病者発見から短時間で心肺蘇生法を開始できる。 2. 心肺蘇生法の手順をスムーズに実施できる。 3. AEDを安全に使用できる。 < E-1-5/ 必-13-B-a, 総-(X)-3 >	同上
11月27日(水) 13:00 ~ 14:30	平常試験1	* 平常試験の内容については別途連絡します。	渋谷鑛 石橋肇 山口秀紀 卯田昭夫
11月27日(水) 14:40 ~ 16:10	患者管理法	ビデオ供覧	同上
12月4日(水) 13:00 ~ 14:30	全身麻酔 ・全身麻酔の概念と方法 ・術前管理	【準備学習項目】 1. 全身麻酔について説明できる。 2. 前投薬について説明できる。 【講義】 1. 全身麻酔の適応と術前評価について説明できる。 < E-1-3)-(4)/ 必-15-J-b, 総-(X)-6-C > 2. 前投薬の使用法と薬理学的作用を説明できる。 < E-1-3)-(4)/ 必-15-J-b, 総-(X)-6-E >	渋谷鑛
12月4日(水) 14:40 ~ 16:10	全身麻酔 ・吸入麻酔薬 ・静脈麻酔薬	【準備学習項目】 全身麻酔薬を分類し、それぞれ説明できる。 【講義】 1. 吸入麻酔薬、静脈内麻酔薬の薬理学的性質について理解する。 2. 吸入麻酔薬、静脈内麻酔薬の導入、維持、覚醒について理解する。 < E-1-3)-(4)/ 必-15-J-b, 総-(X)-6-D >	同上



日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月11日(水) 13:00 ~ 14:30	全身麻酔 ・筋弛緩薬 ・気道確保 ・麻酔装置と麻酔法 ・術中管理	【準備学習項目】 1. 筋収縮について生理学的に説明できる。 2. 気道確保法を列挙できる。 3. 全身麻酔に必要な器具・器材を列挙できる。 4. 呼吸・循環生理および代謝について説明できる。 【講義】 1. 筋弛緩薬の生理・薬理学的機序について理解する。 < E-1-3)-(4)/ 必 -15-J-b, 総 -(X)-6-E > 2. 全身麻酔中の気道確保の意義と方法について説明できる。 3. 全身麻酔に必要な器具・器材について説明できる。 4. 全身麻酔中の呼吸・循環・代謝管理の方法と生理学的問題点について説明できる。 < E-1-3)-(4)/ 必 -15-J-b, 総 -(X)-6-C >	同上
12月11日(水) 14:40 ~ 16:10	全身麻酔 ・気管麻酔 ・術後管理	【準備学習項目】 気管挿管について説明できる。 【講義】 1. 気管麻酔の実際について理解する。 < E-1-3)-(4)/ 必 -15-J-b, 総 -(X)-6-C > 2. 術後管理の意義と目的を述べることができる。 < E-1-3)-(4)/ 必 -15-J-b, 総 -(X)-6-C >	同上
12月18日(水) 13:00 ~ 14:30	小児の麻酔管理 障害者の麻酔管理	【準備学習項目】 1. 小児の身体的・精神的特徴について説明できる。 2. 歯科治療上問題となる心身障害について述べるができる。 【講義】 1. 小児の全身麻酔管理の特徴について説明できる。 2. 障害者の麻酔管理の特徴について説明できる。 < E-1-3)-(4)/ 必 -15-J-b, 総 -(X)-6-C >	山口秀紀
12月18日(水) 14:40 ~ 16:10	口腔外科手術と全身麻酔 歯科患者の日帰り麻酔	【準備学習項目】 1. 口腔外科手術の特徴について説明できる。 2. 日帰り手術について説明できる。 【講義】 1. 歯科・口腔外科手術のための全身麻酔の特徴について説明できる。 2. 歯科・口腔外科手術の日帰り麻酔の特徴と留意点について説明できる。 < E-1-3)-(4)/ 必 -15-J-b, 総 -(X)-6-C >	同上
1月8日(水) 13:00 ~ 14:30	高齢者の麻酔管理 訪問歯科診療における患者管理	【準備学習項目】 1. 高齢者の身体的・精神的特徴について説明できる。 2. 訪問歯科診療について述べるができる。 【講義】 1. 高齢者の麻酔管理の特徴について説明できる。 2. 高齢者歯科患者の全身リスク評価について説明できる。 < E-1-3)-(4)/ 必 -15-J-b, 総 -(X)-6-C > 3. 訪問歯科診療における患者管理の特徴について説明できる。 4. 訪問歯科診療における患者リスク評価について述べることができる。 < E-1-3)-(4)/ 各 -IX-(IV)-5 >	同上
1月8日(水) 14:40 ~ 16:10	全身疾患を有する患者の全身麻酔	【準備学習項目】 歯科治療上問題となる全身疾患について述べることができる。 【講義】 全身疾患を有する患者への麻酔管理法上の留意点について説明できる。 < E-1-3)-(4)/ 必 -15-J-b, 総 -(X)-6-C >	同上
1月15日(水) 13:00 ~ 14:30	疼痛治療・管理方法 ・痛みの生理学 ・痛みの病態と治療	【準備学習項目】 顎顔面の痛みについて説明できる。 【講義】 1. 神経疾患の特徴と痛みのメカニズムについて説明できる。 2. 三叉神経痛、顔面神経障害の病態と治療方法について説明できる。 3. 非定型顔面痛の発生機序と治療方法について説明できる。 < E-2-4)-(6)/ 総 -(VI)-8, 各 -IV-(III)-2 >	渋谷 鑑 下坂 典立
1月15日(水) 14:40 ~ 16:10	疼痛療法・管理方法 ・東洋医学的療法	【準備学習項目】 東洋医学的療法の種類を列挙し、説明できる。 【講義】 東洋医学的療法について説明できる。	渋谷 鑑

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月22日(水) 13:00 ~ 14:30	歯科治療時の全身的偶発症	<b>【準備学習項目】</b> 1. 歯科治療中の全身的偶発症を列挙できる。 2. ショックを分類し、その項目を列挙できる。 <b>【講義】</b> 1. 歯科治療中の全身的偶発症の成因、評価、治療方法について述べることができる。 < E-1-3)-(3)- / 総-(X)-6-F, 各-IV-(IV)-4 > 2. 各種ショックの分類、成因と病態、使用薬剤について理解する。 < E-1-3)-(3)- / 必-13-B-b >	同上
1月22日(水) 14:40 ~ 16:10	歯科領域の医療事故について	<b>【準備学習項目】</b> 医療事故・過誤について説明できる。 <b>【講義】</b> 麻酔・歯科麻酔関係の医療事故からその対応について理解する。 < A-5-1), 2)/ 必-4-B >	同上
2月5日(水) 13:00 ~ 14:30	平常試験2	* 平常試験の内容については別途連絡します。	渋谷 鑛 石橋 肇 下坂 典立 山口 秀紀 卯田 昭夫
2月5日(水) 14:40 ~ 16:10	平常試験3	* 平常試験の内容については別途連絡します。	同上

# 社会歯科学

4 年次 後学期	授業科目責任者：笹井 啓史（保健医療政策学）		
学習の目標（GIO）	歯科医療の実践と、その実践の場である歯科医療機関の管理運営に必要な法制度、社会保障制度、医療保険制度などにおける社会的・経済的知識、コミュニケーション技能、情報管理技能などを体系的に理解し、法律や諸制度を踏まえた歯科医療の実践において齟齬をきたさないために必要となる知識の修得を行う。		
授業担当者	保健医療政策学 笹井啓史、医療情報管理学 齊藤孝親、 大久保一郎		
教科書	「スタンダード社会歯科学」 石井拓男他編著 学建書院		
参考図書	厚生労働白書		
実習器材	なし		
評価方法（EV）	平常試験によって評価点（100％）とする。 また、1月28日以外にも、必要に応じて授業時間内に複数回の平常試験を行う。  講義を1/5以上を欠席した場合、評価点は0 - 60点とする。 なお、平常試験の再試験は行わない。		
学生へのメッセージ オフィスアワー	歯科医療の現場では、歯科医療に関する知識や技術は勿論のこと、患者管理、医療安全、診療報酬請求さらには人員管理や財務管理など様々な医療機関の運営に関する知識が必要とされることを認識し理解してください。		
日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略（SBOs）(LS)・準備学習（予習）内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月1日（火） 14:40～16:10	社会保障制度概論	【準備学習項目】 わが国の社会保障について説明できる 【講義】302教室 【学習内容】 ・社会保障の定義について説明できる<B-2-2><総-5-A> ・社会保障の体系について説明できる<B-2-2><総-5-A> ・保健、医療、福祉（介護保険含む）の各制度の概要について説明できる<A-7-3>、<B-2-2>	笹井 啓史
10月8日（火） 14:40～16:10	医療関連法規	【準備学習項目】 歯科医師法等、歯科医師の法的義務について説明できる 【講義】302教室 【学習内容】歯科医師法 ・歯科医師の法的身分と業務について説明できる<B-2-1>、<A-7-3> ・歯科医師の法的義務と権利について説明できる<A-3> ・患者の人権と医の倫理について説明できる<A-1>、<A-2>、<A-7-3>	同上
10月15日（火） 14:40～16:10	医療関連法規	【準備学習項目】 医師法、医療法等医療関連法規について説明できる 【講義】302教室 【学習内容】医師法、医療法等医療関連法規 ・医業と歯科医業について説明できる<B-2-1><必-2-D-a> ・医療機関の開設と管理について説明できる<B-2-1><必-2-D-e> ・その他医療関連法規について説明できる<B-2-1>	同上
10月22日（火） 14:40～16:10	医療関連法規	【準備学習項目】 歯科衛生士法、歯科技工士法等医療関連職種の関係法規について説明できる 【講義】302教室 【学習内容】 ・コデンタルスタッフ（歯科衛生士/歯科技工士）の法的規定（身分と業務内容）について説明できる<B-2-1><必-2-D-b><必-2-D-c> ・コメディカルスタッフ（薬剤師/看護師/言語聴覚士等）の法的規定（身分と業務内容）について説明できる<B-2-1><必-2-D-f>	同上
10月29日（火） 14:40～16:10	医療提供体制の仕組み	【準備学習項目】 医療提供体制について説明できる 【講義】302教室 【学習内容】 ・医療計画、5疾病5事業について説明できる<B-2-1>、<B-2-2>、<必-2-D-e> ・地域医療連携について説明できる<B-2-2><必-2-D-e> ・医療圏について説明できる<B-2-2><必-2-D-e>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月5日(火) 14:40～16:10	保健衛生関係法規	<p>【準備学習項目】 保健衛生関係の各法規について説明できる</p> <p>【講義】302教室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域保健法について説明できる&lt;B-1&gt;,&lt;B-2-2&gt;&lt;必-3-B-a&gt;</li> <li>・健康増進法について説明できる&lt;B-1&gt;,&lt;B-2-2&gt;&lt;必-3-B-b&gt;</li> <li>・歯科口腔保健の推進に関する法律について説明できる&lt;B-1&gt;,&lt;B-2-2&gt;</li> <li>・その他関連法規について説明できる&lt;B-1&gt;,&lt;B-2-2&gt;</li> </ul>	同上
11月12日(火) 14:40～16:10	歯科医業の実践	<p>【準備学習項目】 歯科医業の実践に必要な法制度について説明できる</p> <p>【講義】302教室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医業と医業について説明できる&lt;B-2-1&gt;</li> <li>・医療行為の正当性について説明できる&lt;A-3&gt;</li> <li>・標榜診療科名について説明できる&lt;B-2-1&gt;&lt;必-2-D-e&gt;</li> <li>・歯科医療機関の開設及び管理について説明できる&lt;B-2-1&gt;&lt;必-2-D-e&gt;</li> </ul>	同上
11月19日(火) 14:40～16:10	医療安全対策・感染対策	<p>【準備学習項目】 医療安全対策・感染対策について説明できる</p> <p>【講義】302教室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医療における安全管理について説明できる&lt;A-5-1&gt;&lt;必-4-B-e&gt;</li> <li>・医療事故と安全対策の重要性について説明できる&lt;A-5-1&gt;&lt;必-4-B-e&gt;</li> <li>・医療事故と医療過誤について説明できる&lt;A-5-2&gt;&lt;必-4-B-a&gt;</li> <li>・インシデントとアクシデントについて説明できる&lt;A-5&gt;&lt;必-4-B-f&gt;</li> <li>・感染対策について説明できる&lt;A-5&gt;&lt;必-4-C&gt;</li> </ul>	同上
11月26日(火) 14:40～16:10	薬事制度	<p>【準備学習項目】 薬事制度(医療機器・医薬品)について説明できる</p> <p>【講義】302教室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機器と医薬品の承認制度について説明できる&lt;必-2-D-d&gt;</li> <li>・臨床試験と治験について説明できる</li> <li>・医薬品と医療機器による健康被害について説明できる&lt;A-5-1&gt;&lt;必-4-B-g&gt;</li> </ul>	同上
12月3日(火) 14:40～16:10	保健医療と国家財政	<p>【準備学習項目】 保健医療と国家財政の仕組みについて説明できる。</p> <p>【講義】302教室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国家財政と国民医療費の実態を理解し説明できる。&lt;B-2-2&gt;&gt;&lt;総-5-C&gt;</li> <li>・医療における費用効果分析について説明できる。&lt;B-2-2&gt;&gt;&lt;総-5-C&gt;</li> <li>・医療経済の仕組みについて説明できる。&lt;B-2-2&gt;&gt;&lt;総-5-C&gt;</li> </ul>	大久保一郎
12月10日(火) 14:40～16:10	医療保険制度	<p>【準備学習項目】 医療保険制度の仕組みについて説明できる。</p> <p>【講義】302教室</p> <p>【学習内容】医療保険制度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療保険の概要と仕組みについて説明できる。&lt;B-2-2&gt;&gt;&lt;総-5-B&gt;</li> <li>・保険医の義務について説明できる。&lt;B-2-2&gt;&gt;&lt;総-5-B&gt;</li> <li>・医療経済と歯科医療について説明できる。&lt;B-2-2&gt;&gt;&lt;総-5-B&gt;</li> </ul>	笹井 啓史
12月17日(火) 14:40～16:10	医療保険制度	<p>【準備学習項目】 医療保険制度における歯科診療について説明できる。</p> <p>【講義】302教室</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科診療報酬制度の概要と仕組みについて説明できる。&lt;B-2-2&gt;&gt;&lt;総-5-B&gt;</li> <li>・適切な診療録記載方法について説明できる。&lt;B-2-2&gt;&gt;&lt;総-5-B&gt;</li> <li>・診療報酬請求の仕組みについて説明できる。&lt;B-2-2&gt;&gt;&lt;総-5-B&gt;</li> </ul>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月24日(火) 14:40～16:10	介護保険制度	<p>【準備学習項目】 介護保険制度について説明できる。</p> <p>【講義】302教室</p> <p>【学習内容】 ・介護保険制度の概要と仕組みについて説明できる。&lt; B-2-2) &gt; ・介護保険における歯科の役割について説明できる。&lt; B-2-2) &gt; ・介護給付について説明できる。&lt; B-2-2) &gt; ・介護予防について説明できる。&lt; B-2-2) &gt; &lt; 必-3-G-b &gt;</p>	同上
1月14日(火) 14:40～16:10	医療情報管理	<p>【準備学習項目】 医療情報管理と個人情報保護について説明できる。</p> <p>【講義】302教室</p> <p>【学習内容】 ・医療情報システムについて説明できる。 ・電子カルテについて説明できる。&lt; F-1- &gt; &lt; 必-5-ア-a &gt; ・個人情報の保護について説明できる。&lt; B-4-3)- &gt; &lt; 必-5-イ-a &gt;</p>	齊藤 孝親
1月21日(火) 14:40～16:10	医療情報管理	<p>【準備学習項目】 医療情報管理と患者情報について説明できる。</p> <p>【講義】302教室</p> <p>【学習内容】 ・医療情報の保護(セキュリティー)について説明できる。&lt; B-4-3) &gt; &lt; 必-5-ア-b &gt; ・診療情報の開示について説明できる。&lt; B-4-3) &gt; &lt; 必-4-ア-c, 必-5-イ-b &gt; ・ICTを利用した医療コミュニケーションについて説明できる。</p>	同上
1月28日(火) 14:40～16:10	平常試験		笹井 啓史